

吉野小学校校舎 3 0 号棟長寿命化改良本体工事

(Ⅱ期)

図 面 リ ス ト					
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A-01	建築工事特記仕様書 5-1	A-26	(改修前)屋内階段 2 矩計図	A-51	(改修後)建具表(2)
A-02	建築工事特記仕様書 5-2	A-27	(改修後)屋内階段 2 矩計図	A-52	部分詳細図(1)
A-03	建築工事特記仕様書 5-3	A-28	普通教室(A)～(C) 平面詳細図、展開図	A-53	部分詳細図(2)
A-04	建築工事特記仕様書 5-4	A-29	1階 昇降口 平面詳細図、展開図	A-54	部分詳細図(3)
A-05	建築工事特記仕様書 5-5	A-30	1階 主事室 平面詳細図、展開図	A-55	部分詳細図(4)
A-06	外壁補修工事特記仕様書 2-1	A-31	1階 玄関 平面詳細図、展開図	A-56	部分詳細図(5)
A-07	外壁補修工事特記仕様書 2-2	A-32	4階 音楽室、音楽準備室 平面詳細図、展開図	A-57	部分詳細図(6)
A-08	工事概要、工事区分	A-33	4階 音楽室 展開図	A-58	部分詳細図(7)
A-09	建築概要、付近見取図、全体配置図兼仮設計画図	A-34	(改修前・改修後)1階 廊下 展開図	A-59	部分詳細図(8)
A-10	求積図、面積表	A-35	(改修前)2～4階 廊下 展開図	A-60	部分詳細図(9)
A-11	仕上表(1)	A-36	(改修後)2～4階 廊下 展開図	A-61	部分詳細図(10)
A-12	仕上表(2)	A-37	30-20号棟間渡り廊下 平面詳細図、断面図	A-62	出入口改修詳細図
A-13	仕上表(3)	A-38	1階天井伏図	A-63	解体図
A-14	1階平面図	A-39	2階天井伏図		
A-15	2階平面図	A-40	3階天井伏図		
A-16	3階平面図	A-41	4・5階天井伏図		
A-17	4階平面図	A-42	(改修前)建具キープラン(1)		
A-18	5階平面図	A-43	(改修前)建具キープラン(2)		
A-19	全体立面図(1)	A-44	(改修前)建具表(1)		
A-20	全体立面図(2)	A-45	(改修前)建具表(2)		
A-21	全体立面図(3)	A-46	(改修前)建具表(3)		
A-22	(改修前)矩計図	A-47	(改修前)建具表(4)		
A-23	(改修後)矩計図	A-48	(改修後)建具キープラン(1)		
A-24	(改修前)屋内階段 2 平面詳細図	A-49	(改修後)建具キープラン(2)		
A-25	(改修後)屋内階段 2 平面詳細図	A-50	(改修後)建具表(1)		

建 築 工 事 特 記 仕 様 書			適用		特 記 事 項	
Ⅰ.工 事 概 要						
1. 工 事 名 称 吉野小学校校舎30号棟長寿命化改良本体工事 2. 工 事 場 所 鹿児島市吉野町2472番地 3. 工 事 種 目 (・ 新 築 ・ 増 築 ・ 改 築 ② 改 修 ・ その他) 4. 工 事 期 間 令和 9 年 5 月 28 日まで						
Ⅱ.建 築 工 事 仕 様						
○ 1. 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編)(令和7年版)、「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編)(令和7年版)及び「公共建築木造工事標準仕様書」(令和7年版)による。 ○ 2. 特記事項の適用は次のとおりとする。 1) 項目は ○ 印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は ○ 印の付いたものを適用する。 ○ ① 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。 ○ ① 印と ② の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の()内表示番号は、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)の当該項目、当該図、又は当該表を示す。 4) 形状寸法の単位は、特記なきがミリメートルとする。						
Ⅲ.一 般 事 項						
適用			適用		適用	
○ 1. 本工事は鹿児島市建設工事請負契約書に基づき、施工するものとする ○ 2. 前払金 ※請求することができる ①令和8年度中に請求すること ○ 3. 中間前払金 1) 中間前払金の支払いを令和8年度中に請求すること。なお、部分払いは行わない。 2) 中間前払金を受けるための要件(全て満たすこと。) ア) 請負金額の10分の4の前払金が含まれていること。 イ) 工期の2分の1を経過していること。 ウ) 工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施するべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。 エ) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。 3) 中間前払金の割合について 請負代金の10分の2とする。ただし、中間前払金を支出した後の前払金の合計額が請負代金の額の10分の6を超えてはならないものとする。 4. 部分払 部分払については、鹿児島市契約規則による。 5. 部分払対象品目 工事の出来形部分並びに、工事現場に搬入した工事材料のうち、次の工事に含まれるものは部分払いの対象とする。ただし、監督員の検査に合格したものであって確認写真及び出来高等の確認ができるものに限る。 1.仮設工事 2.土工事 3.地盤工事 4.鉄筋工事 5.コンクリート工事 6.鉄骨工事 7.コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 8.防水工事 9.石工事 10.タイル工事 11.木工事 12.屋根及びびとい工事 13.金属工事 14.左官工事 15.建具工事 16.6-フィニール工事 17.塗装工事 18.内装工事 19.ユニット及びその他の工事 20.排水工事 21.舗装工事 22.植栽及び屋上緑化工事			○ 14. 産業廃棄物収集運搬車に係る表示及び書面備え付けについて 両側面に「産業廃棄物の収集又は運搬に供する運搬車である旨」及び「排出事業者名」を表示するとともに、その運搬車に「産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車であることを証する書面」を備え付けること。 [表示例] <div><div>産業廃棄物収集運搬車</div><div>〇〇株式会社</div></div> ←140ポイント(おおむね縦横50mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字 なお、産業廃棄物収集運搬許可業者に委託して収集又は運搬させる場合には、別途「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則」に基づく、表示規定によること。 ○ 15. 内装仕上りに使用する材料等の選定について 1) ホルムアルデヒドを発生する建材については、F☆☆☆☆の規格に適合すること。 ただし、これによりがたい場合は、監督員と協議し、承諾を得ること。 対象となる材料(居室に使用する内装材、並びに、造り付け木製家具) 木質建材(合板、木質フローリング、パーティクルボード、MDF等)、壁紙、ホルムアルデヒドを含む断熱材、接着剤、仕上塗材等 2) クロルビリホスについて クロルビリホスを添加しないこと。 クロルビリホスを添加した材料でないこと。 3) 建築材料の種類、種類、数量、及び面積等について 必要書類等 ア) 施工計画書提出時に、JIS、JASの表示、又は、国土交通大臣認定書の写し等を添付し監督員の承諾を得ること。 イ) 材料搬入時に表示等の確認をし、記録写真を提出すること。 ウ) 工事終了後に、内装仕上部分を写した写真を提出すること。 ※ 塗料は、ホルマリン不検出のもので、水性形のものとする。(水廻り及び湿度の高い箇所を除く) ただし、有機溶剤系塗料を使用する場合は、トルエンやキシレンの放散が極力小さいものとする。 ○ 16. 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合について 1) 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合 現場代理人は現場に常駐し、その運営、取締りを行うこととされているが、以下の要件を満たす場合には、工事請負契約第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がない」として取り扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する必要や、現場保全の義務(現場の巡回等)があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。 ア) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間 イ) 工事請負契約書第20条により工事が一時中止されている期間 ウ) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間 エ) 前3号に掲げる期間のほか、受注者から工事完成の通知があり、完成検査、事務手続、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間 2) 発注者への報告 上記1)の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐は不要とし、他の工事と兼務することを可能とするが、「工事打合簿」等により、工事現場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。 17. 現場代理人の兼任について 1) 現場代理人の兼任を認める工事 現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項(請負代金の変更、契約の解除等を除く。)を処理する受注者の代理人であるが、次の ア)から ウ)の全てを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。 なお、専任の主任(監理)技術者と現場代理人を兼務する場合において、専任の技術者配置の特例により他の現場と兼任が認められた工事については、イ)、ウ)、ウ)の要件を満たすものとし、兼任できる工事は2件までとする。 ア) 兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の請負金額が4、500万円※未満であること。ただし、設計変更により、工事の請負金額が4、500万円※以上となり、各々の工事における主任(監理)技術者と現場代理人が異なる場合には、受発注者協議の上、兼任することが出来る。 ※建築一式工事は9、000万円 イ) 発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡が取れること。 ウ) 兼任する工事の相互の移動は、概ね1時間以内であること。 エ) 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。 ウ) 兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1日1回以上、担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。 2) 手続き 現場代理人の兼任を行う場合には、兼任(変更)申請書を提出し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、現場代理人等変更通知書により、発注者又は監督員に通知すること。なお、各々の工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。 3) 受注者に対する措置請求 安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第12条に基づき、受注者に対して、必要な措置を取るべきことを請求するものとする。			
○ 6. 火災保険等 請負契約締結後速やかに次の工事保険に加入し、証券又はこれに代わるもの(保険証券等)の写しを直ちに監督員に提出すること。 保証期間は工期後満21日間(24時)までとする。 ※ 火災保険等(工事目的物及び工事材料(支給材料を含む)等)に生じる損害を填補 (※火災等 ※工事材料等の盗難等 ・その他)に对应したものを含むこと。 ※ 請負業者賠償責任保険(工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補) なお、上記の保険内容が含まれる火災保険、建設工事保険、組立保険等でも可とする。 その場合、保険証券等により保険内容が確認できるものであること。					○ 27. ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について ヤンバルトサカヤスデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬出入に当たっては、以下の項目を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤスデの棲息が確認された場合は、棲息状況等の調査報告書を監督員に提出し、まん延防止対策を講ずること。 (※発生地については、鹿児島市ホームページで確認すること。) 1) 原則、土・樹木等は、発生地区からの搬出を極力おさえ、廃棄木材については、産業廃棄物の取扱いが可能な焼却施設にて、焼却処理を行うこと。 2) 工事区域周辺部への拡散防止のため、周辺部に薬物散布等の措置を行うこと。 3) やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合は、薬剤処理・薫蒸後、搬出を行うこと。 4) 発生地区に搬入した建設機材等は、付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出を行うこと。 5) 未発生地区においても、発生地区からの土・樹木等の搬入や、建設機材の移動等があった場合は、1)～4)の措置が講じられているかを確認すること。 ○ 28. 本工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、道路交通法及び建設工事公害災害防止対策要綱その他関係法令等に従い適切に処理すること。また、必要な届出等は滞りなく行うこと。 ○ 29. 工事現場及びその周囲は危険防止に十分注意し工事を行い、現場周辺の公共物(特に側溝等)の維持管理及び地域住民、通行人への危害防止に万全を期すること。万一事故の起きた場合、受注者が復旧し、又、補償をするものとする。 ○ 30. 工事現場への通行、諸運搬にあたっては、特に現場周辺の住民・通行人及び児童・生徒等への危害防止に万全を期すること。 ○ 31. 工事現場内での火気責任者を定め、火気の取扱いには十分注意すること。 ○ 32. 工事において支障物件がある場合は、その処理方法等は監督員との協議による。 ○ 33. 工事現場の快適な作業環境を確保するため、受注者事務所、監督員事務所、従業員休憩所、便所等は関係法令に従い、適切な材料・構造などのものとする。 ○ 34. 本工事の施工に際しては、地場産業育成の立場から、できるだけ市内の専門業者や作業員を活用し、資材についても市内業者から購入し、使用するよう努めること。 ○ 35. 再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出するとともに、工事現場の見やすいところに掲示(デジタルサイネージによる掲示も可)して公衆の閲覧に供することし、あわせてインターネットに公表するよう努めるものとする。また、その実施状況を記録した実施書を完成書類に含めて提出するものとする。 ○ 36. 本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。 ○ 37. 暴力団関係者等による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく発注者及び警察に通報すること。また、暴力団関係者等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じた場合は、発注者と協議を行うこと。 ○ 38. 駐車場は建設業者の責任において確保し、周辺道路上への駐車は絶対に行わないこと。 ○ 39. 工事現場隣接家屋について、事前に状況調査(建物の実情)を実施し写真等記録に残すこと。調査範囲は監督員と打合せをすること。また、工事完了後家屋、構造物に被害不具合等の申出があった場合は、速やかな対応をすること。 40. 本工事に伴いスラブに設ける墨出し用の開口部については、建築基準法を満足する工法で確実に塞ぐこと。 ○ 41. 工事完成写真の仕様について 1) インク、用紙等は普通の使用条件のもとで、5年程度で顕著な劣化が生じないものとする。 2) カラー写真(ネガフィルムタイプ)と電子媒体による写真の混合管理は行わないこと。 3) 完成検査若しくは、工事目的物引渡完了後5年間写真管理に利用した電子媒体を保管すること。	
○ 7. 住宅瑕疵担保履行法について 受注者は、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」(平成19年法律第66号)に基づき、保険への加入又は保証金の供託を行うものとする。なお、保険加入の場合は、着工前に保険法人に申し込む必要があるので注意すること。					○ 42. 再生資材(再生クラッシュヤン等)については、再資源化施設製造のものを使用すること。 ○ 43. 法定外の労災保険の付保について 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。なお、当該保険契約を締結したときは、その証券またはこれに代わるもの(保険証券等)の写しを直ちに監督員に提出すること。保証期間は工期後満21日間(24時)までとする。 ○ 44. 墜落制止用器具の使用について 高さが2m以上の作業床がない箇所、または作業床の端・開口部等で囲い・手すり等の設置が困難な箇所における作業については、労働者の危険を防止する手段として、墜落制止用器具の使用を講じること。 ○ 45. 営繕工事における週休2日工事について 実施に当たっては、鹿児島県「営繕工事における「週休2日」工事実施要領(令和7年8月1日施行)」(以下、「実施要領」という。))を準用するものとする。なお、実施要領は鹿児島県ホームページから入手できる。	
○ 8. 契約不適合担保責任検査 契約不適合担保責任(鹿児島市建設工事請負契約書第41条)の確実な履行を図るため、受注者は、契約不適合責任期間の満了前に、受注者の負担で、契約不適合担保責任検査を実施すること。受注者は、発注者から契約不適合担保責任検査実施の通知を受けた場合は、発注者の指定する方法により速やかに契約不適合担保責任検査の実施日及び報告書提出日を回答したうえで、契約不適合担保責任検査を実施し、その結果を報告すること。なお、履行の追完方法は発注者と協議のうえ、実施すること。					○ 46. 電子納品 本工事は電子納品対象工事とし、市HPに掲載する鹿児島市電子納品ガイドライン【建築・設備編】及び鹿児島市電子納品ガイドライン 運用の手引き【建築・設備編】に定める基準に基づいて作成した電子成果品を納品すること。 ただし、事前協議により電子化しない成果品については従来どおりの取扱とする。	
○ 9. 施工体制台帳の提出等 1) 建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。 2) 工事を施工するために、建設工事の一部又は以下の各号の業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の指示関係が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。 (1)伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務 (2)土砂やコンクリート般等の運搬のみを行う業務 (3)工事現場の警備(交通誘導を含む)を行う業務 (4)その他監督職員が記載を指示した業務等			○ 18. 低入札価格調査に基づく措置について 低入札価格調査基準価格未満の価格での受注者に対しては、次に掲げる措置を講じるものとする。 1) 施工体制の強化 ア) 低入札価格調査の対象となった工事(以下「調査対象工事」という。))には、専任の主任技術者等を配置すること。 イ) 調査対象工事を施工する場合において、契約日の属する年度及びその前年度に完成した工事に関し、次のいずれかに該当する場合は、配置すべき主任技術者又は監理技術者とは別に、同等の要件を満たす技術者を専任で1人配置すること。 a) 65点未満の工事成績評定を通知された場合 b) 工事請負契約書に基づき修補又は損害賠償を請求された場合 c) 品質管理・安全管理に関し、指名停止又は書面による警告・注意の喚起を受けた場合 d) 自ら起因して工期を大幅に遅らせた場合 2) 監督体制の強化 ア) 受注者は、施工体制台帳を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。 イ) 受注者は、特記仕様書に基づく施工計画書を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。		○ 47. 情報共有システムを活用した工事の試行 本工事は、情報共有システム活用の試行対象工事である。試行にあたっては、鹿児島市営繕工事等における情報共有システム活用工事 試行要領(令和8年4月1日)に基づき行うものとする。試行要領は、鹿児島市ホームページから入手できる。 ○ 48. 施工体制点検等への協力 請負代金額が4、500万円(建築一式工事は9、000万円)以上の工事においては、「鹿児島市施工体制点検要領」に基づく点検を、また請負代金額が4、500万円(建築一式工事は9、000万円)未満の建設工事の下請契約を締結した工事においては、同要領の枠組外における一括下請負に関する確認を実施するため、受注者はこれに協力すること。	
○ 10. 環境基本計画 1) 本工事に伴う環境への影響を抑制するため、工事車両通行往復ルートの分別、交通整理員の配置、走行速度の制限、ルートの設定等の対策を講じること 2) 本工事に使用する建設機械については、原則として、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針に適合するものを使用すること。 3) 本工事に伴い提出する関係書類については、可能な限り、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針適合製品又はエコマーク製品、グリーンマーク製品などの環境ラベリング製品を使用すること。 4) 本工事に伴い提出する関係書類については、写真やメーカー提出の資料等、両面印刷では支障を生ずるものは除き、可能な限り、両面印刷とする。 5) 工事に伴い発生する廃棄物については、缶・ビン、ペットボトル、プラスチック容器類を搬出しやすいよう分別ボックスの設置スペース又は分別ヤードを設置するなどして、分別の徹底及びリサイクルに努めること。			○ 19. 「快適トイレ」の試行について 受注者は積極的に快適トイレの試行に取り組むこと。快適トイレを設置する場合は、「建設現場における「快適トイレ」設置の試行の改定について(令和3年7月26日付鹿児島市建設局通知)」に基づき行うものとする。なお、通知は鹿児島市ホームページから入手できる。 ○ 20. 足場の設置について 足場の設置を必要とする場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省令和5年12月26日)によるものとする。 なお、これにより難しい場合は、監督員と協議の上、決定することとする。		○ 49. 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の提出 工事の施工により発生する産業廃棄物については、処分状況等の記録(E票の写し及び産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表)を工事完成図書に添付すること。なお、工事完了時点で最終処分が完了せず、E票が処分業者より返送されていない場合は、A票、B2票及びD票のうち直近に返送されたものの写しを添付すること。 ただし、この場合においても、最終処分が完了し、E票が処分業者より返送され次第、直ちに同票の写しを提出すること。 電子マニフェストの場合は、受渡確認表の写しを添付すること。	
○ 11. 排出ガス対策型建設機械の使用について 本工事において以下の対象機種を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械又は「排出ガス浄化装置」装着機械の使用を原則とする。 ただし、①リース業者等が対策型建設機械を供給できない場合、②自社で未対策型建設機械を保有し対策型建設機械を使用することが妥当でない場合等は、監督員との協議により、未対策型建設機械を使用してもよいものとする。 (1)バックホウ (2)ホイールローダ (3)ブルドーザ (4)発動発電機 (5)空気圧縮機 (6)油圧ユニット (7)ローラ類 (8)ラフテレーンクレーン なお、排出ガス対策型建設機械又は「排出ガス浄化装置」装着機械の使用の有無を施工計画書に明示すること。			○ 21. 架空線の防護措置における防護管設置については、受注者が架空線管理者と協議するものとし、防護管設置の必要があるとされた場合は、監督員と協議により設計変更の対象とする。 ○ 22. 交通誘導員について 本工事の交通誘導員の編成人員は、見積閲覧書によるものとするが、交通管理者等との協議の結果、又は現場条件等により変更が生じた場合は別途協議する。 また、受注者は工事着手前に、実施工程に対応した配置予定図と配置予定時間を施工計画書に記載しなければならない。		○ 50. 監理技術者等の途中交代 監理技術者等の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、疾病、退職等、真にやむを得ない場合の他、下記に該当する場合である。 1) 受注者の責によらない理由により工事中中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合 2) 橋梁、ポンプ、ゲート等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点 3) ダム、トンネル等大規模な工事で1つの契約工期が多年に及ぶ場合 上記の場合にあっても、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。 ○ 51. 監理技術者等の途中交代の試行について 本工事は、工程上一定の区切りと認められる時点で、監理技術者又は主任技術者の途中交代を認める試行工事である。 1) 工程上一定の区切りと認められる時点とは、品質管理・出来形管理が必要な工事目的物の施工が完了した時点とし、仮設備の撤去、後片付け及び検査等を行う期間には、監理技術者等の途中交代を認めることとする。 2) 受注者と発注者が協議し、工事の継続性、安全管理、工程等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。 なお、総合評価落札方式の場合は、当該工事の入札契約手続きにおける競争参加資格を満足する者を配置しなければならない。	
○ 12. 低騒音型建設機械の使用の原則化について 本工事は「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」(昭和62年建設省経機発第58号)に基づき「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」(平成9年建設省告示第1536号)により指定された低騒音型建設機械の使用を原則とする。 なお、低騒音型建設機械の使用の有無を施工計画書に明示すること。			○ 23. 地下工事について 地下室等(地下工作物)がある場合等は、周辺地盤や地下水への影響について、建設場所や建物の規模などを考慮した上で観測体制を含めた施工をする。施工の際は周辺環境に配慮しながら地下水等の観測を行い、異常が生じた場合は必要な措置を行うこと。 建設場所毎の事前調査等は事前に打合せを行い遺漏のないようにすること。		○ 52. 公共工事における現場一斉閉所の実施について 受注者は、公共工事における現場一斉閉所の実施に協力するものとする。なお、現場閉所の実施への協力は、受注者の判断によるもの(任意)とし、実施の有無等について発注者への報告は必要ないものとする。なお、県ホームページに本取組みに係るチラシを掲載しているのを確認のこと。	
○ 13. ダンプトラック等による過積載等の防止について 1) 工事で用資機材等の積載超過のないようにすること。 2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。 3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。 4) さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンブカーが、工事現場へ出入りすることがないようにすること。 5) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。 7) 1)から6)のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。			○ 24. 杭打ち・地盤改良工事について 地下水汚濁への影響などについては事前調査を行い(近隣に井戸がある場合や中間に逸水層がある場合)、工法について施工計画段階で検討し、施工の際は十分に注意しながら施工を行い異常が生じた場合には必要な措置を行うこと。		○ 53. 道路占用許可申請及び道路使用許可申請について 申請については、受注者が道路管理者や警察署と協議するものとし、必要書類については、監督員と協議の上、作成すること。 なお、道路占用料及び道路使用許可申請手数料については、監督員との協議により設計変更の対象とする。	
			○ 25. 周辺住民への説明等について 工事現場の周辺住民に対しては、事前に十分な工事内容の説明(作業時間、工法、期間等)を行い協力を得られるように努めるとともに、工事期間中は迷惑、紛争等のないように十分注意すること。 (近隣住民から相談・苦情の申立て等があった場合には誠意をもって、速やかに対処すること。)		○ 54. 建設キャリアアップシステム活用工事の試行 本工事は、建設キャリアアップシステム活用工事の対象である。試行に当たっては、鹿児島市建設キャリアアップシステム活用工事試行要領(令和8年4月1日)に基づき行うものとする。試行要領は、鹿児島市ホームページから入手できる。	
			ゲンプラン設計株式会社 一級建築士 第 326631 号 東野 幸史良		吉野小学校校舎30号棟長寿命化改良本体工事 建築工事特記仕様書 5ー1 鹿児島市建設局建築部建築課	
					Aー1	
					Ver.R80401	

章		項 目		特 記 事 項		章		項 目		特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
7 鉄 骨 工 事	4. 溶 接 接 合	開先形状(国土交通省大臣官庁官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による) ・レ形 ・K形 (7. 6. 4) 余盛り高さ ※ 鉄骨精度検査基準による ・ (7. 6. 7) ・鋼製エンドタブを切断する箇所及び範囲 () 溶接部の試験 (7. 6. 12) ※ 外観試験 (a)() (b)() ※ 超音波探傷試験 ※ 行う AOQL(工場溶接) ※レベルⅠ：4.0% ・レベルⅡ：2.5% 検査水準 ※第6水準 ・()				11 タ イ ル 工 事	○ 1. 共 通 事 項	伸縮調整目地及びびり割れ誘発目地 (11. 1. 3) 位置 外壁(※ 表11. 1. 1 ・ 図示による) 屋内(・) 寸法 ※ 9. 7. 3 ・ () ○ 2. 施 工 後 の 確 認 及 び 試 験 ※ 外観の確認 ※ 打診による確認 ・ 引張接着試験 (11. 1. 7) ○ 3. 材 料 タイルの種類 (11. 2. 2)(11. 3. 2) <table><tr><th>施工箇所</th><th>形状・寸法</th><th>耐凍害性</th><th>耐滑り性</th><th>役物</th><th>色</th></tr><tr><td>昇降口</td><td></td><td>・ 有 ○ 無</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・ 有 ○ 無</td><td>○ 標準 ・ 特注</td></tr><tr><td>足洗</td><td></td><td>・ 有 ○ 無</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・ 有 ○ 無</td><td>○ 標準 ・ 特注</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 標準 ・ 特注</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 標準 ・ 特注</td></tr></table> 製造所 (監督員の承諾を得るものとする。) タイル試験張り (・ 実施する ・ 実施しない) タイル見本焼き(・ 実施する ・ 実施しない) ・ 既調合モルタル() (11. 2. 3) ・ 下地及びタイルごしらえ (・ MCR工法 ・ 目荒し工法(高圧水洗)) (11. 2. 7)(表11. 2. 3) タイル張りの種別 ・ () ・ () 工法 () ・ () 4. セメントモルタルによる タ イ ル 張 り (11. 2. 3) 5. 有機系接着剤 に よ る タ イ ル 張 り (11. 3. 3) (11. 3. 5)				施工箇所	形状・寸法	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	昇降口		・ 有 ○ 無	○ 有 ・ 無	・ 有 ○ 無	○ 標準 ・ 特注	足洗		・ 有 ○ 無	○ 有 ・ 無	・ 有 ○ 無	○ 標準 ・ 特注			・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 標準 ・ 特注			・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 標準 ・ 特注	12 木 工 事	○ 2. 防 腐 ・ 防 蟻 ・ 防 虫 処 理	しろあり防除工事 鹿児島県土木部建築課監修 鹿児島県しろあり防除工事特記仕様書により、社団法人日本しろあり対策協会鹿児島県支所登録施工業者が施工する。(使用薬剤は、非有機リン系薬剤とする) 土壌処理 ※ 行う(範囲：) ◎ 行わない 木材処理 ※ 行う(範囲：各階のFL+1m以下の下地材(合板等除く)) ・ 行わない 防腐・防蟻処理 ・ 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 (12. 3. 1) ◎ 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 防虫処理 ・ 行う ※ 行わない (12. 3. 2) 土壌処理、木材処理共に行った際は、受注者と白蟻防除工事施工業者連帯の5年保証書を提出する。 木材処理のみ行った際は、白蟻防除工事施工業者による施工証明書を提出する。 (12. 4. 1) 3. RC造等の内部間 仕 切 軸 組 及 び 床 組 木材 間仕切軸組に用いる製材 ・ 杉 ・ 松 ・ () 床組に用いる製材(土間スラブ類の土台、転ばし大引、転ばし根太) ・ ひのき ・ 保存処理木材 ・ () 床組に用いる製材(上記以外) ・ 杉 ・ 松 ・ () ○ 4. 窓、出入口その他 木材 窓、出入口、その他に用いる製材 吊元桟、水掛りの下桟、敷居 ※ ひのき ・ () (12. 5. 1) その他 ・ 松 ※ 杉 ・ () (12. 6. 1) 5. 床 板 張 り 木材 縁甲板、上がりがまちに用いる製材 ※ ひのき ・ () ・ 図示による (12. 7. 1) ○ 6. 壁 及 び 天 井 下 地 木材 ◎ 杉 ・ 松 ・ () ・ 図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	施工箇所	形状・寸法	耐凍害性	耐滑り性	役物	色																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	昇降口		・ 有 ○ 無	○ 有 ・ 無	・ 有 ○ 無	○ 標準 ・ 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	足洗		・ 有 ○ 無	○ 有 ・ 無	・ 有 ○ 無	○ 標準 ・ 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 標準 ・ 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 標準 ・ 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
5. 錆 止 め 塗 装	耐火被覆材の接着する面の塗装範囲() (7. 8. 2) 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲() 種別 鋼製スリーブ内面(※ As種 ・ Bs種) (7. 8. 4)(表18. 3. 1) 耐火被覆材の接着面 () (7. 8. 4)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
6. 耐 火 被 覆	種類 () 材料 () 工法 () 耐火性能() (7. 9. 3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
7. 工 事 現 場 施 工	建方精度 ※ 鉄骨精度検査基準による ・ () (7. 10. 2) アンカーボルト ・ 構造用アンカーボルト 形状()寸法() (7. 10. 3) ・ 鋼製アンカーフレーム ・ 図示による ・ () ・ 建方用アンカーボルト 保持及び埋込方法(・ A種 ※ B種) (7. 10. 3)(表7. 10. 1) 柱底均しモルタル工法 工法(※A種 ・ B種) 厚さ() ボルト接合 ※ 普通ボルト接合 ・ () (7. 11. 2) 面鉛めつき (7. 12. 4)(表14. 2. 2) <table><tr><th>亜鉛めつき種別</th><th>材 料</th><th>適 用 部 位</th></tr><tr><td>A 種</td><td>最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr><tr><td>B 種</td><td>最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr><tr><td>C 種</td><td>最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類 普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類</td><td></td></tr></table> 高力ボルト接合摩擦面 ・ プラスト処理 ・ () (7. 12. 5)				亜鉛めつき種別	材 料	適 用 部 位	A 種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類		B 種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類		C 種	最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類 普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類		12 木 工 事	○ 1. 材 料	木材 木材については、市内で生産・加工された木材の使用に努めること。 (12. 2. 1) 市内産材の確保が難しい場合でも、可能な限り県産材の使用に努めること。 ・ 地域産材の場所 ()地域 ただし、次の部位については「認証かごしま材」又は「認証かごしま材」と同等の基準を満足している 市内産材を使用すること。 なお、「認証かごしま材」同等材の使用にあたっては、下記の条件を満足したものとする。 ア. 認証かごしま材の品質(乾燥、寸法、面材品質)と同等の基準を満足している旨及び原木の生産地を記載した旨の出荷証明書が添付されたもの イ. 監督員の立会い検査により、上記アの品質が確認されたもの 指定部分 ・ 構造材全て ・ その他(・) 含水率 構造材 ※ 20％以下とする。 下地材 ※ A種 ・ B種 造作材 ※ A種 ・ B種 製材 「JAS1083」による製材 下地用製材 樹種、等級、寸法、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 等級 ・ 図示による ※ 2級 造作用製材 樹種、寸法、等級、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 板類における等級 ※ 桟、額縁、敷居、かもし、かまちの類の見え掛り面は上小節、それ以外は小節以上 ・ 図示による 広葉樹製材 樹種、寸法、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 等級 ※ 1等 ・ 図示による ・ () 含水率 ※ 10％以下 ・ 図示による ・ () 「JAS1083」以外の製材 下地、造作及び仕上げに用いる製材 樹種、寸法、材面の品質、含水率及び防虫処理 ※ 図示による 造作材の材面の品質の基準 ※ A種 ・ B種 (表12. 2. 2) 造作用集成材 「JAS1152」による造作用集成材 造作用集成材 品名、樹種、見付け材面数、寸法 ※ 図示による 見付け材面の品質 ※ 1等 ・ 図示による 化粧ばり造作用集成材 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、見付け材面数、寸法 ※ 図示による 見付け材面の品質 ※ 1等 ・ 図示による 化粧ばり構造用集成材 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、寸法、見付け材面の品質 ※ 図示による 「JAS1152」以外の造作用集成材 造作用集成材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ※ 図示による 含水率 ※ 15％以下 ・ 図示による ・ () 化粧ばり造作用集成材 樹種、寸法、化粧薄板の厚さ、見付け材面の品質 ※ 図示による 含水率 ※ 15％以下 ・ 図示による ・ () 化粧ばり構造用集成材 樹種、寸法、見付け材面の品質、化粧薄板の厚さ ※ 図示による 含水率 ※ 15％以下 ・ 図示による ・ () 造作用単板積層材 「JAS0701(単板積層材)」に基づく造作用単板積層材 品名、寸法、表面の品質及び防虫処理 ※ 図示による 「JAS0701(単板積層材)」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質及び防虫処理 ※ 図示による 含水率 ※ 14％以下 ・ 図示による ・ () JAS3079(直交集成板) 品名、強度等級、種別、接着性能(使用環境)、樹種及び寸法 ※ 図示による 合板等 下地用普通合板 品名、単板の樹種名、防虫処理 ※ 図示による 厚さ ※ 5. 5mm ・ 図示による 接着の程度 ※ 1類 ・ 図示による 板面の品質 ※ 2等以上(広葉樹) ※ C-D以上(針葉樹) ・ 図示による 下地用構造用合板 品名、単板の樹種名、保存処理、防虫処理、強度等級 ※ 図示による 厚さ ※ 12mm ・ 図示による 接着の程度 ※ 1類(湿潤箇所を除く) ※ 特類(湿潤箇所) ・ 図示による 等級 ※ 2級以上 ・ () 板面の品質 ※ C-D以上 ・ 図示による 化粧ばり構造用合板 品名、厚さ、単板の樹種名、接着の程度、防虫処理 ※ 図示による 湿潤状態となる場所に使用する場合の接着の程度 ※ 特類 ・ 図示による 天然木化粧合板 厚さ、接着の程度、化粧板に使用する単板の樹種名、防虫処理 ※ 図示による 特殊加工化粧合板 品目、厚さ、接着の程度、単板の樹種名、化粧加工の方法、防虫処理 ※ 図示による パーティクルボード 表表面の状態による区分、難燃性による区分及び厚さ ※ 図示による 曲げ強さによる区分、耐水性による区分、厚さ ※ 厚さ15mm、曲げ強さ13タイプ、耐水性MR1(M)又はMR2(P)タイプ 構造用パネル 品名、厚さ ※ 図示による MDF 表表面の状態による区分、曲げ強さによる区分、接着剤による区分 ※ 図示による 難燃性による区分、厚さ ※ 図示による 接合具等 (12. 2. 2) 造作材の化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し 諸金物の形状、寸法、材質 ※ 12. 2. 2(ア)による ・ () ・ 図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
亜鉛めつき種別	材 料	適 用 部 位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
A 種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
B 種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
C 種	最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類 普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
8	1. 補 強 コンクリート フ ロ ッ ク 造	ブロックの種類 () (8. 2. 2) モジュール呼び寸法 長さ() 高さ() 正味厚さ () 各部の配筋 ※ 図示による (8. 2. 5) 目地仕上げ ・ 押し目地仕上げ ・ 化粧目地仕上げ (8. 2. 7) 2 コンクリートフロック 帳 壁 及 び 塀 ブロックの種類 ※ 表8. 3. 1 (8. 3. 2) 壁鉄筋の継手() 定着() 末端部折り曲げ形状() (8. 3. 4) 配筋 <table><tr><th>縦 筋</th><th>横 筋</th><th>開口補強筋(縦横)</th><th>端部補強筋</th></tr><tr><td>D10-400@</td><td>D10-400@</td><td>1-D13</td><td>1-D13</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 3 A L C パ ネ ル 区分(一般・平パネル)単位荷重()厚さ(100)幅(300～600)長さ()耐火性能(耐火構造) (8. 4. 2) 耐火目地材 ・ 図示による ・ () 外壁パネル構成 構法の種別：(・ A種 ・ B種)目地幅() (8. 4. 3) 耐風圧性能()耐震性能() 種類()形状()厚さ()幅() (8. 5. 2) 外壁パネル工法 工法の種別：(・ A種 ・ B種)目地幅() (8. 5. 3) 間仕切壁パネル工法 工法の種別：(・ B種 ・ C種) (8. 5. 4) 9 防 水 工 事 1. 合成高分子系 ルーフィングシート防水 (9. 4. 2～3)(表9. 4. 1) <table><tr><th>工 程 種 別</th><th>適 用 箇 所</th><th>仕 上 げ 塗 料 塗 り</th><th>厚 さ</th></tr><tr><td>・ S-F1</td><td></td><td>・ カラー ・ シルバー</td><td>※ 1.2mm ・</td></tr><tr><td>・ S-F2</td><td></td><td></td><td>※ 1.5mm ・</td></tr><tr><td>・ S-M1</td><td></td><td>・ カラー ・ シルバー</td><td>※ 1.5mm ・</td></tr><tr><td>・ S-M2</td><td></td><td></td><td>※ 1.5mm ・</td></tr></table> 機械的固定方法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること 可塑剤移行防止用シート ※ 発泡ポリエチレンシート ・ () (9. 4. 4) 2. 塗 膜 防 水 ウレタンゴム系塗膜防水 (9. 5. 3)(表9. 5. 1～2) <table><tr><th>工 程 種 別</th><th>施 工 箇 所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ X-1 (絶縁工法)</td><td>※ 屋根</td><td></td></tr><tr><td>・ X-2 (密着工法)</td><td>※ 屋根</td><td></td></tr></table> ゴムアスファルト系塗膜防水 <table><tr><th>工 程 種 別</th><th>施 工 箇 所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ Y-1</td><td>地下外壁</td><td></td></tr><tr><td>・ Y-2</td><td>屋内</td><td>保護層 ・ 適用する ・ 適用しない</td></tr></table> 3. シ ー リ ン グ シーリングの種類は、表9. 7. 1による (9. 7. 2)(表9. 7. 1) 目地寸法 ※ 9. 7. 3(1)(ア～ウ) ・ () (9. 7. 3) 接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 (9. 7. 5) 屋上等の活性進化防水剤入りコンクリートタンピング金ゴて押え(防水剤は6章 コンクリート工事による) 防水工事の施工については、10年保証書を提出すること。 なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする(シーリングを除く)。 保証書の必要な防水工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。 10 石 工 事 1. 共 通 事 項 石の割付け ・ () ・ 図示による (10. 1. 3) 石材の加工 粗面仕上げの場合 ・ 監督員と協議 ・ 図示による ワックスの使用 ・ 使用する ・ 使用しない (10. 1. 5) 2. 材 料 テラゾ 種類及び大きさ ※ 大理石(15～12mm) ・ () (10. 2. 1) テラゾブロック 形状 ・ 平物 ・ 役物 仕上げ面 ・ 片面 ・ 両面 寸法 (図示による) 表面仕上げ ・ 粗磨き ・ 水磨き ・ 本磨き				縦 筋	横 筋	開口補強筋(縦横)	端部補強筋	D10-400@	D10-400@	1-D13	1-D13					工 程 種 別	適 用 箇 所	仕 上 げ 塗 料 塗 り	厚 さ	・ S-F1		・ カラー ・ シルバー	※ 1.2mm ・	・ S-F2			※ 1.5mm ・	・ S-M1		・ カラー ・ シルバー	※ 1.5mm ・	・ S-M2			※ 1.5mm ・	工 程 種 別	施 工 箇 所	備 考	・ X-1 (絶縁工法)	※ 屋根		・ X-2 (密着工法)	※ 屋根		工 程 種 別	施 工 箇 所	備 考	・ Y-1	地下外壁		・ Y-2	屋内	保護層 ・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								</
縦 筋	横 筋	開口補強筋(縦横)	端部補強筋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
D10-400@	D10-400@	1-D13	1-D13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
工 程 種 別	適 用 箇 所	仕 上 げ 塗 料 塗 り	厚 さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ S-F1		・ カラー ・ シルバー	※ 1.2mm ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ S-F2			※ 1.5mm ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ S-M1		・ カラー ・ シルバー	※ 1.5mm ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ S-M2			※ 1.5mm ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
工 程 種 別	施 工 箇 所	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ X-1 (絶縁工法)	※ 屋根																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ X-2 (密着工法)	※ 屋根																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
工 程 種 別	施 工 箇 所	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ Y-1	地下外壁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ Y-2	屋内	保護層 ・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

14
金属
工事

○ 1. 一般事項

○ 2. 表面処理

あと施工アンカー施工後の確認引張試験 ・ 実施する ・ 実施しない (14. 1. 3)

○ アルミニウム及びアルミニウム合金 (14. 2. 1)(表14. 2. 1)

種 類	施 工 箇 所
・ AB-1種(無着色)	
・ AB-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)	
・ AC-1種(無着色)	
・ AC-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)	
・ BA-1種(無着色)	
・ BA-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)	
※BB-1種(無着色)	アルミ建具
・ BB-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)	
・ BC-1種(無着色)	
・ BC-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)	
・ C種	

陽極酸化皮膜着色方法 ※二次電解着色 (色合:) ・ ()

○ 鉄鋼の亜鉛めっき (14. 2. 2)(表14. 2. 2～4)

表面処理方法	種 類	施 工 箇 所
溶融亜鉛めっき	・ A種	
	◎ B種	2～4階 渡り廊下スロープ
	・ C種	
電気亜鉛めっき	・ D種	
	・ E種	
	・ F種	

○ 3. 軽量鉄骨天井下

○ 4. 軽量鉄骨壁下地

5. 金属成形板張り

6. アルミニウム製木

野縁等の種類 屋内 ※19形 ・ 25形 (14. 4. 2)(表14. 4. 1)

屋外 ・ 19形 ※25形

・ 野縁受、吊ボルト及びインサート間隔(屋外) () (14. 4. 3)(表14. 4. 2)

・ 野縁の間隔(屋外) ()

・ ダクト等により吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示による ・ () (14. 4. 4)

・ 天井ふところさが3.0m以上の補強方法 ※図示による ・ ()

・ 耐震性を考慮した補強 ※図示による ・ ()

・ 屋外の軒・ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 ※図示による ・ ()

スタッド、ランナーの種類 (14. 5. 1～14. 5. 4)(表14. 5. 1)

種 類	部 材	施 工 箇 所
・ 50形	・ スタッド ・ ランナ	
◎ 65形	◎ スタッド ◎ ランナ	図示
・ 90形	・ スタッド ・ ランナ	
◎ 100形	◎ スタッド ◎ ランナ	図示

(14. 6. 2)(14. 6. 3)

形 状	製 法	材 種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理
・ スパンドレル形	・ 押出し	※アルミニウム製			(14.2.1～3、表14.2.1～2 による)
	・ ロール				
・ パネル形	※ プレス				

伸縮調整継手 ※設けない ・ 設ける(施工箇所は図示)

(14. 7. 2)(14. 7. 3)

種 類	表 面 処 理	備 考
・ 250形	・ AB-1種 ・ AB-2種 ・ AC-1種 ・ AC-2種	・ 隅角部及び突出たり部等
・ 300形	・ BA-1種 ・ BA-2種 ※BB-1種 ・ BB-2種	の役物は本体製造所の
・ 350形	・ BC-1種 ・ BC-2種 ・ C種	仕様による

※ 工法は建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けると

○ 1. モルタル塗り

○ 2. 仕上塗材仕上げ

材料 (15. 3. 2)

モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料(JIS A 6916)

防水モルタルの防水剤

製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)

・ 既製目地材 形状()

(15. 6. 2)(表15. 6. 1～2)

JIS A 6909(建築用仕上塗材)

種 類	呼 び 名	仕 上 げ 形 状 等
・ 薄付け仕上塗材	※ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状
・ 複層仕上塗材	※ 複層塗材E	・ 凸部処理 ・ 凹凸状
	・ 複層塗材RE	耐候性 ※耐候形3種
	・ 防水形複層塗材E	上塗材
		溶 媒 ※水系 ・ 溶剤系
		樹 脂 ※アクリル系
		外 観 ※つやあり ・ つやなし
		・ メタリック

○ 1. アルミニウム製建具

(16. 2. 2,4,5)(表16. 2. 1, 2)

種 別	外 部 に 面 す る 建 具	内 部 建 具	枠見込み(mm)
※普通ドア	・ A種 ・ B種		※ 70 ・
セツト、サッシ	・ C種		※ 100 ・ 図示
	・ 木下地	・ D種 ・ E種	※ 70
・ 防音ドアセット	遮音性の等級()		
・ 断熱ドアセット	断熱性の等級()		
・ 耐震ドアセット	面内変形追随性の等級()		
表面処理(表14.2.1による)	※BB-1種 ・	※AC-1種 ・	

網戸防虫網 ※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 (16. 2. 3)

結露水 ※ 屋外排出

くつずり仕上 ※HL

水切り板、ぜん板等 ※図示

製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)

○ 2. 鋼製建具

3. ステンレス製建具

○ 4. 木製建具

○ 5. 建具用金物

6. 重量シャッター

7. 軽量シャッター

○ 8. ガラス

○ 9. ガラス留め材

10. ガラスブロック積み

(16. 4. 2,4,5)(表16. 4. 1,2)

種 別	簡易気密型ドアセットの性能	外部に面する建具の耐風圧性	鋼板類の厚さ
・ 標準型建具	・ 表16. 4. 1を適用する	・ S-4 ・ S-5	※表16. 4. 2による
	・ 適用しない	・ S-6 ・	※ 適用しない
・ 標準型建具以外の建具	・ 表16. 4. 1を適用する	・ S-4 ・ S-5	※表16. 4. 2による
	・ 適用しない	・ S-6 ・	※ 適用しない

製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)

(16. 6. 3)

材料 ※SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 ・ ()

表面仕上げ ※HL ・ No.8(鏡面) ・ #400 ・ No.2B ・ () (16. 6. 4)

曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ (16. 6. 5)

製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)

(16. 7. 2)(表16. 7. 1)

建具材の含水率 ※A種 ・ B種

かまち戸の樹種 かまち () 鏡板 ()

ふすま紙の上張り ・ 新鳥の子 ・ 鳥の子 ・ ビニル紙 ・ 雲花紙

枠 ・ 木製枠 ・ 鋼製枠 ・ ()

くつずり ・ ステンレス製(HL仕上げ) ・ ()

フラッシュ戸 表面板の厚さ ※表16.7.6 (16. 7. 3)

見込み寸法 かまち戸(※36mm ・) ふすま戸(※19.5 ・ 21 ・ 18) (16. 7. 3)

戸ぶすま(※30mm ・) 紙張り障子(※30mm ・)

(16. 8. 1,2,3)(表16. 8. 1)

※ 建具製作所の仕様による ・ 図示による (16. 8. 4)

マスターキー ※製作する ・ 製作しない

鍵箱 ※必要 (組用) ・ 不要

(16. 11. 2～5)

種 類	耐風圧性能	開閉機能	シャッターケースの設置	危 害 防 止 機 構
・ 管理用シャッター	・ 50 ・ 80	※上部電動式	・ 有 ・ 無	※危険防止措置 ・ シャッターの二段降下方式
・ 外壁用防火シャッター	・ 120 ・	(手動併用)		
・ 屋内用防火シャッター		・ 上部手動式	※ 有	
・ 防煙シャッター				

(16. 12. 2)

開閉形式 ※手動式 ・ 上部電動式(手動併用)

耐風圧性能 ・ 50 ・ 65 ・ 80

スラットの材質 ※塗装亜鉛めっき鋼板又は鋼帯 ・ () (16. 12. 3)

スラットの形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 (16. 12. 4)

(16. 14. 2)

JIS規格品

※ 材料、厚みは図示による

(16. 14. 2,3)

アルミニウム製建具 ※シーリング(SR-1)

・ ガスケット(グレイジングチャンネル形)(窓に適用)

(表 9. 7. 1)

鋼製・ステンレス製建具 ※シーリング(SR-1)

木製建具 ※シーリング(SR-1)

(16. 14. 5)

JIS A 5212(ガラスブロック(中空))

表面形状() 呼び寸法() 厚さ()

壁用金属枠及び補強材 ()

力骨

材 質	寸 法	形 状
※ステンレス鋼(SUS304)	※径5.5mm	※はしご形状腹筋及び単筋
・	・	・

シーリング材 ()

金属製化錠カバー 材質() 寸法() 形状()

ガラスブロックの目地幅の寸法

平積み ※8～15mm ・ ()

曲面積み ※外側15mm以下、内側6mm以上 ・ ()

伸縮調整目地位置 ※6mm以下 ・ ()

目地部の力骨の補強方法 ※製造所の仕様 ・ ()

○ 1. 材

○ 2. 素地ごしらえ

○ 3. 塗料塗り

※ 屋内の壁及び天井の塗装仕上げ材は、防火材料の指定がある場合は建築基準法に基づき、指定又は認定を受けたものとする。基材同等の認定表示のあるものとする。

○ 木部 不透明塗料塗り (※A種 ・ B種) (18. 2. 2)(表 18. 2. 1)

透明塗料塗り (・ A種 ・ B種)

○ 鉄鋼面 (・ A種 ・ B種 ※C種) (18. 2. 3)(表 18. 2. 2)

(耐候性塗料塗り(DP)の場合は、B種とする)

・ 亜鉛めっき鋼面 (・ A種 ・ B種) (18. 2. 4)(表 18. 2. 3)

○ モルタル及びせつこうプラスター面 (・ A種 ※B種) (18. 2. 5)(表 18. 2. 4)

○ コンクリート及びALCパネル及び押出成形セメント板面 (・ A種 ※B種) (18. 2. 6)(表 18. 2. 5)

(押出成形セメント板面及び耐候性塗料塗り(DP)については、表18. 2. 6による)

(表 18. 2. 6)

○ せつこうボード及びその他ボード面 (・ A種 ※B種) (18. 2. 7)(表 18. 2. 7)

(18. 3. 2～3)(表 18. 3. 1～6)

○ 錆止め塗料塗り

下 地	塗 料 種 別	塗 り 種 別
鉄鋼面	錆止め塗装のまま	※As種
	SOP	※As種
	EP-G	・ As種 ※Bs種
	DP	1回目 ※Cs種
	2・3回目 ※Ds種	表18. 3. 4
亜鉛めっき鋼面	SOP	※Az種 ・ Bz種
	EP-G	※Cz種
	DP	※Bz種

表18. 3. 6

○ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)

塗料種類 ※1種 ・ 2種 (18. 4. 2)

木部塗り種別 (屋外) ※A種 ・ B種 (18. 4. 3)

(屋内) ・ A種 ※B種 (多孔質広葉樹の場合を除く)

(18. 4. 4)

鉄鋼面塗り種別 ・ A種 ※B種

(18. 5. 2)(表 18. 5. 1)

○ クリヤラッカー塗り(CL)

塗り種別 ・ A種 ※B種

・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) (18. 6. 2)(表 18. 6. 1)

塗り種別 ・ A種 ※B種

○ 1. モルタル塗り

○ 2. 仕上塗材仕上げ

材料 (15. 3. 2)

モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料(JIS A 6916)

防水モルタルの防水剤

製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)

・ 既製目地材 形状()

(15. 6. 2)(表15. 6. 1～2)

JIS A 6909(建築用仕上塗材)

種 類	呼 び 名	仕 上 げ 形 状 等
・ 薄付け仕上塗材	※ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状
・ 複層仕上塗材	※ 複層塗材E	・ 凸部処理 ・ 凹凸状
	・ 複層塗材RE	耐候性 ※耐候形3種
	・ 防水形複層塗材E	上塗材
		溶 媒 ※水系 ・ 溶剤系
		樹 脂 ※アクリル系
		外 観 ※つやあり ・ つやなし
		・ メタリック

○ 1. アルミニウム製建具

(16. 2. 2,4,5)(表16. 2. 1, 2)

種 別	外 部 に 面 す る 建 具	内 部 建 具	枠見込み(mm)
※普通ドア	・ A種 ・ B種		※ 70 ・
セツト、サッシ	・ C種		※ 100 ・ 図示
	・ 木下地	・ D種 ・ E種	※ 70
・ 防音ドアセット	遮音性の等級()		
・ 断熱ドアセット	断熱性の等級()		
・ 耐震ドアセット	面内変形追随性の等級()		
表面処理(表14.2.1による)	※BB-1種 ・	※AC-1種 ・	

網戸防虫網 ※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 (16. 2. 3)

結露水 ※ 屋外排出

くつずり仕上 ※HL

水切り板、ぜん板等 ※図示

製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)

○ 1. ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り

2. カーペット敷き

3. 合成樹脂塗床

4. フローリング張り

5. 畳敷き

接着剤 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、ビニル幅木に使用する接着剤は、ホルマリン不検出のもので、水性形のものとする。
接着剤に含まれる可塑性剤は、難揮発性のもとする(水廻り及び湿度の高い箇所を除く)。

ビニル床シート

種 類	色 柄	厚 さ	工 法	備 考
※FS	◎ 無地	※2.0	※熱溶接	◎ 防滑性ビニル床シート
・	◎ 模様	・	・ 突付け	・

ビニル床タイル

種 類	色 柄	厚 さ(mm)	備 考
※コンポジションビニル床タイル(KT)	・ 無地	※ 2	・ 防滑性床タイル
・ 単層ビニル床タイル(TT)	・ 模様	・ 3	
・ 複層ビニル床タイル(FT)			

特殊機能床材

帯電防止床シート又は床タイル 種類() 性能() 厚さ()

視覚障害者用床タイル 種類() 形状()

耐動荷重性床シート 種類() 厚さ()

ビニル幅木 厚さ(※1.5mm以上 ・) 高さ(※60mm ・ 100mm) 種類()

ゴム床タイル 種類() 厚さ() 色柄() 寸法()

下地がセメント系及び木質系以外の場合の接着剤種別 ビニル床シート、タイル()
ゴム床タイル()

・ 織じゅうたん 種別 (・ A種 ・ B種 ・ C種) 織り方() (19. 3. 2～3)(表19. 3. 1～2)

バイル形状 (・ カットバイル ・ ループバイル ・)

帯電性(人体帯電圧 ※3kv以下 ・)

・ タフテッドカーペット バイル形状 (・ カットバイル ・ ループバイル ・)

バイル長() 帯電性(人体帯電圧 ※3kv以下 ・)

工法 (・ グリッパ ・ 全面接着)

・ タイルカーペット 種類 (※第1種 ・) バイル形状(※ ループバイル ・)

寸法 (※500mm角 ・) 総厚さ(※6.5mm ・)

平場敷き方 (※市松敷き ・)

階段敷き方 (※模様流し ・)

下敷き材 (※ JIS L 3204 第2種2号 呼び厚さ8mm ・)

取付け用付属品 見切り 材質() 種類() 形状()

押え金物 材質() 種類() 形状()

(19. 4. 2～3)(表19. 4. 4～8)

材 料	種 類	仕 上 げ の 種 類
・ 厚膜型塗床材	・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
	・ エポキシ樹脂系塗床材	・ 薄膜流しのペ工法 (※平滑 ・ 防滑)
	・ 樹脂モルタル工法 (※平滑 ・ 防滑)	
・ 薄膜型塗床材	・ エポキシ樹脂系塗床材	・ 平滑仕上げ

(19. 5. 2～7)(表19. 5. 1～5)

工 法	フローリング種類	寸 法 等	樹 種	
※ 釘留め工法 (接着剤併用)	※ 根太張り工法	単層 ※フローリングボード	表19. 5. 1	・ なら
		複合 ・ A種 ・ B種 ※C種	表19. 5. 2	・ さくら
	・ 直張り工法	単層	※フローリングボード	表19. 5. 3
・ A種 ・ B種 ・ C種			表19. 5. 4	・ さくら
・ 接着工法		単層	・ フローリングブロック ※図示による	
	・ フローリングボード		表19. 5. 5	・ さくら
	複合	・ A種 ・ B種 ・ C種	表19. 5. 6	

畳の種別 (和室) ・ A種 (畳床 ・ JS ・ J1) ・ B種 (19. 6. 2)(表 19. 6. 1)

※ C種 (畳床 ※PS-C20 ・ PS-C25 ・ PS-C30)

D種 (畳床 ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-Ⅲ ・ KT-K ・ KT-N)

(柔道場) 製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)

ゲンブラン設計株式会社

一級建築士 第 326631 号

東野 幸史良

吉野小学校校舎30号棟長寿命化改良本体工事

建築工事特記仕様書 5-4

鹿児島市建設局建築部建築課

A-4

Ver.R80401

○ 6. せっこうボード、その他ボード及び合板張り

せっこうボード、その他ボード類（19. 7. 2～3）(表 19. 7. 1～5)

種 別	張 り 方	厚 さ	備 考
○ せっこうボード	● GB-R ・ GB-S ● GB-F ・ GB-L GB-D	天井 ※ 突付け ・ 継目処理 ● 突付け ・ 目透し ◎ 継目処理 ・ 目透し 天井 ※ 突付け ・ 継目処理 壁 ※ 突付け ・ 目透し	※ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・ ・ 9.5 ※ 12.5 ・ 15.0 ・ ◎ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・ ・ 9.5 ※ 12.5 ・ 15.0 ・
	● 化粧せっこうボード	● トライアチン模様 (GB-D) ・ 木目模様 (裏棧付) (GB-D)	直張り ※ 突付け ・ 継目処理 ・ 目透し ・ 突付け ・ 目透し ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し
○ 無石綿けい酸カルシウム板		・ 突付け ・ 継目処理 ※ 目透し	◎ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 12 ・ JIS A5430に準拠したノアスベストのもの
・ 木毛セメント板	・ 難燃木毛以上 (2級以上) ・ 断熱木毛セメント板	・ 30分耐火 ・ 準不燃 継目用金物	・ 15 ・ 20 ※ 25 ・ 30 ・ 40 ・ 50 監督員の承諾による工場

合板類

材 種	規 格	厚 さ	防虫処理	工 法
○ 普通合板	品名(シナ) 板面の品質 広葉樹 (※2等以上) 針葉樹 (※C-D以上) 単板の樹種名()	※ 5.5 ・ 9 ・ 12 ◎ 図示	・ 行う ・ 行わない	・ A種 ※ B種
	・ 天然木化粧合板	化粧板の単板の樹種名()	・ ・ 行う ・ 行わない	・ A種 ・ B種
・ 特殊加工化粧合板	品目() 接着の程度 () 化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ・)	・ ・ 行う ・ 行わない	・ 行う ・ 行わない	・ A種 ・ B種

下地 ○ 軽量鉄骨下地 ○ 木下地 ・

7. 壁 紙 張 り

(19. 8. 2～3)

施 工 箇 所	壁 紙 の 種 類					防火性能の級別	素地ごしらえ
	紙	織 物	ビニル	化学繊維	無 機 質		
	・	・	・	・	・	※ 1級 ・ 級	・ A種 ※ B種
	・	・	・	・	・	※ 1級 ・ 級	・ A種 ※ B種
	・	・	・	・	・	※ 1級 ・ 級	・ A種 ※ B種

8. 断 熱 ・ 防 露

(19. 9. 2～3)

種 類	施 行 箇 所	厚 さ(mm)	品 質 等
・ 押出法ポリステレンフォーム保温材	※ 2種b ・ 一般部 ・	・ 20 ・ 45.50	特定フロンを使用しないもの
	※ 3種b ・ 屋根 ・ ビット上部	・ 20 ・ 45.50	
・ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材)	※ 断熱材補修部分 ・ 一般部 ・ 熱橋部	・ # ・ 25.40	特定フロンを使用しないもの 難燃性 ※A種 1H ・A種 1 製造所：監督員の承諾する製造所

○ 9. そ の 他

○メラミン樹脂化粧板 厚さ(mm) ※ 1.2 ・ 1.6 ● 2.5～3.0
・ 内装プレハブ工法： 製造所の仕様による

20 ユニット及びその他の工事

1. フリーアクセスフロア

(20. 2. 2)

床面から仕上げ材床端までの寸法 ※ 100 ・ 110 ・
表面仕上材 ※ カーペット ・ 帯電防止ビニル床タイル (・ 置敷タイプ ・ パネル一体タイプ)
床パネルの材質 ※ アルミ合金ダイカスト製 ・ スチール製又は複合材等 ・
寸法 ※ 450角以上、600角以下 ・
適用地震時水平震度(Ks) (1階及び地階) ※ 0.6以上 ・
(中間階) ※ 0.6以上、1.0以下 ・
(最上階) ※ 1.0以上 ・
耐荷重性能 ※ 3,000N(製造所は評価名簿による) ・ 5,000N ・
空調用孔あきパネル 枚数() 材質()
コンセント開口 適用室 ()
コンセント部分以外にフリーアクセスフロア内からフロア面上へ配線取り出し開口を全パネルに有すること。
試験方法は、JIS A 1450(フリーアクセスフロア試験方法)による。
特記以外の仕様は製造所の仕様とする。

2. 可動間仕切 (既製間仕切)

(20. 2. 3)

構造形式	表面板及び厚さ	パネル仕上げ	パネル見込み
※ パネル式 ・ スタッド式 ・ ー	鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上 ・	※ 焼付塗装(常備色程度) ・	※ 60以上 ・ 50 ※ 30以上 ・
品質	JIS A 6512 又は 評価名簿による		

3. 移動間仕切 (スライディングウォール)

(20. 2. 4)

パネル操作方法 ()
パネル表面材の材質 (※ 銅板 ・)
パネル表面材仕上げ (・ 焼付け塗装 ・ 壁紙張り ・)
パネル圧接装置操作方法 () 遮音性能 (・ 一般タイプ(36dB未満) ・ 遮音タイプ(36dB以上))
ハンガーレール 取付下地補強方法 (※ 20. 2. 4(3)(7) ・)
固定方法 (・ あと施工アンカー(材質： ・ 、寸法：) ・)
製造所 評価名簿による

4. トイレブース

(20. 2. 5)

表面仕上げ材 ※ メラミン樹脂系化粧板同等品以上(標準色 アルミ製コーナーエッジ付き)
・ ポリエステル樹脂系化粧板
脚部 ※ 幅木タイプ ・ 足金物型
製造所 評価名簿による

5. 手すり及びタラップ

(20. 2. 6) (20. 2. 12)

種 類	材 料 の 種 別	表面処理(14.2.1～3、表14.2.1～2 による)
・ 手すり	※ ステンレスSUS304 ・ 鉄(亜鉛めっき)	※ HL程度 ・ 鏡面程度 ・ #400 (外部) ※ C種 ・ (内部) ・
	・ アルミ	(外部) ・ (内部) ・
・ タラップ	※ ステンレスSUS304 ・ 鉄(亜鉛めっき)	※ 研磨無し ・ (内外部) ※ C種 ・

ステンレスSUS430を使用する箇所 ()

○ 6. 階段滑り止め

(20. 2. 7)

材質 ※ SUS ・ ()
形状 ※ ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り ・ ゴムタイヤなし
両端フラットエンド ・ 無 ※ 有
幅(mm) ・ 35 ※ 40
取付け工法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法(溶接)

○ 7. 床 目 地 棒

(20. 2. 8)

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる。
・ 黄銅製 4×12 ・ ステンレス製 4×12 ※ ステンレス製 〇型(幅40 内外厚さ2)

○ 8. 黒 板 及 び ホワイトボード

(20. 2. 9)

	種 類	寸 法(mm)	色 彩	備 考
○ 黒板	※ 研出し ・ 焼付け		※ 緑 ・ 黒 ※ 緑 ・ 黒	※ 曲面 ・ スクリーン付引分け
	・ ホワイトボード	※ ほうろう白板	※ 白 ※ 白	・ 曲面 ・ スクリーン付引分け

黒板及びホワイトボードについて5年保証書を提出すること。なお、保証書は受注者と施工業者の連帯とする。
(製品には、製造年月、製作所記名プレートを取り付ける。)

9. 鏡

(20. 2. 10)

厚さ ※ 5mm ・

○ 10. 表 示

(20. 2. 11)

・ 対人衝突防止表示 ※ 図示(市販品 ※ ステンレス製 径約30mm ・) ・ 無し
・ 誘導標識、非常用進入口等の表示は消防法に適合する市販品とし、その他は共通詳細図による。
・ 室名表示 ※ 図示による

11. ブ ラ イ ン ド

(20. 2. 13)

形 式	スラットの材質	開 閉 方 式	スラットの幅 (mm)	ヘッドボックス及びボトムレール
・ 横形	※ アルミニウム合金	※ ギヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ 25 ・	※ 鋼製
・ 縦形	・ アルミスラット ・ クロススラット	※ 2本操作コード式	・ 80 ・ 100	

○ 12. カ ー テ ン 及 び カーテンレール

(20. 2. 16) (表 20. 2. 1)

レール、ブラケットの強さによる区分 ※ 10-90 ・ ()
材料 カーテンレール ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出成型材(アルマイト仕上げ)
・ ステンレス製
工法 暗幕用カーテン両端、上部及び召合せ重なり ※ 300mm以上 ・

21 排水工事

○ 1. 屋 外 雨 水 排 水

材料 ※ 図示による

2. 縁 石 及 び 側 溝

材料 ※ 図示による

1. 路 盤

(22. 3. 2)

・ 厚さ： ※ 図面による
・ 材料： ※ 再生クラッシャーランRC-40 ・ クラッシャーランC-40 ・ 図面による
再生クラッシャーランは、原則としてかごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。

22 舗装工事

2. アスファルト舗装

(22. 4. 2)

・ 構成及び厚さ： ※ 図面による
・ 再生アスファルトの種類 ・ 60～80 ・ 80～100 ・ ()
・ シールコートの適用： ・ 行う ※ 行わない
・ 表層の加熱アスファルトの混合物の種類： ・ ()
・ 切り取り検査： ・ 行う ※ 行わない
・ アスファルト混合物等の抽出試験： ・ 行う ※ 行わない

○ 3. コンクリート舗装

(22. 5. 2) (22. 5. 3)

・ 構成及び厚さ： ※ 図面による
・ 寒冷期に施工する場合で早強セメントを用いる場合： ※ 用いない ・ 用いる
・ 注入目地材料のタイプ： ※ 低弾性タイプ ・ ()
・ 溶接金網の網目の形状寸法、鉄線の径： ※ 鉄線径 6mm 網目 150mm

4. 透水性アスファルト舗装

(22. 7. 2)

・ 構成及び厚さ： ※ 図面による
・ 路盤材料： フィルター層は良質なシラスとする

5. ブロック系舗装

(22. 8. 1) (22. 8. 2)

・ 種類： ・ コンクリート平板舗装 ・ インターロッキングブロック舗装 ・ 舗石舗装
・ 構成及び厚さ： ※ 図面による
・ ブロックの敷設パターン： ※ 監督員の指示による ・ ()

6. 砂 利 敷 き

(22. 9. 2)

・ 構成及び厚さ： ※ 図面による
・ 種別： ・ A種 ・ B種
再生クラッシャーランは、原則としてかごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。

ゲンブラン設計株式会社
一級建築士 第 326631 号
東野 幸史良

吉野小学校校舎30号棟長寿命化改良本体工事
建築工事特記仕様書 5－5
鹿児島市建設局建築部建築課

A－5

Ver.R80401

外壁補修工事特記仕様書

I. 外 壁 仕 上 塗 材 除 去 工 事

1. 分 析 状 況

既存仕上塗材における石綿含有の有無

- ・ 未調査(以下の既存仕上塗材について石綿含有の分析調査を行い、監督員に結果を報告すること。石綿が含有されている場合は、施工範囲や工法等について監督員と協議すること。)

調査箇所(

計〇か所)

○ 調査済

- ・ 有 【使用箇所】 外壁・上裏:() 庇の天端・見付:()
- 無

2. 適 用 範 囲

コンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁における浮き、欠損、爆裂、ひび割れ、の劣化改修工事に先立ち行う石綿含有仕上塗材の除去工事に適用する。

3. 法 令 等 の 遵 守

大気汚染防止法、労働安全衛生法及び石綿障害予防規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令を遵守するとともに、関係機関等と協議を行い、必要に応じて手続き等を遺漏なく適正に行うこと。

大気汚染防止法、石綿障害予防規則に定められた事項を掲示板により公衆及び作業員の見やすい箇所に掲示すること。また、必要に応じて周辺住民等へ掲示等で周知すること。

4. 事前調査

除去作業に先立ち、事前調査を実施し、結果について工事現場に備え置くとともに、発注者へ書面により説明を行うこと。

5. 施 工 計 画

除去作業に先立ち、施工計画書(除去作業管理組織図、除去作業方法、掲示方法、産業廃棄物処理方法等)を作成して監督員に提出すること。施工計画にあたり、令和3年3月厚労省及び環境省作成「建築物等の解体等作業に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」及び令和3年3月環境省作成「石綿含有廃棄物等処理マニュアル(第3版)」を参考とすること。

作業従事者及び施設利用者等の安全に配慮するとともに、施設利用者等の活動に支障が生じないよう留意すること。

6. 除 去 作 業

1) 共通事項

- ① 石綿作業主任者・・・処理作業にあたって石綿障害予防規則に基づき選任すること。
- ② 処理作業従事者・・・石綿障害予防規則に基づく特別の教育を受けた者とする。
- ③ 作業箇所に近接する室内の開口部等に粉塵が入らないよう窓を閉め、養生及び立入禁止措置を講ずること。
- ④ 作業箇所は、作業環境に応じてプラスチックシート等で適切に養生を行うこと。
- ⑤ 除去作業後、石綿作業主任者が目視により取り残しがないことを確認すること。
- ⑥ 除去完了後、作業箇所及びその周辺(ベランダ内部を含む)をHEPAフィルター付真空掃除機で清掃すること。
- ⑦ 除去した仕上塗材及び養生材、保護衣等は、排出形態に応じて適切に保管・運搬・処分を行うこと。

2) 除去作業

- ① 除去工法は、以下の石綿障害予防規則第6条の2第2項ただし書きに基づく隔離養生及び湿潤化と同等以上の効果を有すること。それ以外の工法とする場合は監督員と協議すること。
 - 剥離剤併用手工具ケレン工法
 - ・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
- ② 使用する剥離剤については環境配慮型とし、使用前に事前試験を行い、適正条件を確認してから本施工すること。

II. 一 般 事 項

1. 適 用 範 囲

本特記の範囲は、設計図書に示した外壁のうちコンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁を対象とし、これらの浮き、欠損、爆裂、ひび割れの劣化を改修する工事に適用する。その他の仕上げ外壁については、監督員と協議し、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編)(令和4年版)に基づき施工する。

※ 仕上塗材が石綿含有の場合は、各工法において下縁部分を遵守すること。

2. 打診調査及び調査報告書

外壁の補修範囲については、施工前に建築仕上診断技術者(ビルディングドクター)による全面打診調査を行い、その結果に基づき、数量表及び図面(A3サイズ紙とJW-CADデータ)で構成する「調査報告書」を作成し、監督員に提出すること。

なお、調査にあたってはマーキングを行い、監督員の打診検査後、全ての補修箇所について番号を表示すること。

3. 検 査

施工数量調査のマーキング後、監督員による打診検査を受けること。また、外壁補修完了後は吹付工事前に監督員の完了検査を受けること。なお、施工中に、設計図書に明示のない箇所又は判断出来ない箇所が発見された場合は、監督員と協議を行い、施工すること。

4. 試 験

ポリマーセメントモルタル充填工法による補修箇所のうち監督員の指示する箇所について、表面引張り試験を監督員立会いのうえ実施し、その試験成績書を完成書類に添付すること。

5. 工 事 施 工

浮き部、ひび割れ部の樹脂注入工事に際しては、樹脂接着剤注入施工技能士を1名以上選任し、当該工事作業中自ら作業をするとともに他の技能者の作業指導を行い、施工品質の向上に努めるものとする。

6. 施 工 報 告 書

補修工事完了後、施工数量表及び施工図面(A3)で構成する「施工報告書」を作成し、完成書類に添付すること。

7. 工 事 写 真

補修工事を行った部分については、工程(工法・状態別に各2ヶ所)、完了後の写真を提出すること。

工事写真はすべてカラーとし、サイズはL版程度とする。

※ 撮影箇所及び方法等は、監督員と協議の上、決定すること。

8. 電子ファイリングデータ

- 1) 提出データ : 施工報告書、工事写真(完了後)
 - 2) データ提出媒体: データ提出用は、「CD-R」または「DVD-R」とする。
 - 3) データ保存形式: 図面データは、国土交通省の「官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕業務編】」の標準形式とする。写真データは、JPEG(写真帳等にまとめる場合はPDF)とする。
- ※ 原則に依りがたい場合は、事前に監督員の承諾を得るものとする。

9. 保 証 書

補修工事の施工については、保証書(3年)を提出すること。なお、保証書は受注者と施工業者の連帯とする。

※ マーキング、調査報告書、施工報告書、完成写真に付与する番号(面毎の通し番号)は統一させること。

III. 特 記 事 項

1. ポリマーセメントモルタル充填工法

① 適 用 範 囲

コンクリート打放しの欠損、爆裂の補修で全ての部位に適用し、モルタル塗り仕上げ面の欠損、爆裂、落下の恐れのある浮き(※1)の補修で下記の部位に適用する。ただし、0.25㎡未満で塗厚が30mmを超える場合は、監督員と協議の上、工法を決定すること。

- イ) パラペット ロ) 庇鼻 ハ) 窓面台及び笠木 ニ) 揚裏 ホ) 全ての部位の爆裂部
- ヘ) 柱壁、だき、まぐさの0.25㎡未満の部分

※ 改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。(補修範囲及び周囲5cm部分)

② 材 料

- 1) ポリマーセメントモルタルは、合成ゴム系、アクリル系とし既調合とする。なお、製品については次の品質基準に適合するものとする。
 - 曲げ強さ: 6N/mm²、 圧縮強さ: 20N/mm²、 接着強さ: 1N/mm²
- 2) 被着面に塗布するプライマーは、ポリマーセメントモルタルの製造所の指定する製品とし、ポリマーセメントモルタルの付着に支障のないものとする。
- 3) 防錆材等は、製造所の指定する製品とする。
- 4) 鉄筋及びコンクリート面に塗布する防錆材等は、ポリマーセメントモルタルの付着に支障のないものとする。

③ 工 法

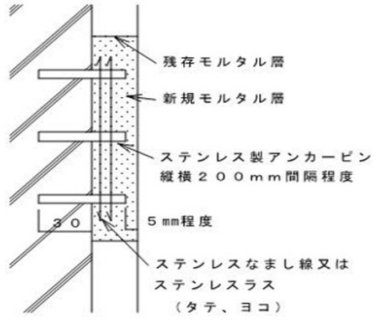
- 1) テストハンマーの打撃により、はがれ、剥落のおそれのある部分を確認し、補修範囲について監督員と協議する。
- 2) 欠損部及び塗替部周辺の脆弱部は、健全部にカッターを入れ、他の部分の浮きを誘発することのないよう内側のモルタルをハンマー等により除去し、欠損部の状況を目視で確認する。
- 3) 下地部分はワイヤーブラシ等でケレンし、汚れ、ほこり、油等の除去、清掃を行う。又、部分的に露出している鉄筋及びアンカー金物等は、健全部が露出するまでコンクリートをはつき落とし、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去し、防錆材等を塗布して防錆処理を行う。
- 4) プライマーを被着面に刷毛を用いて塗布する。
- 5) 各層の塗り厚は7mm程度とし、養生期間は1週間以上とする。ただし、製造所の仕様等により期間を短縮する場合は、資料を監督員に提出し承諾を受けること。
- 6) ポリマーセメントモルタルの面積が0.25㎡以上で塗厚が厚い(厚さ25mm以上)場合は、ポリマーセメントモルタルの下塗りに先立ち、ステンレスアンカーピンを縦横200mm間隔程度に躯体コンクリートに固定し、ステンレスなまし線を張り、足がかりをよくしてからポリマーセメントモルタル塗りを行う。ステンレスアンカーピンは塗厚に応じて長さを変えること。
- 7) 表面は金コテ又は刷毛引き仕上げとする。
- 8) 各層とも急激な乾燥を避け、適切に養生する。
- 9) 各工程に伴う作業は、製造所の仕様を準用する。

④ 確 認

下地の脆弱部分の除去と堅固な下地を確認する。



図一 鉄筋露出の場合 (ポリマーセメントモルタル充填工法)



図二 塗厚が25mmを超える場合

吉野小学校校舎30号棟長寿命化改良本体工事

外壁補修工事特記仕様書(1)

鹿児島市建設局建築部建築課

A-6

Ver.B80401

2. アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

① 適用範囲

モルタル塗り仕上げ面で落下の恐れのない(※2)浮き部に適用する。

② 材料

- 1) エポキシ樹脂は、JISA6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に適合するものとする。
- 2) アンカーピンの材質は、ステンレス鋼(SUS304)とし、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

③ 工法

- 1) テストハンマーを用いて浮き部を確認し、チョーク等で明示の上、注入範囲について監督員と協議すること。
- 2) 浮き部分に対するアンカーピン本数は、一般部分(壁面等)は16本/㎡、指定部分(揚裏、パラペット)は25本/㎡、狭幅部は幅中央に5本/mとする。又、所定の本数が浮き部分に対して均等に配置されるよう穿孔位置をマーキングする。
- 3) 穿孔はコンクリート用ドリルを用い、使用するアンカーピンの直径より約2mm大きい直径とし、壁面に対し直角に穿孔する。穿孔はマーキングに従って行い、構造体コンクリート中に30mm程度の深さに達するまで行う。穿孔後は、十分孔内を清掃して、接着の妨げとなる切粉等を除去する。(清掃は電気ブロア器具同等以上の清掃器具を使用すること。)

※石綿含有仕上塗材の穿孔にあたっては、粉じん飛散防止のため、水循環式ドリル又は集じん装置(HEPAフィルター)ドリル使用とすること。

- 4) アンカーピン固定用エポキシ樹脂を手動式注入器を用い、注入口の最深部より徐々に充填する。充填量は、挿入孔1箇所当たり25mlとする。
- 5) アンカーピンを挿入孔最深部まで挿入し、パテ状エポキシ樹脂等で仕上げる。
- 6) 注入部以外に付着した材料は、適切な方法で除去し、清掃する。

④ 確認

アンカーピン固定部のエポキシ樹脂の広がり、固着状況について全数をテストハンマーの打診により確認する。

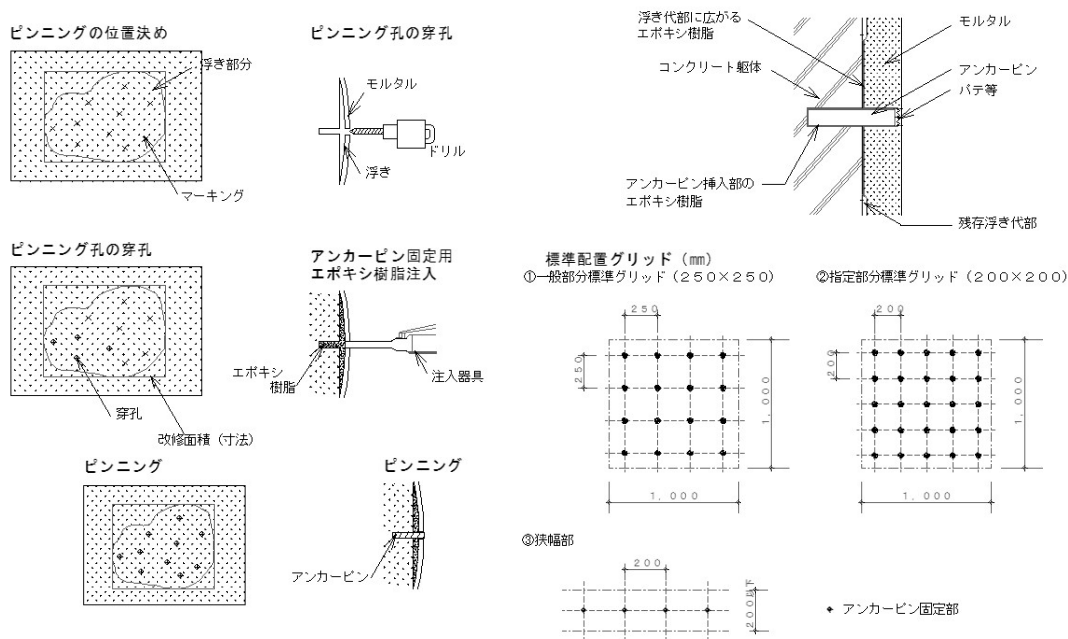


図-3 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

3. 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

① 適用範囲

コンクリート打放し仕上げ及びモルタル塗り仕上げのひび割れ幅が、0.2～1.0mm以下のひび割れ部について適用する。

② 材料

- 1) エポキシ樹脂はJISA6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に適合するものとする。
- 2) シール材は、注入材料製造所の指定する製品とし、既存の塗材、塗料等又は新規の塗材、塗料等に支障のないものとする。

③ 工法

- 1) ひび割れに沿って幅50mm程度の汚れを除去し、清掃する。
※石綿含有仕上塗材の清掃にあたっては、粉じん飛散防止のため、飛散の恐れがあるワイヤブラシ等によるケレンは行わないこと。
※コケ等汚れにより清掃が困難な場合は、監督員と協議を行い、補修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。
- (4)本工② 2) 注入孔位置をスケール等で測定し、チョーク等でその位置のマーキングを行う。
- 3) 注入孔間隔は250mm程度とする。
- (5)工事④ 4) 注入器具又は台座をひび割れが中心にくるようにして、仮止めシール材等で取り付ける。
- 5) 混練りしたエポキシ樹脂を注入器具に入れ、ゴム、パネ、空気圧等により注入圧を0.4N/㎡以下として注入する。
- 6) 注入時は、台座やシール部からの漏れをチェックし、注入器具内のエポキシ樹脂の減量状態を確認して、足りない場合は補充する。
なお、注入完了後は、注入器具を取り付けたまま硬化養生をする。
- 7) エポキシ樹脂注入材の硬化を見計らい、仮止めシール材及び注入器具を適切な方法で撤去し、清掃を行う。

④ 確認

注入時の確認は一つ上の注入器具から漏出することを確認する。注入後の確認は注入が行われたか否かを目視する。

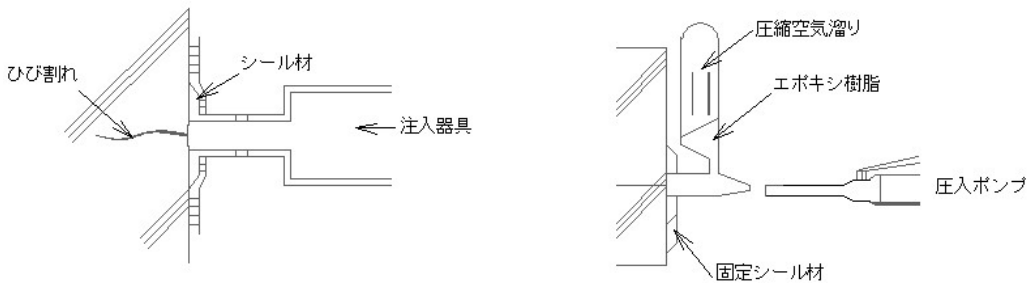


図-4 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

4. Uカットシーリング材充填工法

① 適用範囲

コンクリート打放し仕上げ及びモルタル塗り仕上げのひび割れ幅が1.0mmを超え、かつ挙動されるひび割れ部をUカットシーリング用材を充填しポリマーセメントモルタルを塗り込む場合に適用する。

※補修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。(ひび割れ沿いの幅5cm部分)

② 材料

- 1) シーリング材は、JISA5758(建築用シーリング材)に適合するものとする。
- 2) プライマーは、主材製造所の製品とし、被着体(塗装してある場合は塗料)に適したものとする。
- 3) バックアップ材は、合成樹脂又は合成ゴム製でシーリング材と接着しないものとし、使用箇所に適した形状で大きさが目地幅より2mm程度広いものとする。

③ 工法

- 1) ひび割れ状況について確認し、補修範囲について監督員と協議すること。
- 2) ひび割れ部に沿って電動カッター等を用いて幅10mm程度、深さ10～15mm程度にU字型の溝を設ける。
- 3) Uカット溝内部に付着している切片、粉塵等はワイヤブラシ、はけ等で除去する。
- 4) 被着体に適したプライマーを溝内部に塗残しのないよう均一に塗布する。
- 5) プライマー塗布後、ごみ・ほこり等が付着した場合又は当日充填が出来ない場合は再清掃し、プライマーを再塗布する。
- 6) プライマー塗布後、シーリング材を隔々まで行きわたるようにコーキングガンノズルをUカット溝に当て、加圧しながら空隙、打残しがないように充填し、コンクリート表面から3～5mm程度低めに充填し、充填後はへらで押え、下地と密着させて表面を平滑に仕上げる。
- 7) ポリマーセメントモルタルをコンクリート表面に合わせて平滑に塗り込む。

④ 確認

シーリング材の充填状況を目視により確認する。

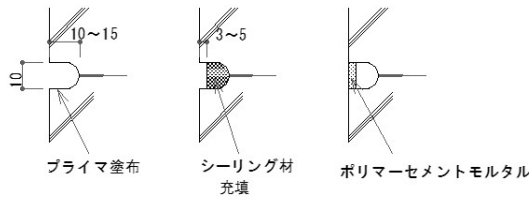


図-5 Uカットシーリング材充填工法

5. その他

- ① 以下の場合については、監督員と協議の上工法を決定すること。
 - イ) 構造耐力に関するコンクリートの劣化ある場合
 - ロ) 漏水がある場合
 - ハ) その他、施工方法について、判断出来ない箇所が発見された場合
- ② 発注時の外壁補修数量は推計値によるものである。
- ③ 石綿含有仕上塗材の高圧洗浄にあたっては、粉じん飛散防止のため、高圧水洗工法(15MPa以下)とすること。

※1 通常レベルの打撃力によってはく落する恐れのあるモルタル浮き

※2 通常レベルの打撃力によってはく落する恐れのないモルタル浮き

吉野小学校校舎30号棟長寿命化改良本体工事

外壁補修工事特記仕様書(2)

鹿児島市建設局建築部建築課

A-7

Ver.B80401

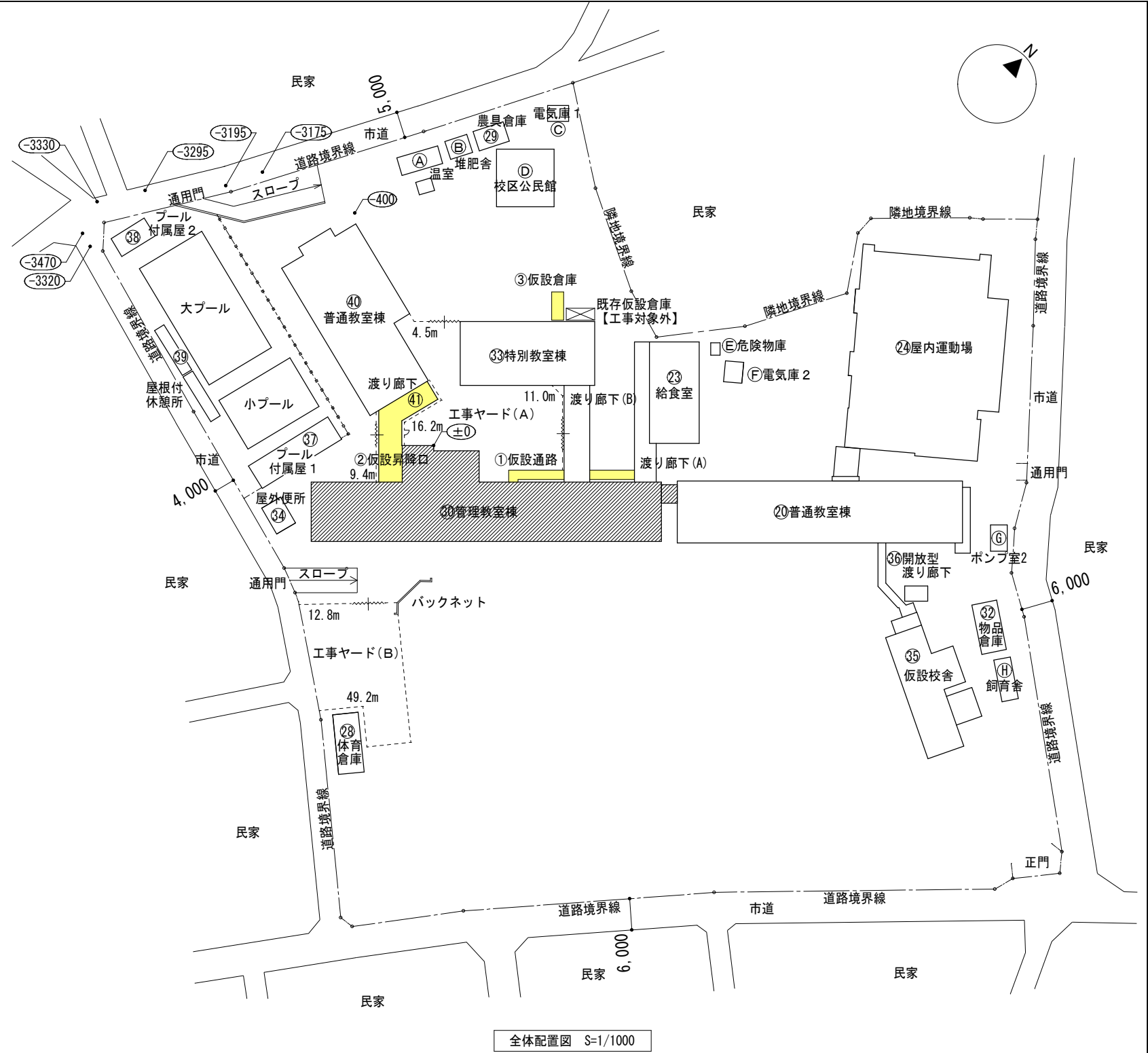
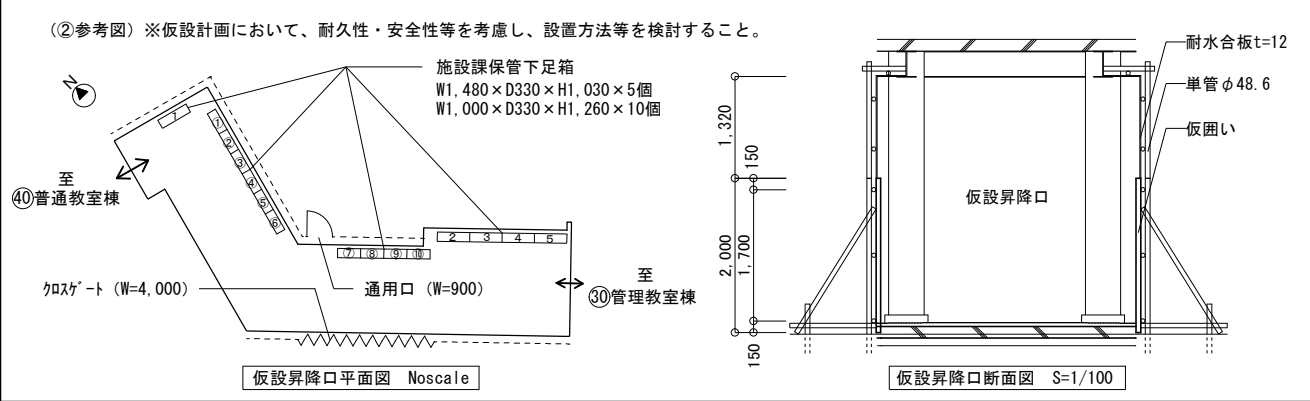
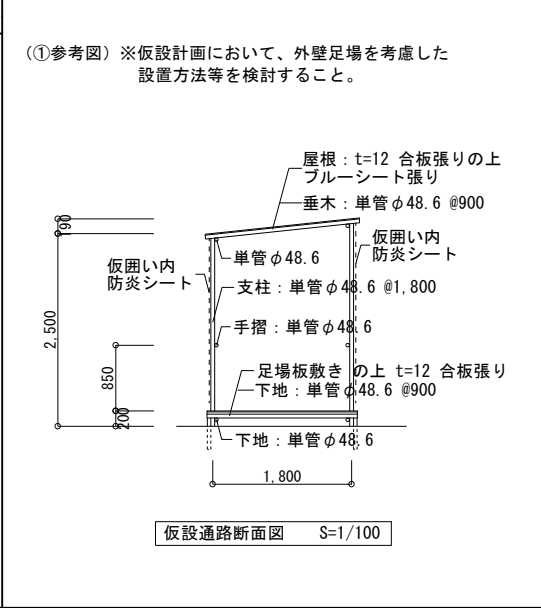
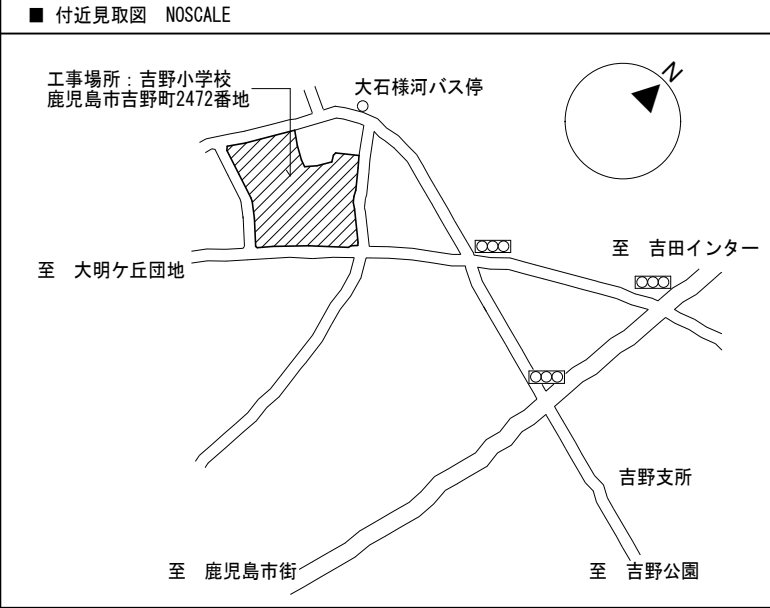
工事概要
□長寿命化改良工事（２年目）
外部： 外壁塗装（北面、東面）
内部： 床、壁、天井の改修（1階～4階）、階段室（1階～4階）
内部間仕切り壁、家具等の改修（1階～4階）
教室、廊下間の木製間仕切壁の改修（1階～4階）
□環境対策工事
開口部： 全面窓ガラスの取替え（1～4階 北面、東面）
（アタッチメント付ペアガラスの採用）

工事区分（電気設備、給排水設備、冷房設備工事は別途工事）					
	工事項目	建築工事	電気設備工事	給排水設備工事	冷房設備工事
1	仮囲い	○			
2	仮設仕切壁	○			
3	外部仮設足場	○			
4	外壁改修	○			
5	室内仕切壁	○			
6	天井改修	○			
7	天井点検口	○			
8	天井点検口 開口補強	○			
9	廊下流し台	○			
10	流し台（BLタイプ）	○			
11	各階土間ハツリ・復旧	○			
12	衛生器具面台	○			
13	アルミパネル改修	○	○		
14	衛生器具（補強裏板共）			○	
15	水栓類			○	
16	給湯器（リモコン無し）			○	
17	屋内消火栓			○	
18	発信機・表示灯・消火ポンプ起動スイッチ		○		
19	屋内消火栓埋込（既存撤去・新設設置）			○	
20	屋内消火栓埋め込み後の隙間穴埋め・補修			○	
21	屋内消火栓・分電盤類撤去後の穴埋め補修	○			
22	シャワーユニット（排水トラップ共）	○			
23	シャワーユニット用換気扇	○			
24	シャワーユニット用ダクト			○	
25	シャワーユニット用シャワー水栓	○			
26	換気設備		○		
27	既設配管撤去後の配管貫通部穴埋め		○	○	○
28	屋外配管用犬走コンクリート及びアスファルトハツリ・復旧		○	○	○

石綿含有建材の対象物及び処理方法について
◎石綿含有建材の除去作業について
1. 既存建材における石綿含有の有無 ○調査済 【調査箇所】 ①（1階放送室）床長尺シート、②（1階廊下）床長尺シート、③（1階）内壁仕上塗材、④（1階）内壁タイル ⑤（1階）天井石膏ボード、⑥（2階）床長尺シート、⑦（2階）内壁仕上塗材、⑧（3階）床長尺シート、⑨（3階）内壁仕上塗材 ⑩（4階）床長尺シート、⑪（4階）内壁仕上塗材、⑫（塔屋）床長尺シート、⑬（塔屋）天井木毛板（吹付有） ⑭（階段室）床長尺シート、⑮（階段室）内壁仕上塗材、⑯（階段室）上裏仕上塗材 ⑰（外部）外壁仕上塗材、⑱（外部）窓サッシ周りシール材 【含有箇所】 ②（1階廊下）床長尺シート、③（1階）内壁仕上塗材、④（1階）内壁タイル ⑭（階段室）床長尺シート、⑮（階段室）内壁仕上塗材 ⇒ 除去範囲：（1階）内壁仕上塗材、（各階廊下）内壁タイル ※④を踏まえみなし除去 （1階廊下）床長尺シート、（階段室）床長尺シート ※階段三方枠を境界 （階段室）内壁仕上塗材 ※階段三方枠を境界
2. 法令等の遵守 大気汚染防止法、労働安全衛生法及び石綿障害予防規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令を遵守するとともに、関係機関等と協議を行い、必要に応じて手続き等を遺漏なく適正に行うこと。 大気汚染防止法、石綿障害予防規則に定められた事項を掲示板により公衆及び作業員の見やすい箇所に掲示すること。 また、必要に応じて周辺住民等へ掲示等で周知すること。
3. 事前調査 除去作業に先立ち、事前調査を実施し、結果について工事現場に備え置くとともに、発注者へ書面により説明を行うこと。
4. 施工計画 除去作業に先立ち、施工計画書（除去作業管理組織図、除去作業方法、掲示方法、産業廃棄物処理方法等）を作成して監督員に提出 すること。 施工計画にあたり、令和3年3月厚労省及び環境省作成「建築物等の解体等作業に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」及び令和3年3月環境省作成「石綿含有廃棄物等処理マニュアル(第3版)」を参考とすること。 作業従事者及び施設利用者等の安全に配慮するとともに、施設利用者等の活動に支障が生じないよう留意すること。
5. 除去作業（けい酸カルシウム板第1種を除く石綿含有成形品） 1) 共通事項 ① 石綿作業主任者・・・処理作業にあたって石綿障害予防規則に基づき選任すること。 ② 処理作業従事者・・・石綿障害予防規則に基づく特別の教育を受けた者とする。こと。 ③ 作業箇所に近接する室内の開口部等に粉塵が入らないよう窓を閉め、養生及び立入禁止措置を講ずること。 ④ 作業箇所は、作業環境に応じてプラスチックシート等で適切に養生を行うこと。 ⑤ 除去作業後、石綿作業主任者が目視により取り残しがないことを確認すること。 ⑥ 除去した石綿含有成形品及び養生材、作業衣等は、排出形態に応じて適切に保管・運搬・処分を行うこと。 2) 除去作業（石綿含有仕上塗材等） ① 除去工法は、以下の処理工法とすること。それ以外の工法とする場合は監督員と協議すること。 ・剥離剤併用手工具ケレン工法 ・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 ② 使用する剥離剤については環境配慮型とし、使用前に事前試験を行い、適正条件を確認してから本施工すること。 3) 除去作業（ケイ酸カルシウム板第1種を除く石綿含有成形品） ① 切断、破砕等することなくそのまま取り外すこと。 ② 切断等以外の方法により作業実施が技術上困難なときは、薬液等により湿潤化すること。 ③ 除去完了後、作業場内をHEPAフィルター付真空掃除機で清掃すること。
6. その他 石綿含有仕上塗材等の除去作業中は、石綿粉塵濃度を測定すること。

■ 建築概要			
工事名称	吉野小学校校舎 3 0 号棟長寿命化改良本体工事	高 さ	3 0 号棟：最高高さ18.35m、軒高17.75m
地名地番	鹿児島県鹿児島市吉野町2468-2	規 模	3 0 号棟：鉄筋コンクリート造、4階建
住居表示	鹿児島県鹿児島市吉野町2472番地	容積率	49.10 %
都市計画区域の内外	都市計画区域内	建ぺい率	20.82 %
防火地域	指定無し	建築面積	3,962.68 ㎡
その他の区域、地域	22条区域	延床面積	9,387.74 ㎡
敷地面積	19,039.00 ㎡	主要用途	小学校
用途地域	第1種低層住居専用地域	耐火建築物等	耐火建築物
	容積率80% 建蔽率60%(角地緩和50% + 10%)	許可 ・ 認定等	建築許可(法第55条)
道路幅員	6.0m 道路（法42条1項1号）	建築物の数	20棟
道路と接する長さ	501.89m	備考	コンクリートブロック塀無し

■ 既存建築物面積表（建築基準法算定）						
No	棟名	延べ面積(㎡)	建築面積(㎡)	No	棟名	延べ面積(㎡)
20	普通教室棟	1,930.00	482.50	40	普通教室棟	1,535.63
23	給食室	120.00	120.00	41	渡り廊下	87.12
24	屋内運動場	868.05	928.03	A	温室	28.00
28	体育倉庫	35.00	35.00	B	堆肥舎	9.72
29	農具倉庫	15.00	15.00	C	電気庫1	12.00
30	管理教室棟	2,784.78	753.63	D	校区公民館	162.00
32	物品倉庫	72.00	72.00	E	危険物庫	1.35
33	特別教室棟	678.00	226.00	F	電気庫2	11.55
34	屋外便所	15.00	15.00	G	ポンプ室2	8.75
35	仮設校舎	712.76	402.22	H	飼育舎	40.00
36	開放型渡り廊下	—	34.28			
37	プール付属屋1	89.00	89.00			
38	プール付属屋2	30.00	30.00			
39	屋根付き休憩所	42.63	42.63			
合 計					9,288.34	3,937.83



特記事項

※仮囲い等の詳細な位置は、監督員と十分協議のこと。

※必要に応じて、メッシュ囲いを設置すること。

※重機の運搬、コンクリート打設、廃材運搬時には、交通誘導員を配置すること。又、大型車両通行時や資材等搬入車両の出入りが重なる工程・施工工程の時も同様に交通誘導員を配置すること（誘導員の配置については施工計画書に記載し、監督員と協議を行うこと）。

※本校舎の工事範囲外の室は学校が使用するため、研り作業等は授業中を避けて施工すること。

※工事の際は、学校関係車両(給食車両含む)の通行の支障にならないよう十分配慮すること。

※給食室前の渡り廊下は、生徒が給食運搬に利用するため、工事車両の通行が必要な場合は、給食時間帯を避けた計画とすること。

※特別教室棟前外部廊下の施工の際は、学校運営上支障の無いよう調整を図ること。

※工事に際しては、設備工事と十分に調整を行うこと。

※①仮設通路（左図参考）

※②仮設昇降口（左図参考）

※③仮設倉庫（5.4m×2.3m）

凡例

■：長寿命化対象棟を示す

---- 仮設：仮囲い（鋼製 H=2.0m）

工事ヤード（A）→9.4+16.2+11.0+4.5=41.1m

工事ヤード（B）→12.8+49.2=62.0m

--- 仮設：クロスゲート W=6.0m×3箇所、W=4.0m×1箇所

○ 仮設：通用口 W=0.9m

安全対策

安全を確保するため、バリケード、コーン等を必要に応じて設置すること。

設置の際は監督員と協議の上決定すること。

工事現場及びその周囲は危険防止に十分注意して工事を行い、現場周辺の公共物の維持管理や利用者への危険防止に万全を期すること。

事故等の生じた場合、請負者が復旧又は補償すること。

高所での作業については、十分な安全対策を講ずること。

復旧・養生

工事中は校内、敷地内、道路及び工作物等を損傷しない様十分養生し、もし損傷した場合、施工者の責任において速やかに現況に復旧すること。

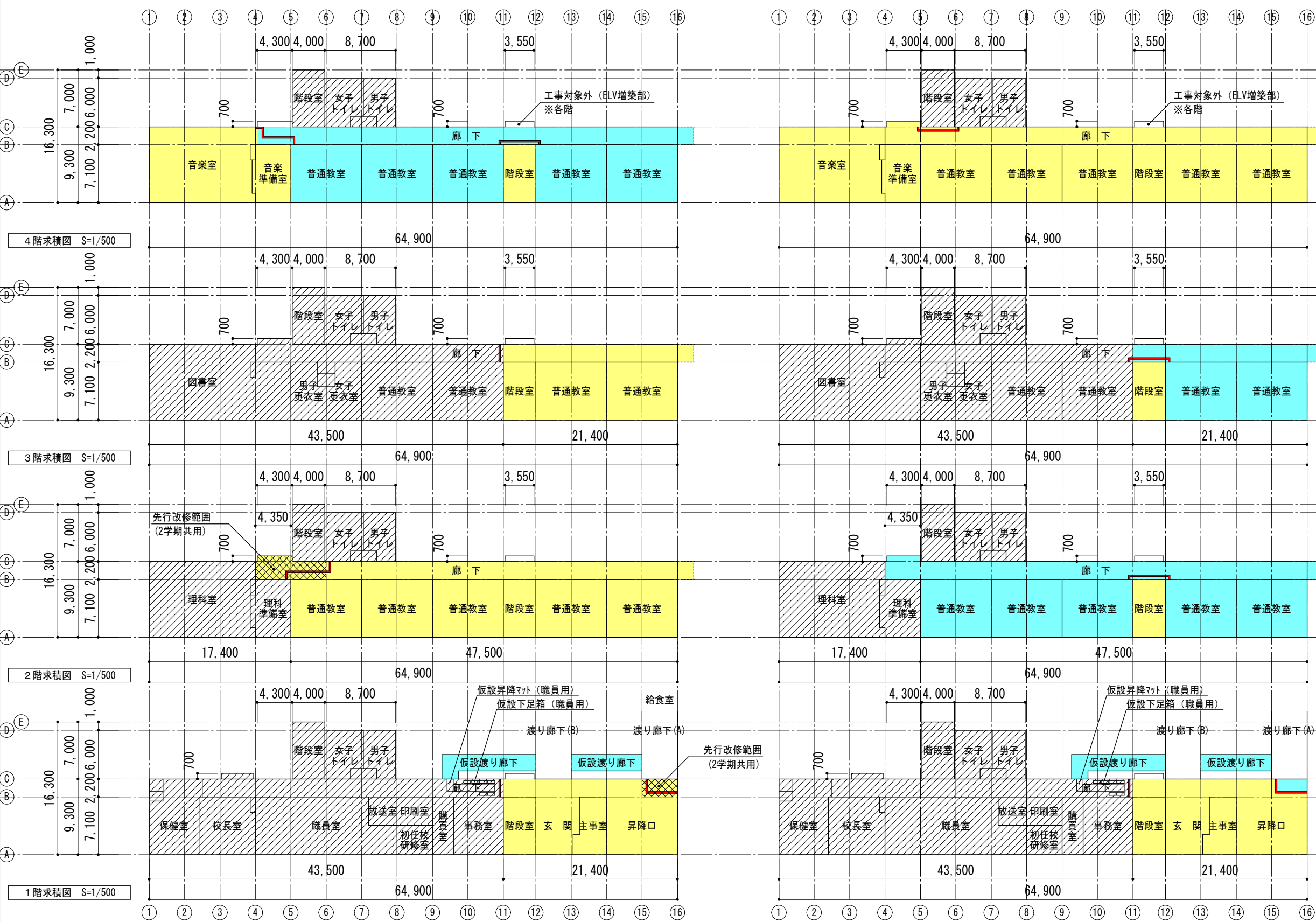
その他

本工事は、建物を使用しながらの工事となるため、学校側と十分な打合せのうえ施工すること。

ゲンプラン設計 (株)		吉野小学校校舎 3 0 号棟長寿命化改良本体工事	
一級建築士 第 326631 号 東野 幸史良	全体配置図兼仮設計画図	A3 : 1/1000	A-09
		鹿児島市建設局建築部建築課	

前期 (R8. 8月～12月)

後期 (R9. 1月～5月)



	床面積(文部科学省)	
階	Ⅱ期工事	
	内部改修床面積	㎡
4	64.90 × 9.30	603.570
	4.30 × 0.70	3.010
	4階改修床面積	606.580
	内部改修床面積	㎡
3	21.40 × 9.30	199.020
	3階改修床面積	199.020
	内部改修床面積	㎡
2	47.50 × 9.30	441.750
	4.30 × 0.70	3.010
	4.35 × 2.20	9.570
	2階改修床面積	454.330
	内部改修床面積	㎡
1	21.40 × 9.30	199.020
	1階改修床面積	199.020
	改修床面積合計	1458.950
	床面積(文部科学省)	1459

- 凡 例
- 改修工事範囲
 - 先行改修範囲 (夏休み等)
 - 学校使用範囲
 - 改修工事済範囲
 - 仮設間仕切壁 (LGS下地 (W=65) の上 GB-R (t=12.5) +FK (t=6.0) 両面貼 7mm製片開きフラッシュ戸 750×1,800
- ※ 2,3階の普通教室及び廊下については、12月中に完成させて検査を受けること。

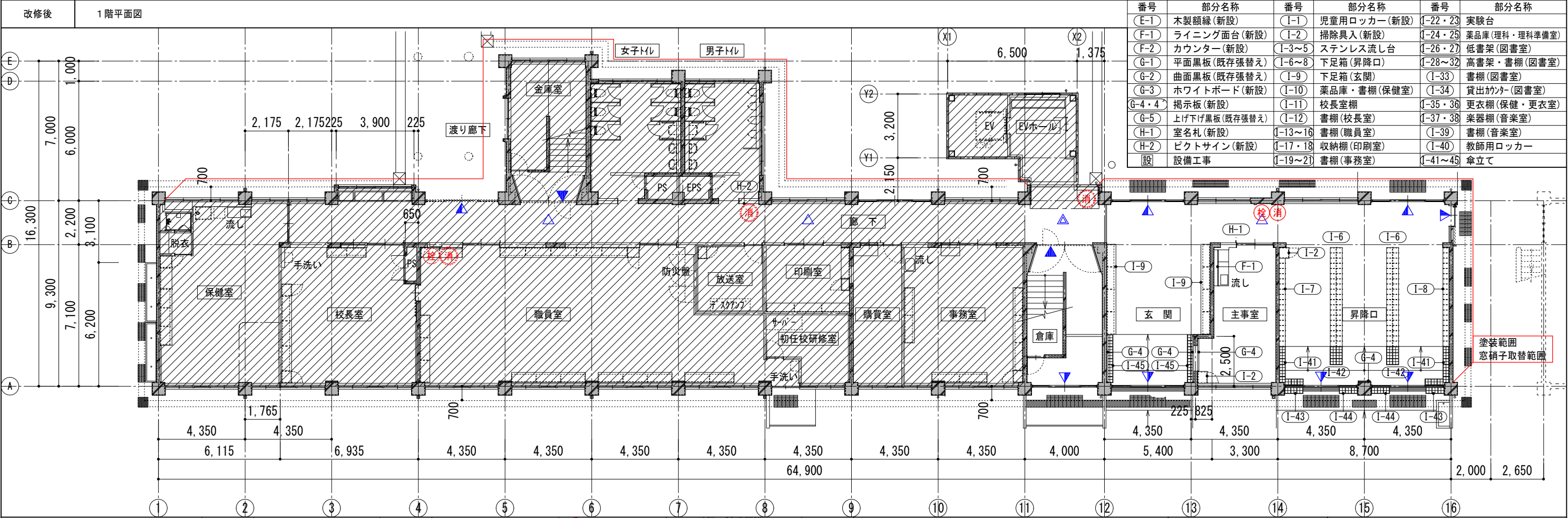
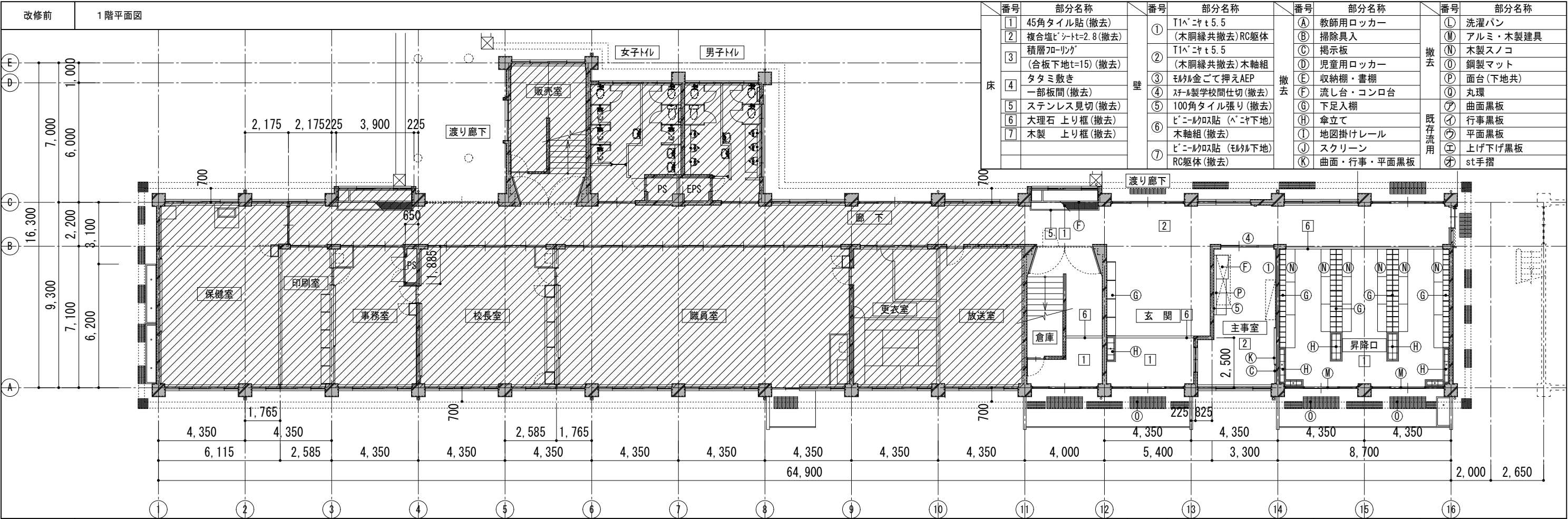
階	改修の 前後	室名	床高 (FL±)	床		巾木		壁				天井				備考					
				下地	仕上	下地・仕上	H	展開	下地	仕上		下地	仕上		廻り縁		CH				
1 階	改修前	昇降口	-100 ±0	M	45角タイル貼	〔撤去〕	45角タイル貼 〔撤去〕	—	A	—	—	—	LGS	GB-D t=9.0	〔撤去〕	塩ビ 〔撤去〕	2,600 2,700	〔撤去〕：傘立て、木製スノコ、下足入棚、上り框			
									B	RC	モルタル金鍍押え + AEP塗装 カラータイル貼(チップタイル)		※						RC	梁型：モルタル金鍍押え + AEP塗装	—
									C	RC	モルタル金鍍押え + AEP塗装 カラータイル貼(チップタイル)		※								
									D	RC	モルタル金鍍押え + AEP塗装 カラータイル貼(チップタイル)		※								
	改修後	昇降口	-100 ±0	CK	一部土間コンクリート増し打ち 下地調整の上アンダーレイシート t=5.0 防滑性ビニル床シート t=2.0(屋外用)	ビニル巾木	90	A	—	—	—	LGS	GB-D t=9.5 梁型：下地調整の上EP-G	塩ビ	2,600 2,700	傘立て、下足箱、掃除具入					
								B	RC RC LGS	下地調整の上 E-PG塗装 カラータイル貼(チップタイル) 既存のまま 撤去部補修 GB-R t=12.5 + EP-G塗装		RC					梁型：モルタル金鍍押え + AEP塗装	—			
								C	RC	下地調整の上 E-PG塗装											
								D	RC	下地調整の上 E-PG塗装 カラータイル貼(チップタイル) 既存のまま 撤去部補修											
	改修前	主事室	±0	CK	長尺塩ビシート t=2.8	〔撤去〕	モルタル金鍍押え + AEP塗装	90	A	RC	木胴縁下地 + ベニヤ目透かし張り t=5.5 + OP塗装		〔撤去〕	LGS	GB-D t=9.0	〔撤去〕	塩ビ 〔撤去〕	2,650	〔撤去〕：平面黒板、掲示板、コンロ台、面台、室名札		
									B	RC	モルタル金鍍押え + AEP塗装		—							RC	梁型：モルタル金鍍押え + AEP塗装
			±0	M	45角タイル貼	〔撤去〕	100角タイル貼 〔撤去〕	—	C	RC	モルタル金鍍押え + AEP塗装		—	RC	梁型：モルタル金鍍押え + AEP塗装	—					
									D	RC	モルタル金鍍押え + AEP塗装 100角タイル貼		— 〔撤去〕								
	改修後	主事室	±0	CK	下地調整の上アンダーレイシート t=5.0 防滑性ビニル床シート t=2.0(屋外用)	ビニル巾木	90	A	RC LGS LGS	下地調整の上 E-PG塗装 耐水合板 t=12.0 + FK t=6.0 + EP-G塗装 (LGS100 + 65) + GB-F t=12.5 + FK t=6.0 + EP-G塗装		—	LGS	GB-D t=9.5 梁型：下地調整の上EP-G	塩ビ	2,650	流し台、掃除具入、室名札				
								B	RC	下地調整の上 E-PG塗装											
								C	RC	下地調整の上 E-PG塗装											
								D	RC	下地調整の上 E-PG塗装											
	改修前	玄関	-100	M	45角タイル貼	〔撤去〕	100角タイル貼 〔撤去〕	—	A	—	—	—	LGS	GB-D t=9.0	〔撤去〕	塩ビ 〔撤去〕	2,600 2,700	〔撤去〕：傘立て、下足入棚、上り框			
									B	RC	モルタル金鍍押え + AEP塗装								—	RC	梁型：モルタル金鍍押え + AEP塗装
			±0	CK	長尺塩ビシート t=2.8	〔撤去〕	モルタル金鍍押え + AEP塗装	90	C	RC	モルタル金鍍押え + AEP塗装		—	RC	梁型：モルタル金鍍押え + AEP塗装	—					
									D	RC	モルタル金鍍押え + AEP塗装		—								
	改修後	玄関	-100 ±0	CK	一部土間コンクリート増し打ち 下地調整の上アンダーレイシート t=5.0 防滑性ビニル床シート t=2.0(屋外用)	ビニル巾木	90	A	—	—	—	LGS	GB-D t=9.5 梁型：下地調整の上EP-G	塩ビ	2,600 2,700	傘立て、下足箱、SUS床見切					
								B	RC	下地調整の上 E-PG塗装											
								C	RC	下地調整の上 E-PG塗装											
								D	RC	下地調整の上 E-PG塗装											
	改修前	階段下倉庫	-60	CK	モルタル鍍押え	—	モルタル金鍍押え + AEP塗装	90	共通	RC	モルタル金鍍押え + AEP塗装		—	RC	モルタル刷毛引き		—	—			
	改修後	階段下倉庫	-60	CK	既存のまま (清掃程度)		既存のまま (清掃程度)	—	共通	RC	既存のまま (清掃程度)		RC	既存のまま (清掃程度)		—	—				
	改修前	玄関 (階段下倉庫側)	-100	M	45角タイル貼	〔撤去〕	100角タイル貼 〔撤去〕	—	共通	RC	モルタル金鍍押え + AEP塗装		—	LGS 〔撤去〕	GB-D t=9.0	〔撤去〕	塩ビ 〔撤去〕	2,600 2,700	〔撤去〕：上り框		
																				±0	CK
	改修後	玄関 (階段下倉庫側)	-100	M	下地調整の上アンダーレイシート t=5.0 防滑性ビニル床シート t=2.0		ビニル巾木	90	共通	RC	下地調整の上 E-PG塗装		LGS	GB-D t=9.5 梁型：下地調整の上EP-G		塩ビ	2,600 2,700	SUS上り框			
±0					CK	下地調整の上アンダーレイシート t=5.0 防滑性ビニル床シート t=2.0		ビニル巾木			90										

※：一部撤去

仕上共通事項		M	モルタル	GB-R12.5	石膏ボード t=12.5	GB-F12.5	強化石膏ボード t=12.5	AEP	合成樹脂エマルジョンペイント塗	ゲンプラン設計(株) 一級建築士 第 326631 号 東野 幸史良	吉野小学校校舎 30号棟長寿命化改良本体工事		
RC	コンクリート打放し	W	木製軸組	GB-R9.5	石膏ボード t=9.5	GB-D9.5	化粧石膏ボード t=9.5	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗		仕上表 (1)	NOSCALE	A-11
CK	コンクリート金鍍押え	WF	木造床組	GB-S12.5	不燃防水ボード t=12.5	FK6.0	ケイ酸カルシウム板 t=6	CL	クリヤラッカー塗				
LGS	軽量鉄骨	CB	コンクリートブロック	GB-S9.5	不燃防水ボード t=9.5			OP	油性調合ペイント塗				

階	改修の 前後	室名	床高 (FL±)	床			巾木		壁				天井				備考		
				下地	仕上		下地・仕上	H	展開	下地	仕上		下地	仕上		廻り縁		CH	
共通	改修前 ↓	廊下	±0	CK	長尺塩ビシート t=2.8(1階)	[撤去]	モルタル金鍍押え + AEP塗装	90	A	RC	モルタル金鍍押え + AEP塗装	—	LGS	GB-D t=9.0	[撤去]	塩ビ	2,600		
					長尺塩ビシート t=2.8 + 有機質系床材 t=2.0(2～4階)	[撤去]					モルタル金鍍押え + AEP塗装	—		[撤去]					
			±0	M	45角タイル貼	[撤去]	100角タイル貼 [撤去]	—	C	RC	モルタル金鍍押え + AEP塗装	—	RC	梁型：モルタル金鍍押え + AEP塗装	—				
											モルタル金鍍押え + AEP塗装	—							
	改修後	廊下	±0	CK	既存下地調整の上7角タイルシート t=5.0 + 防滑性ビニル床シート t=2.0(1階) ※玄関前までは屋外用 既存下地調整の上 防滑性ビニル床シート t=2.0(2～4階)		既存下地調整の上 EP-G塗装	90	A	RC	下地調整の上 E-PG塗装	LGS	GB-D t=9.5 梁型：下地調整の上EP-G		塩ビ	2,600	ステンレス流し台、面台、消火栓(設備工事)		
											B							RC	下地調整の上 E-PG塗装
											C							LGS	GB-F t=12.5 + FK t=6.0 + EP-G塗装
											D							RC	下地調整の上 E-PG塗装
	改修前 ↓	階段室	—	CK	踏面・蹴込：長尺塩ビシート t=2.8 + 有機質系床材 t=2.0	—	モルタル金鍍押え + AEP塗装	90	共通	RC	モルタル金鍍押え + AEP塗装	—	RC	モルタル刷毛引き + アクリリシ吹付	—	—	—	[撤去]：掲示板、手摺	
											LGS	GB-D t=9.0(4階)		[撤去]	塩ビ [撤去]	—			
	改修後	階段室	—	CK	既存下地調整の上 防滑性ビニル床シート t=2.0		既存下地調整の上 EP-G塗装	90	共通	RC	下地調整の上 E-PG塗装	RC	内装薄塗材E	—	—	掲示板、手摺			
											LGS		GB-D t=9.5	塩ビ	—				

特記事項			防火認定番号	
・改修項目は特記なきは新設を示す ・〔撤去〕は集積・撤去～処分までとする ・高圧水洗い：公共建築改修工事標準仕様書4章5節による ・解体部分はカッターを入れ施工のこと（切断された鉄筋は錆止め塗装のこと） ・壁際の改修家具・額縁や掲示板の撤去部分および木製間仕切り・建具の撤去周囲はモルタル補修、下地調整のうえ、仕上を行うこと ・外部漏水の恐れのある隙間の雨掛かり・異種材取り合いには全て「シーリング」を施す ・塗装塗替え部は下地調整の上 塗装施工のこと ・床のビニル床シート張り継目は熱溶接工法とする ・床仕上げの異なる箇所にはSUS床見切りを入れる ・特記なきステンレスは全てSUS304とし仕上げは#400程度とする ・合板は特記無きは水廻りはT1合板 その他にはT2合板を用いる	・木製巾木：メルサワ程度とする ・乾式二重床組は、フクビKタイプ同等品以上とする ・同上 隙根太及び束（@455以内）材は防腐防蟻処理材とする ・木胴縁下地は防腐防蟻処理材とする ・天井撤去後、目視にて天井スラブを確認し爆裂を発見した場合、取り除き錆止め等処置を行う ・4階天井裏には、グラスウール（24kg/m3）を充填すること。	・ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の取り扱いについて Ⅰ. クロルピリホスを添加した建材の使用は禁止とする Ⅱ. ホルムアルデヒド発散建築材料について ①. 内装仕上材については規制対象外建材（F☆☆☆☆等）とし、天井裏等についても規制対象外建材（F☆☆☆☆等）とする ②. 木製建具類（木製間仕切を含む）家具類（家具、黒板、掲示板、流し台等）の内部仕上は、規制対象外建材（F☆☆☆☆等）とし、下地等についても規制対象外建材（F☆☆☆☆等）とする Ⅲ. その他の揮発性有機化合物について ①. トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン等その他の揮発性有機化合物については、不使用のものまたは厚生労働省が定める化学物質の指針値（最新版）以下の建材を使用する。	・1時間耐火間仕切り壁 LGS（W=100）＋ 強化石膏ボード t 12.5 ＋ ケイカル板 t 6.0 ケイカル板：NM2773 ・強化石膏ボード t 12.5（不燃）：NM8615 ・耐水石膏ボード t12.5 （不燃）：QM0898 ・ケイカル板 t 6.0 （不燃）：NM3522 ・メラミン不燃化粧板 t 3.0（不燃）：NM2183 ・化粧石膏ボード t9.5（準不燃）：QM9824 ・岩綿吸音板 t 9.0 （不燃）：NM8599 ・石膏ボード t12.5 （不燃）：NM8619 ※全て同等品以上とすること	
			ゲンプラン設計（株） 一級建築士 第 326631 号 東野 幸史良	
			吉野小学校校舎30号棟長寿命化改良本体工事	
			仕上表（3）	NOSCALE
鹿児島市建設局建築部建築課				
A-13				



凡例

展開方向

：工事範囲外を示す

鉄筋コンクリートを示す

GW充填を示す

屋内消火栓 (設備工事)

消火器BOX埋込型

消火器BOX壁付型

避難口誘導標識 120×360

避難口誘導標識 20×360

避難通路誘導標識 100×300

避難通路誘導標識 天井付 100×300

防火上主要な間仕切壁 (LGS仕様) を示す

キープ No. scale

ゲンプラン設計 (株)

一級建築士 第 326631 号

東野 幸史良

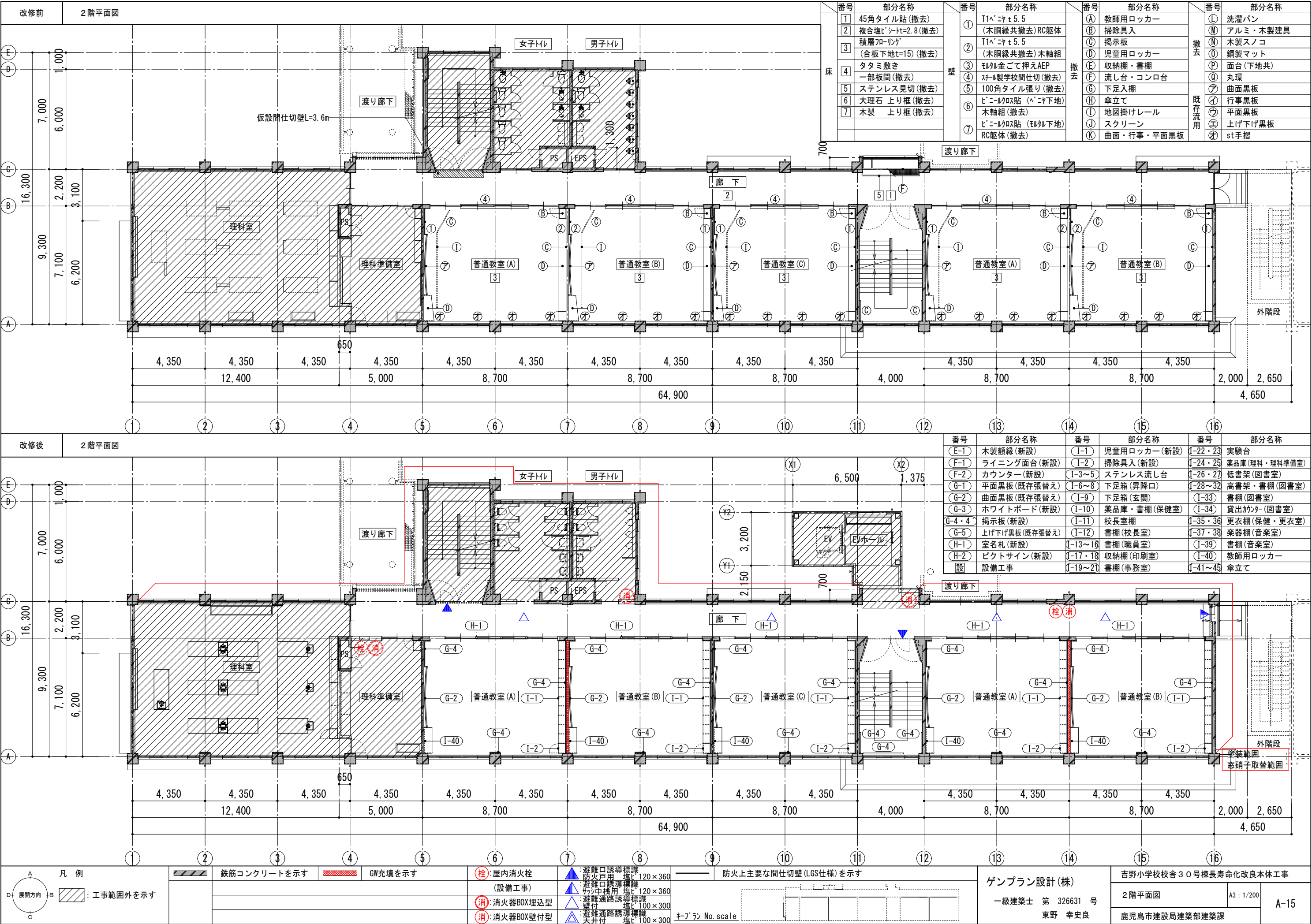
吉野小学校校舎 30号棟長寿命化改良本体工事

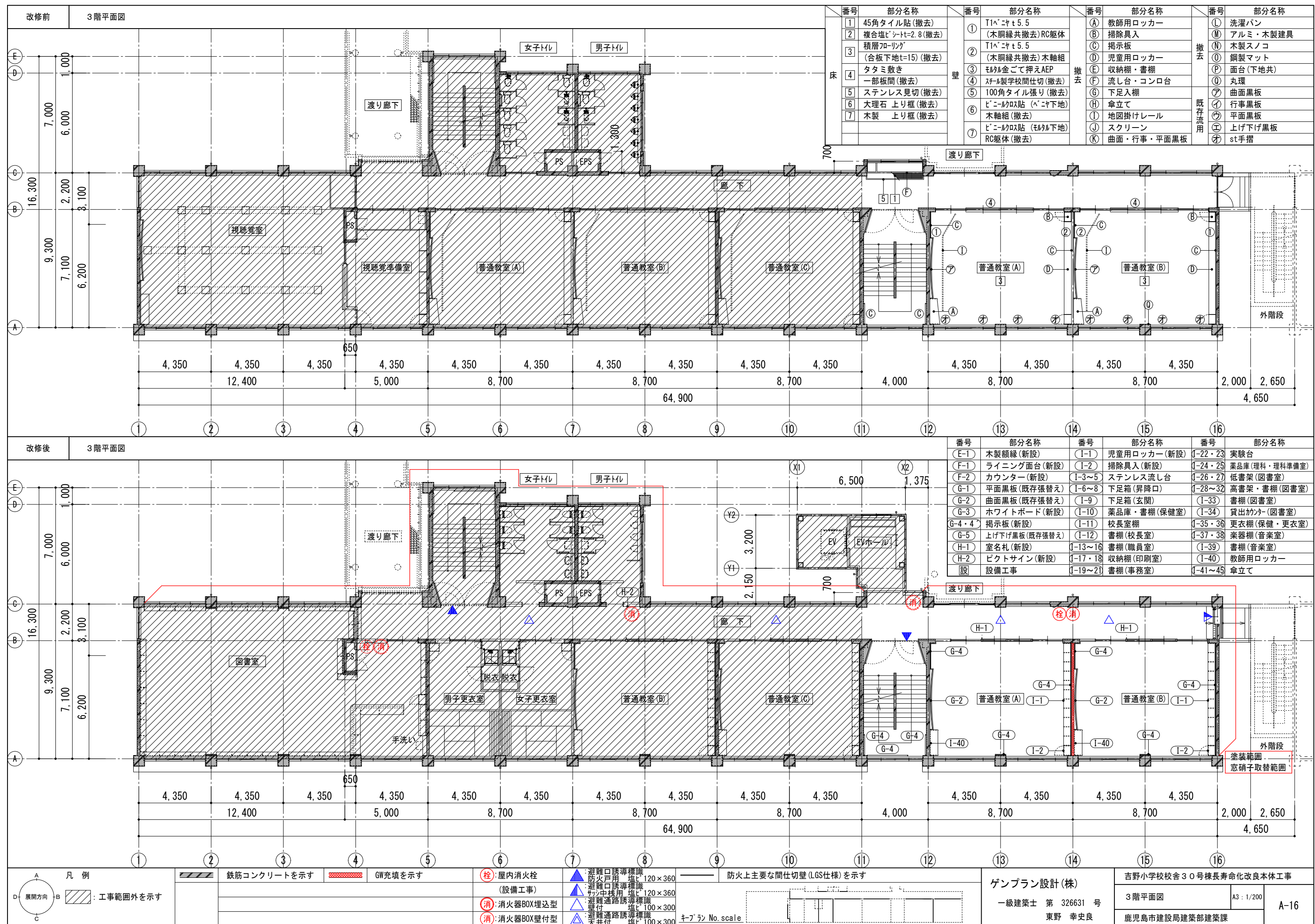
1階平面図

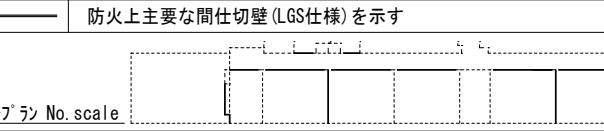
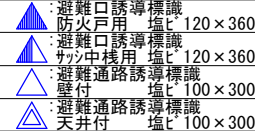
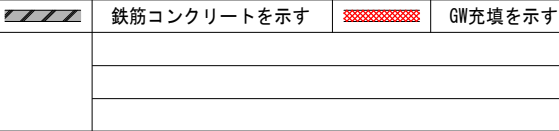
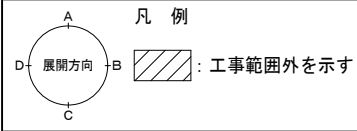
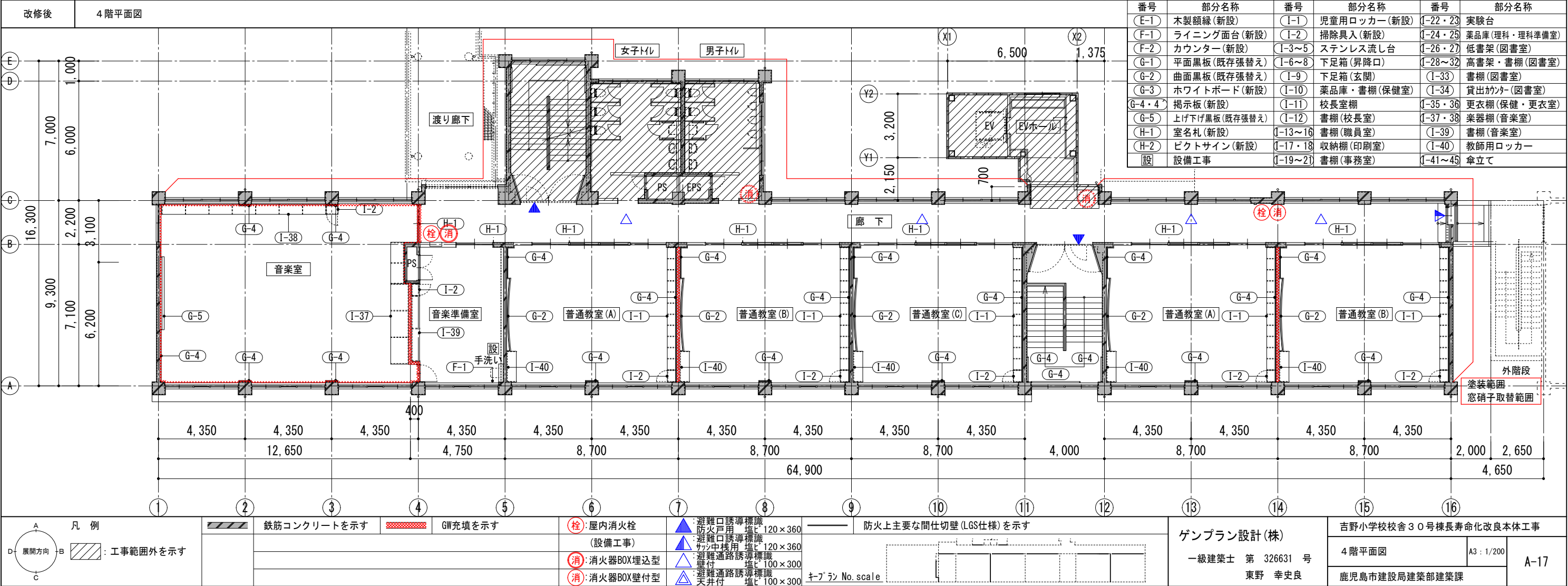
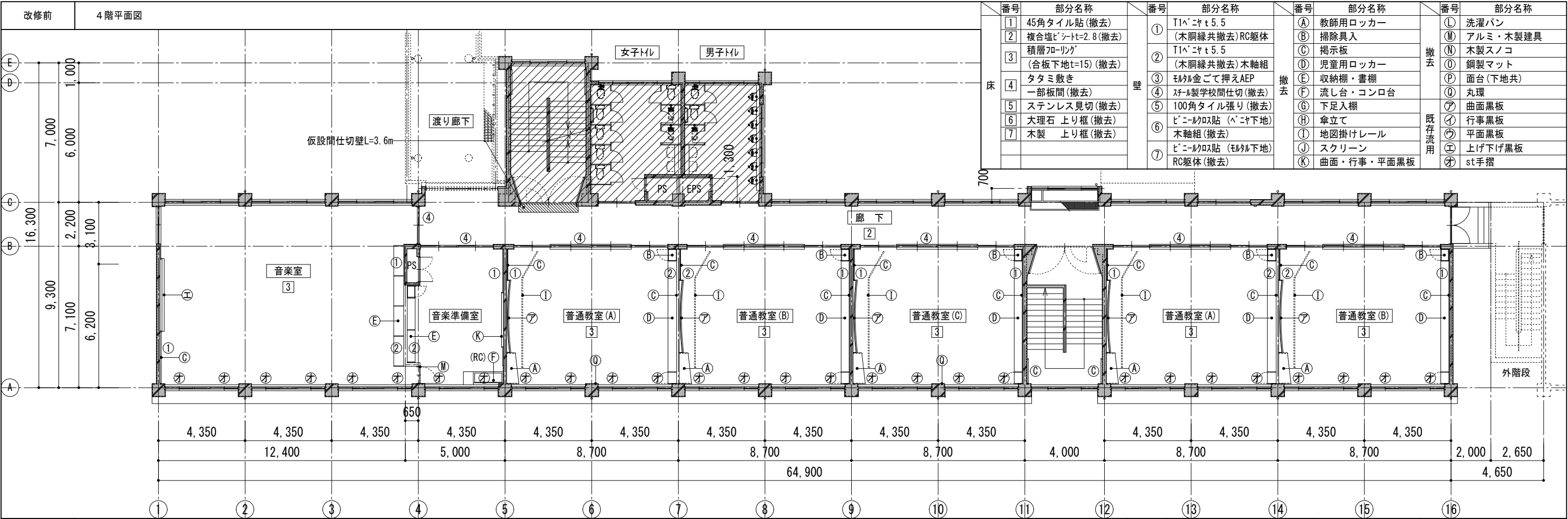
鹿児島市建設局建築部建築課

A3: 1/200

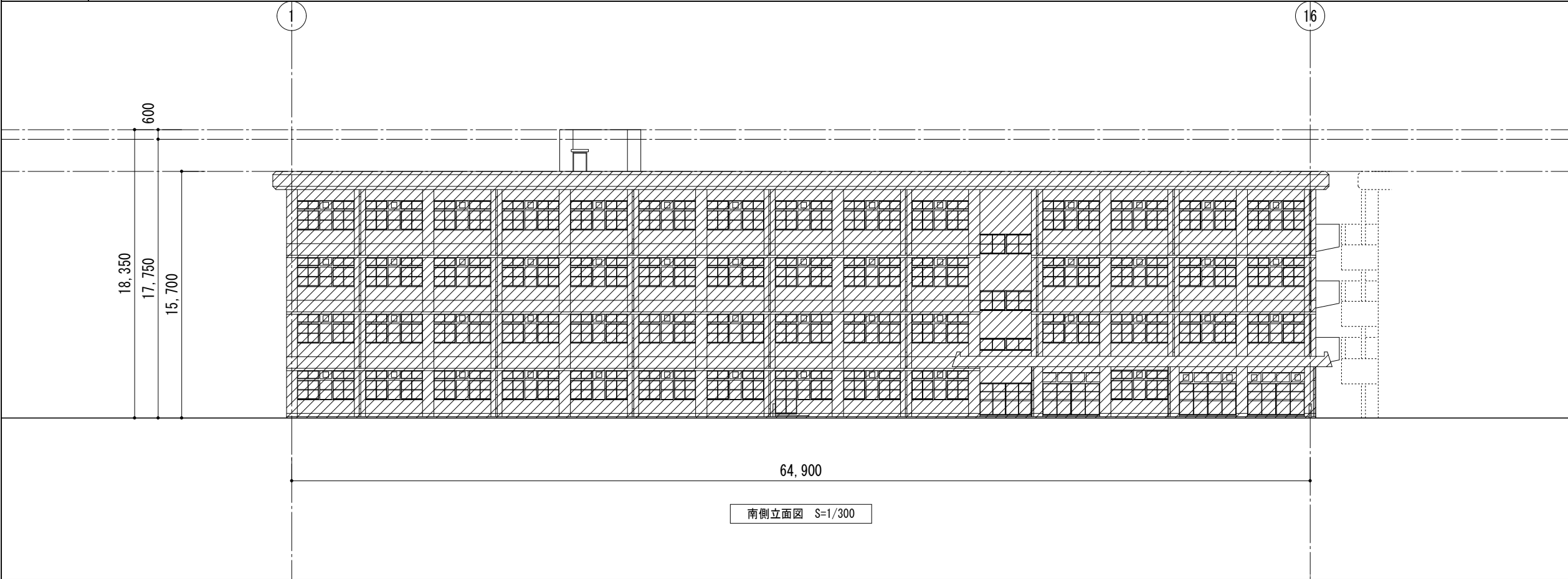
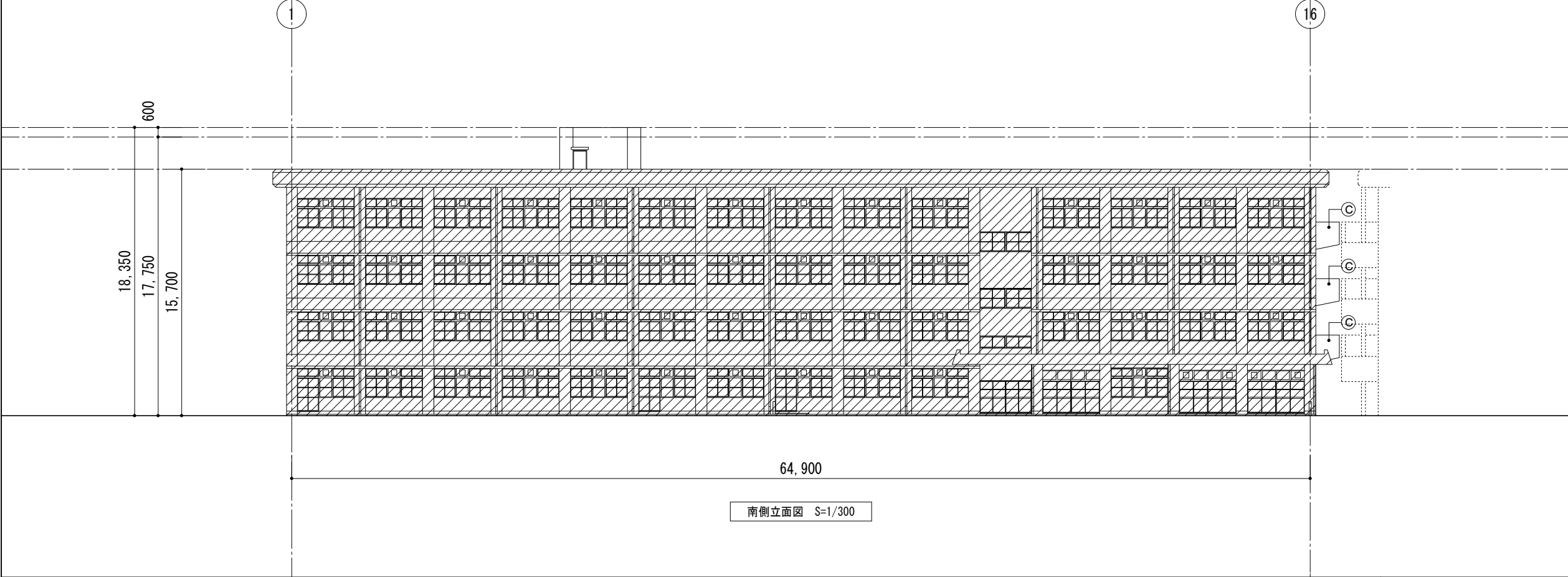



A-14

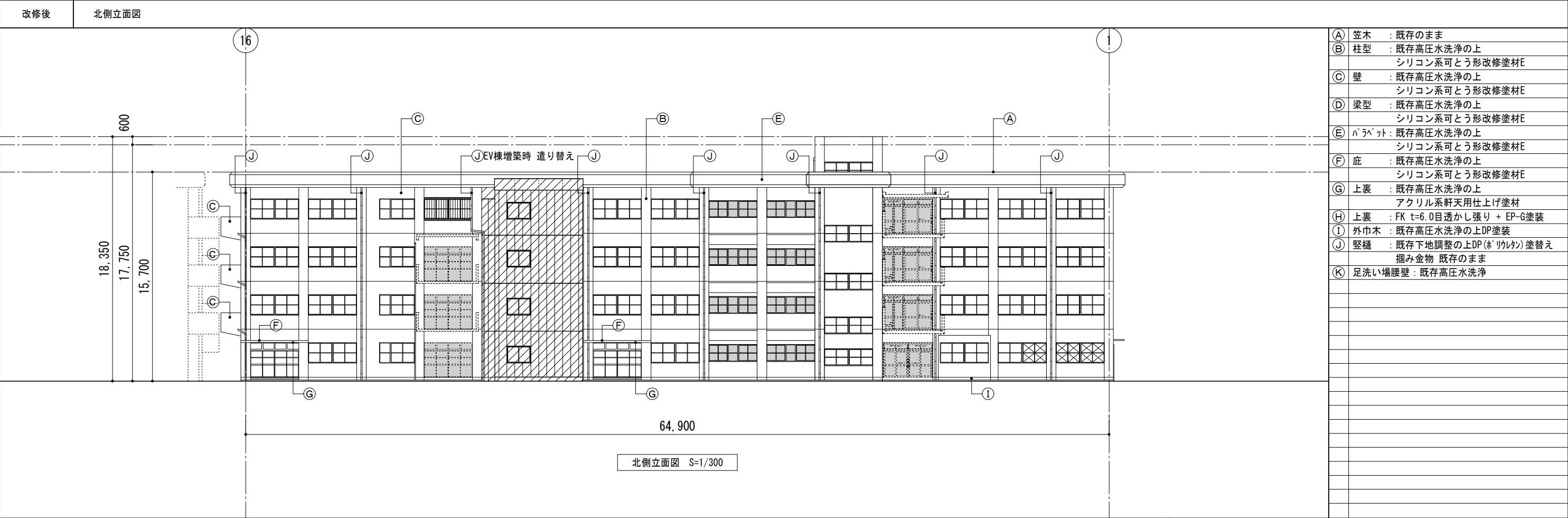
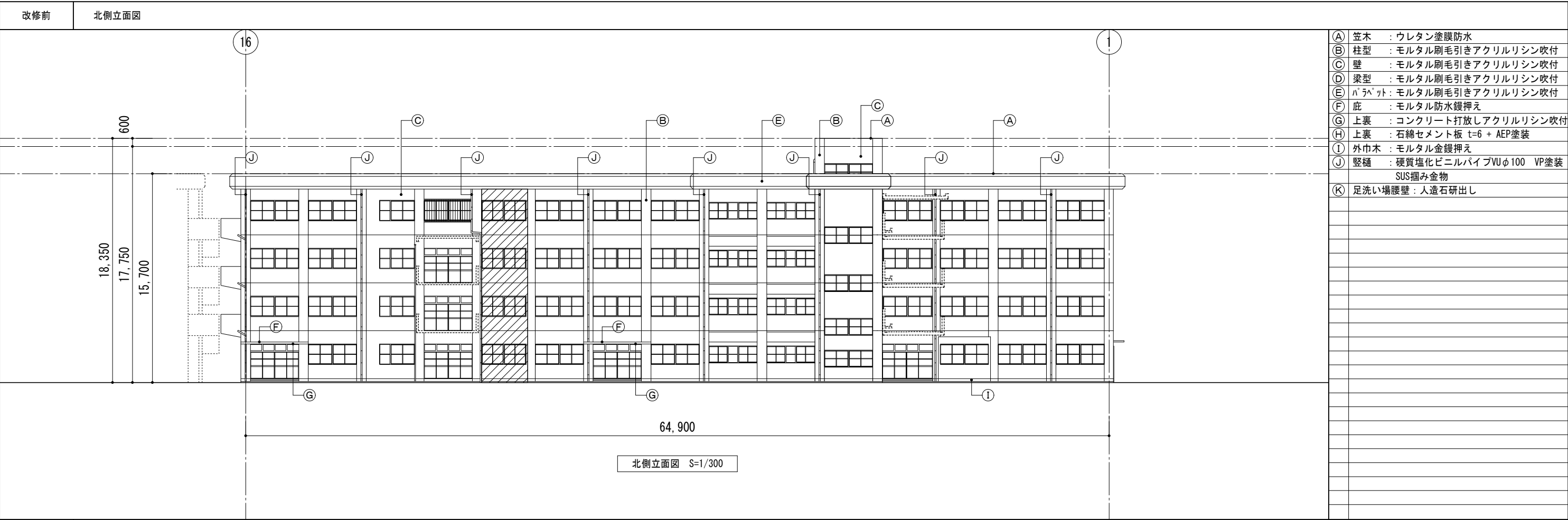






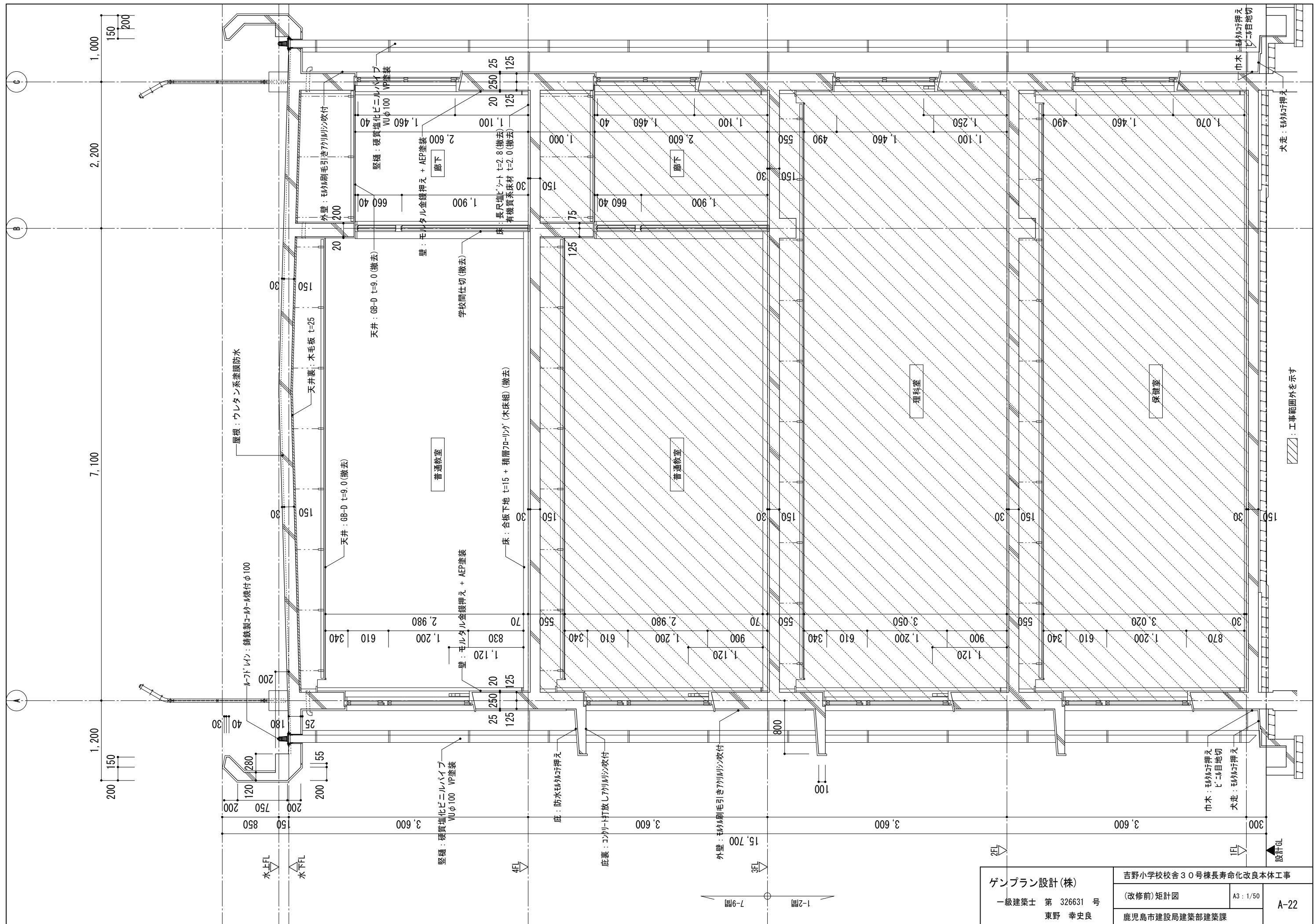


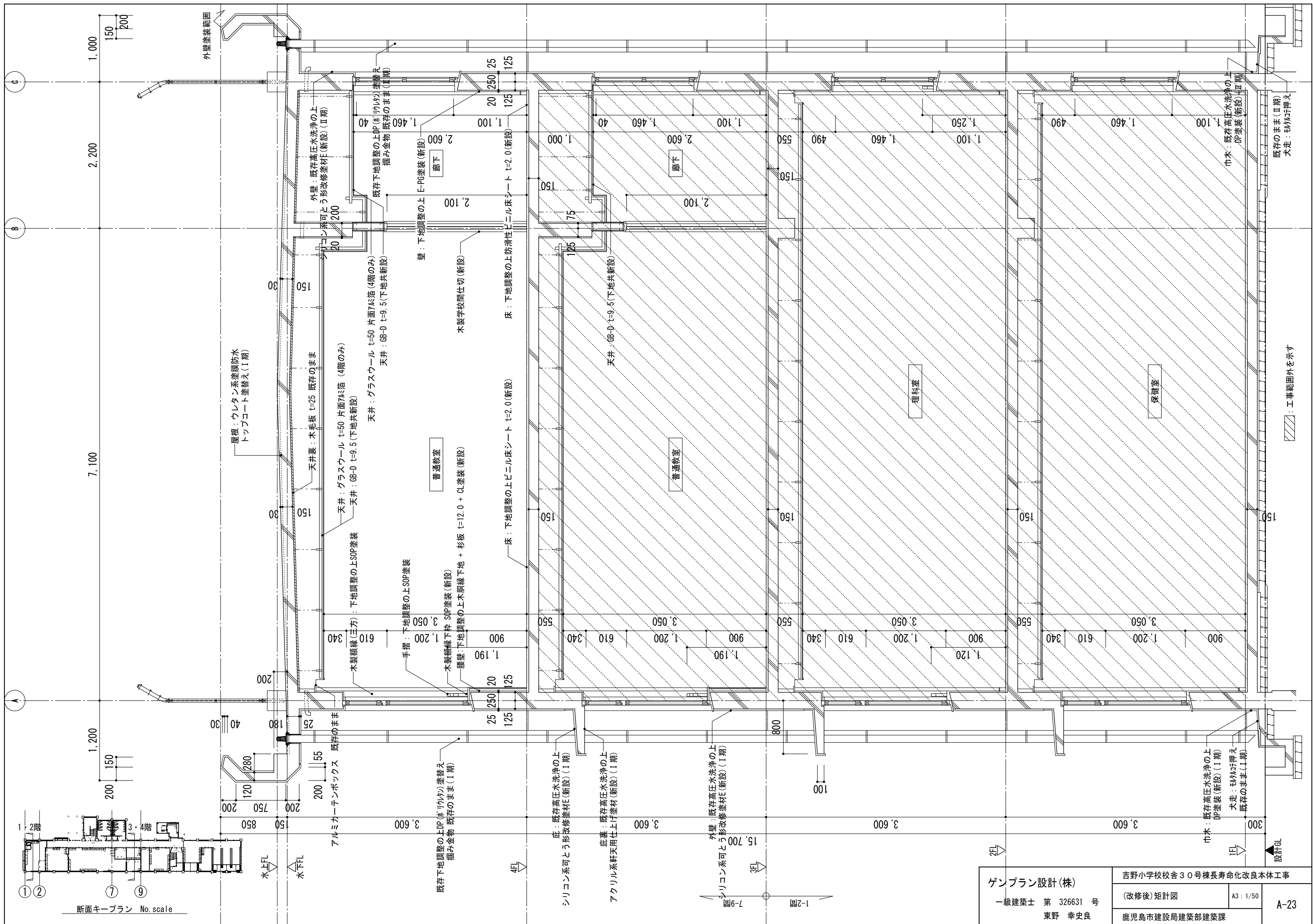
改修前	南側立面図				<div>(A) 笠木 : ウレタン塗膜防水</div> <div>(B) 柱型 : モルタル刷毛引きアクリルリシン吹付</div> <div>(C) 壁 : モルタル刷毛引きアクリルリシン吹付</div> <div>(D) 梁型 : モルタル刷毛引きアクリルリシン吹付</div> <div>(E) パ'ラ'ット : モルタル刷毛引きアクリルリシン吹付</div> <div>(F) 庇 : モルタル防水鍍押え</div> <div>(G) 上裏 : コンクリート打放しアクリルリシン吹付</div> <div>(H) 上裏 : 石綿セメント板 t=6 + AEP塗装</div> <div>(I) 外巾木 : モルタル金鍍押え</div> <div>(J) 竖樋 : 硬質塩化ビニルパイプVUφ100 VP塗装 SUS掴み金物</div> <div>(K) 足洗い場腰壁 : 人造石研出し</div>	
改修後	南側立面図				<div>(A) 笠木 : 既存のまま</div> <div>(B) 柱型 : 既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E</div> <div>(C) 壁 : 既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E</div> <div>(D) 梁型 : 既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E</div> <div>(E) パ'ラ'ット : 既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E</div> <div>(F) 庇 : 既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E</div> <div>(G) 上裏 : 既存高圧水洗浄の上 アクリル系軒天用仕上げ塗材</div> <div>(H) 上裏 : FK t=6.0目透かし張り + EP-G塗装</div> <div>(I) 外巾木 : 既存高圧水洗浄の上DP塗装</div> <div>(J) 竖樋 : 既存下地調整の上DP(ホ'リウレ'ン)塗替え 掴み金物 既存のまま</div> <div>(K) 足洗い場腰壁 : 既存高圧水洗浄</div>	
凡 例		アタッチメントペアガラスへ取替		ゲンプラン設計(株) 一級建築士 第 326631 号 東野 幸史良	吉野小学校校舎30号棟長寿命化改良本体工事	
 : 外壁塗装範囲外を示す		①南面 : (内側)Low-E3.0 + A6 + 強化透明4.0			全体立面図 (1)	A3 : 1/300
 : 目隠しフィルム貼を示す		②その他面 : (内側)Low-E3.0 + A6 + 透明3.0				
 : 清掃程度を示す					鹿児島市建設局建築部建築課	

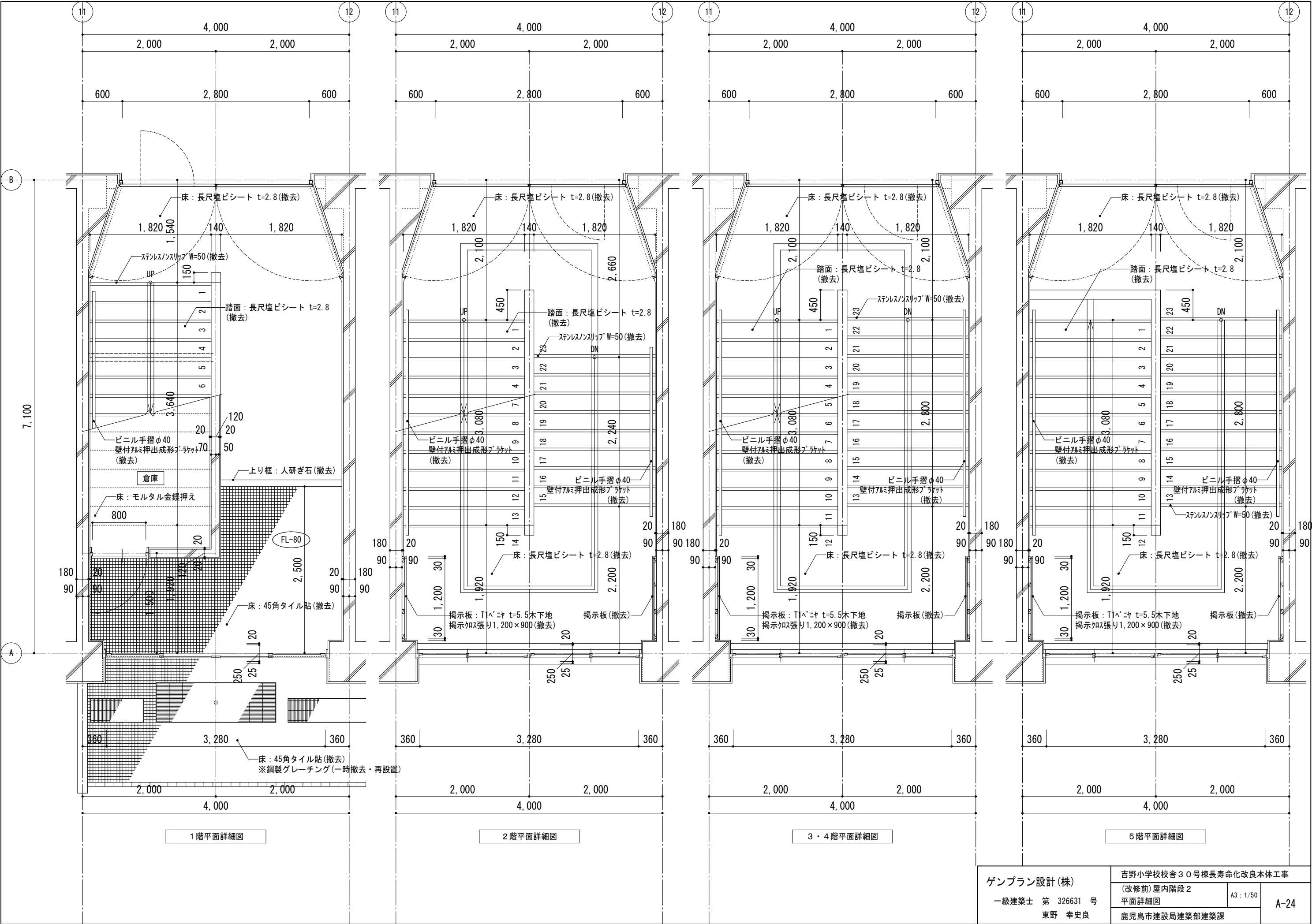


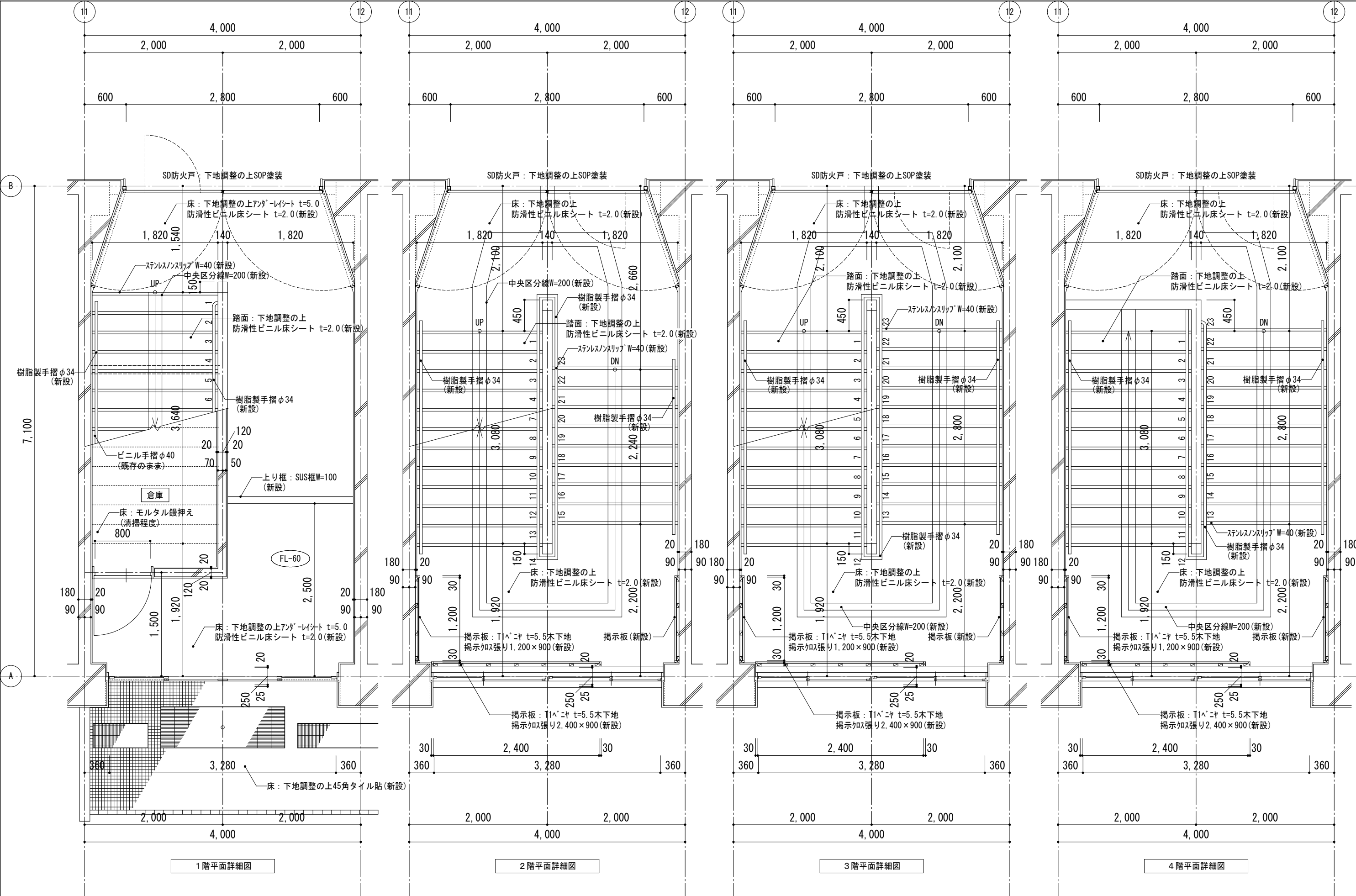
凡 例		アタッチメントペアガラスへ取替		ゲンプラン設計(株) 一級建築士 第 326631 号 東野 幸史良	吉野小学校校舎 30号棟長寿命化改良本体工事		
: 外壁塗装範囲外を示す		①南面(運動場側): (内側)Low-E3.0 + A6 + 強化透明4.0			全体立面図(2)		A3: 1/300 A-20
: 目隠しフィルム貼を示す		②そ の 他 面: (内側)Low-E3.0 + A6 + 透明3.0			鹿児島市建設局建築部建築課		
: 清掃程度を示す		③上記のうち、網入り透明ガラス又は網入り型板ガラスに交換する箇所は建具表を参照					

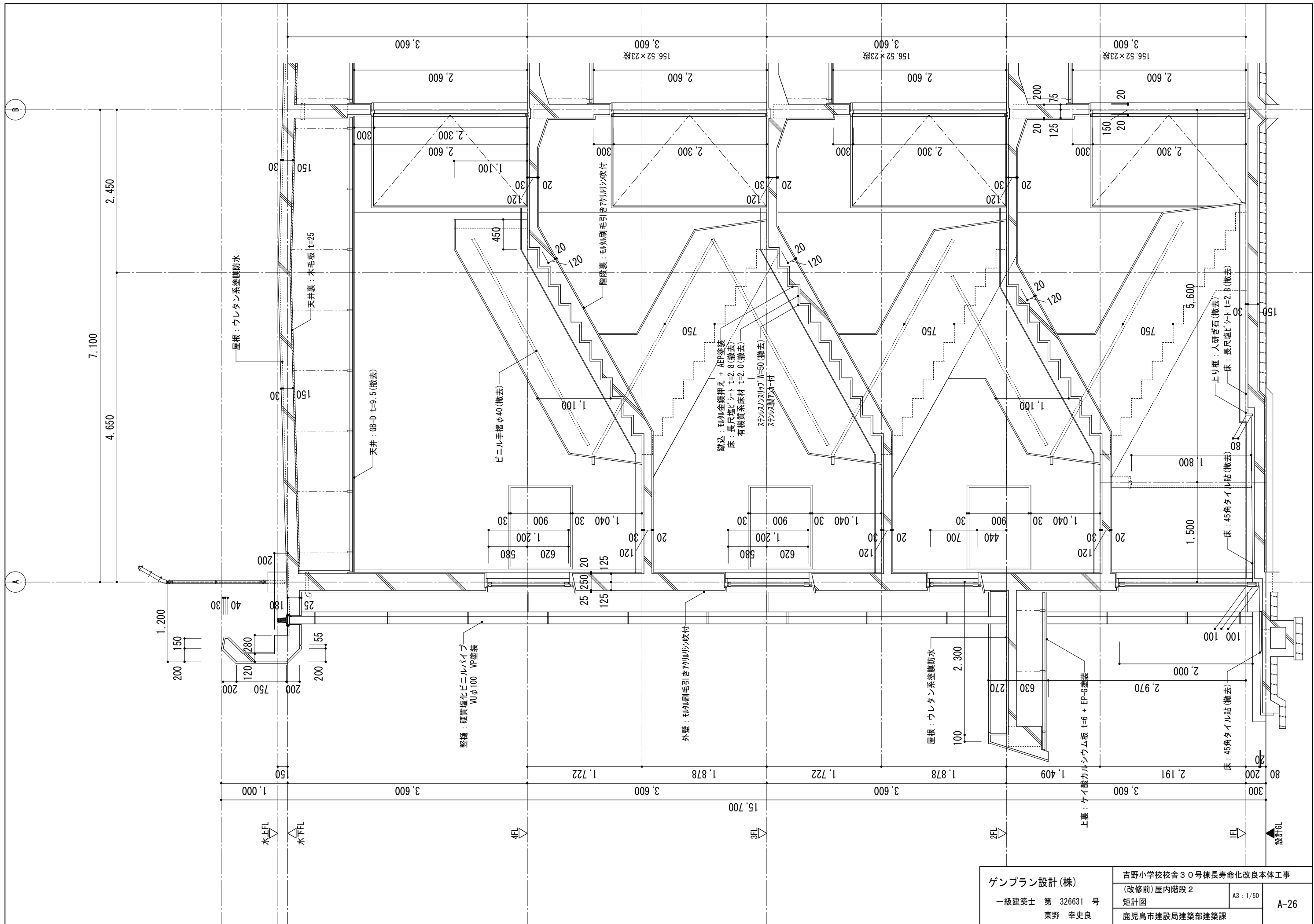
改修前		東・西側立面図		外壁改修工事 概要																																		
				<p>(A) 笠木 : ウレタン塗膜防水</p> <p>(B) 柱型 : モルタル刷毛引きアクリルリシン吹付</p> <p>(C) 壁 : モルタル刷毛引きアクリルリシン吹付</p> <p>(D) 梁型 : モルタル刷毛引きアクリルリシン吹付</p> <p>(E) パラペット: モルタル刷毛引きアクリルリシン吹付</p> <p>(F) 庇 : モルタル防水鍍押え</p> <p>(G) 上裏 : コンクリート打放しアクリルリシン吹付</p> <p>(H) 上裏 : 石綿セメント板 t=6 + AEP塗装</p> <p>(I) 外巾木 : モルタル金鍍押え</p> <p>(J) 縦樋 : 硬質塩化ビニルパイプVUφ100 VP塗装 SUS掴み金物</p> <p>(K) 足洗い場腰壁: 人造石研出し</p>																																		
				<p>①外壁改修</p> <p>・外壁仕上げの不良箇所（浮き部、ひび割れ等）については改修済（R05）</p> <p>②防水改修（シーリング打替）</p> <p>・既存建具廻り等 シーリング打替（MS-2）10×10</p> <p>・打継目地 シーリング打替（PU-2）10×10</p> <p>③塗装改修</p> <p>・外壁：高圧水洗浄（15MPa以下）の上、仕上げ材塗り</p> <table><tr><th>部 位</th><th>名 称</th><th>塗 装 種 別</th></tr><tr><td>壁・柱</td><td>一般</td><td>可とう形改修塗材E ローラー</td></tr><tr><td rowspan="2">梁</td><td>一般・天端</td><td>可とう形改修塗材E ローラー</td></tr><tr><td>揚裏 ※1</td><td>可とう形改修塗材E ローラー</td></tr><tr><td>巾木</td><td>一般</td><td>D P 塗（C-2種）</td></tr><tr><td rowspan="2">開口部</td><td>だき・面台</td><td>可とう形改修塗材E ローラー</td></tr><tr><td>まぐさ ※1</td><td>可とう形改修塗材E ローラー</td></tr><tr><td rowspan="4">パラペット</td><td>笠木</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">立上り</td><td>内部</td></tr><tr><td>外部</td><td>可とう形改修塗材E ローラー</td></tr><tr><td>返し・揚裏 ※1</td><td>アクリル系軒天用仕上塗材</td></tr><tr><td rowspan="2">庇</td><td>天端・鼻 ※3</td><td>可とう形改修塗材E ローラー</td></tr><tr><td>揚裏 ※1</td><td>アクリル系軒天用仕上塗材</td></tr></table> <p>※1 庇、パラペット揚裏等と一体となっている場合は、庇、パラペット揚裏等の仕様による。</p> <p>※2 既存が外装薄塗材E以外の箇所は、可とう形改修塗材Eとする</p> <p>・縦樋：下地調整（RC種）の上、DP塗り</p> <p>※既設樋の樋受け金物について、腐食、外れ又はゆるみなど、安全上支障のある場合は監督員に報告すること。</p> <p>④内壁改修</p> <p>・内部のモルタル仕上げについて、浮きや落下の恐れ等がないか確認を行うこと。（打診は階段上裏、内壁、教室中央梁型のみ）</p> <p>・調査結果を踏まえ、改修の必要性について監督員と協議すること。</p> <p>・改修工法については、外壁補修工事特記仕様書（A-6、A-7）を参考とすること。</p>		部 位	名 称	塗 装 種 別	壁・柱	一般	可とう形改修塗材E ローラー	梁	一般・天端	可とう形改修塗材E ローラー	揚裏 ※1	可とう形改修塗材E ローラー	巾木	一般	D P 塗（C-2種）	開口部	だき・面台	可とう形改修塗材E ローラー	まぐさ ※1	可とう形改修塗材E ローラー	パラペット	笠木		立上り	内部	外部	可とう形改修塗材E ローラー	返し・揚裏 ※1	アクリル系軒天用仕上塗材	庇	天端・鼻 ※3	可とう形改修塗材E ローラー	揚裏 ※1	アクリル系軒天用仕上塗材
部 位	名 称	塗 装 種 別																																				
壁・柱	一般	可とう形改修塗材E ローラー																																				
梁	一般・天端	可とう形改修塗材E ローラー																																				
	揚裏 ※1	可とう形改修塗材E ローラー																																				
巾木	一般	D P 塗（C-2種）																																				
開口部	だき・面台	可とう形改修塗材E ローラー																																				
	まぐさ ※1	可とう形改修塗材E ローラー																																				
パラペット	笠木																																					
	立上り	内部																																				
		外部	可とう形改修塗材E ローラー																																			
		返し・揚裏 ※1	アクリル系軒天用仕上塗材																																			
庇	天端・鼻 ※3	可とう形改修塗材E ローラー																																				
	揚裏 ※1	アクリル系軒天用仕上塗材																																				
改修後		東・西側立面図		<p>(A) 笠木 : 既存のまま</p> <p>(B) 柱型 : 既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E</p> <p>(C) 壁 : 既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E</p> <p>(D) 梁型 : 既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E</p> <p>(E) パラペット: 既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E</p> <p>(F) 庇 : 既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E</p> <p>(G) 上裏 : 既存高圧水洗浄の上 アクリル系軒天用仕上塗材</p> <p>(H) 上裏 : FK t=6.0目透かし張り + EP-G塗装</p> <p>(I) 外巾木 : 既存高圧水洗浄の上DP塗装</p> <p>(J) 縦樋 : 既存下地調整の上DP（ホリケツ）塗替え 掴み金物 既存のまま</p> <p>(K) 足洗い場腰壁: 既存高圧水洗浄</p> <p>(L) 外壁 : ALC板t=100 下地処理（C-1） + 複層塗材E</p>																																		
凡 例		アタッチメントペアガラスへ取替		ゲンプラン設計(株)																																		
: 外壁塗装範囲外を示す		①南面(運動場側): (内側)Low-E3.0 + A6 + 強化透明4.0		吉野小学校校舎30号棟長寿命化改良本体工事																																		
: 目隠しフィルム貼を示す		②そ の 他 面: (内側)Low-E3.0 + A6 + 透明3.0		全体立面図（3） A3: 1/300																																		
: 清掃程度を示す		③上記のうち、網入り透明ガラス又は網入り型板ガラスに交換する箇所は建具表を参照		A-21																																		
				一級建築士 第 326631 号 東野 幸史良																																		
				鹿児島市建設局建築部建築課																																		

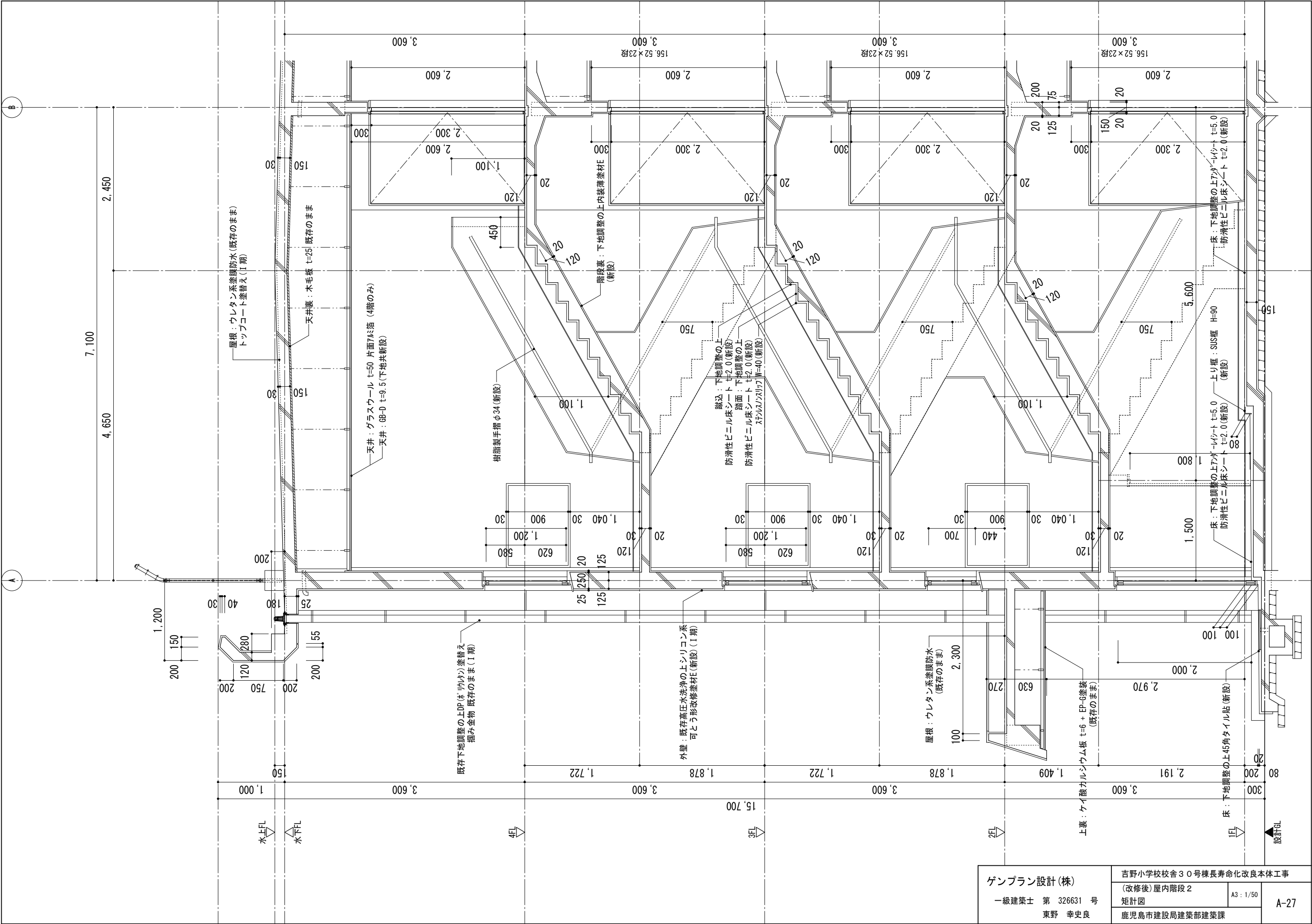


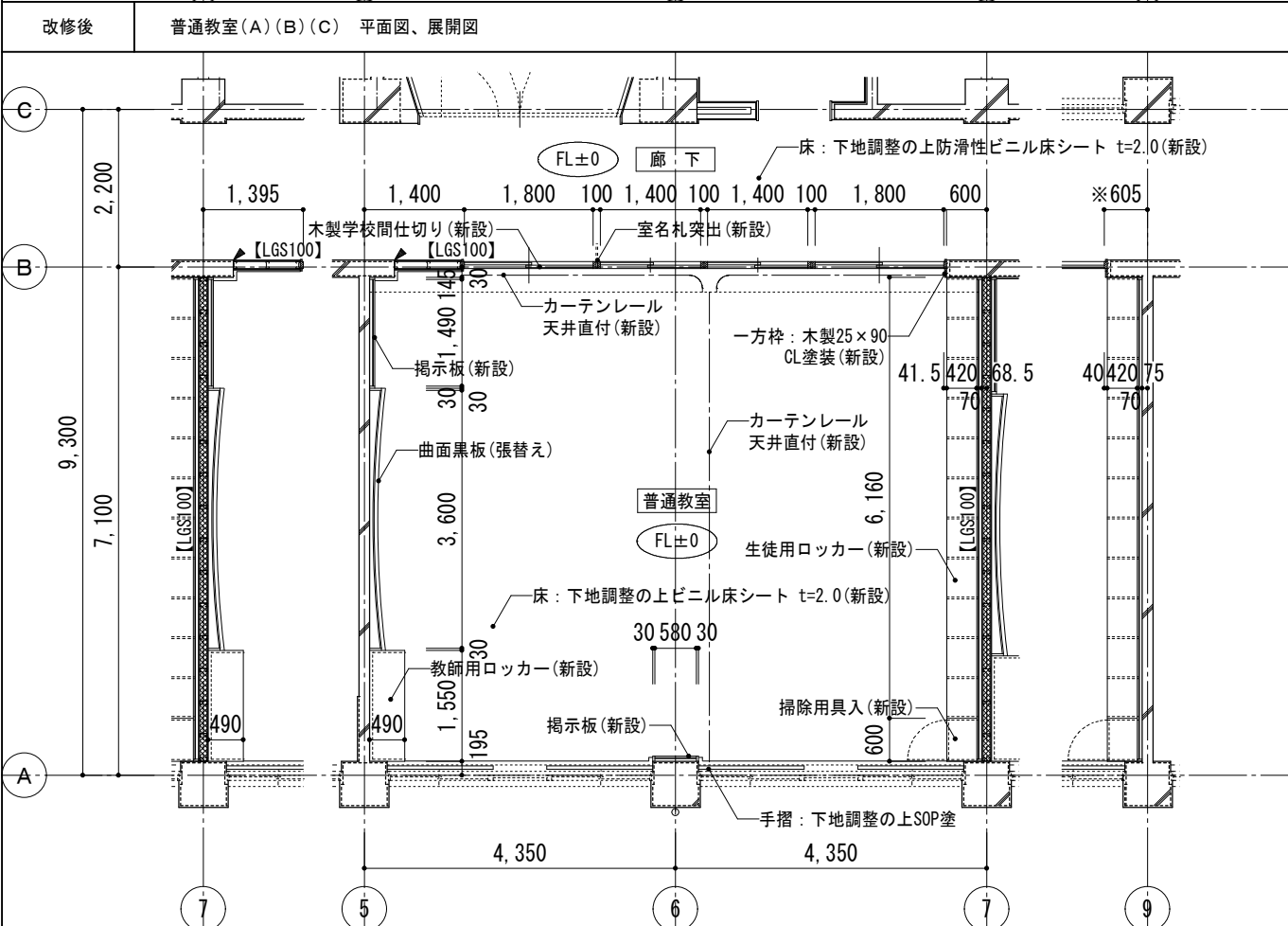
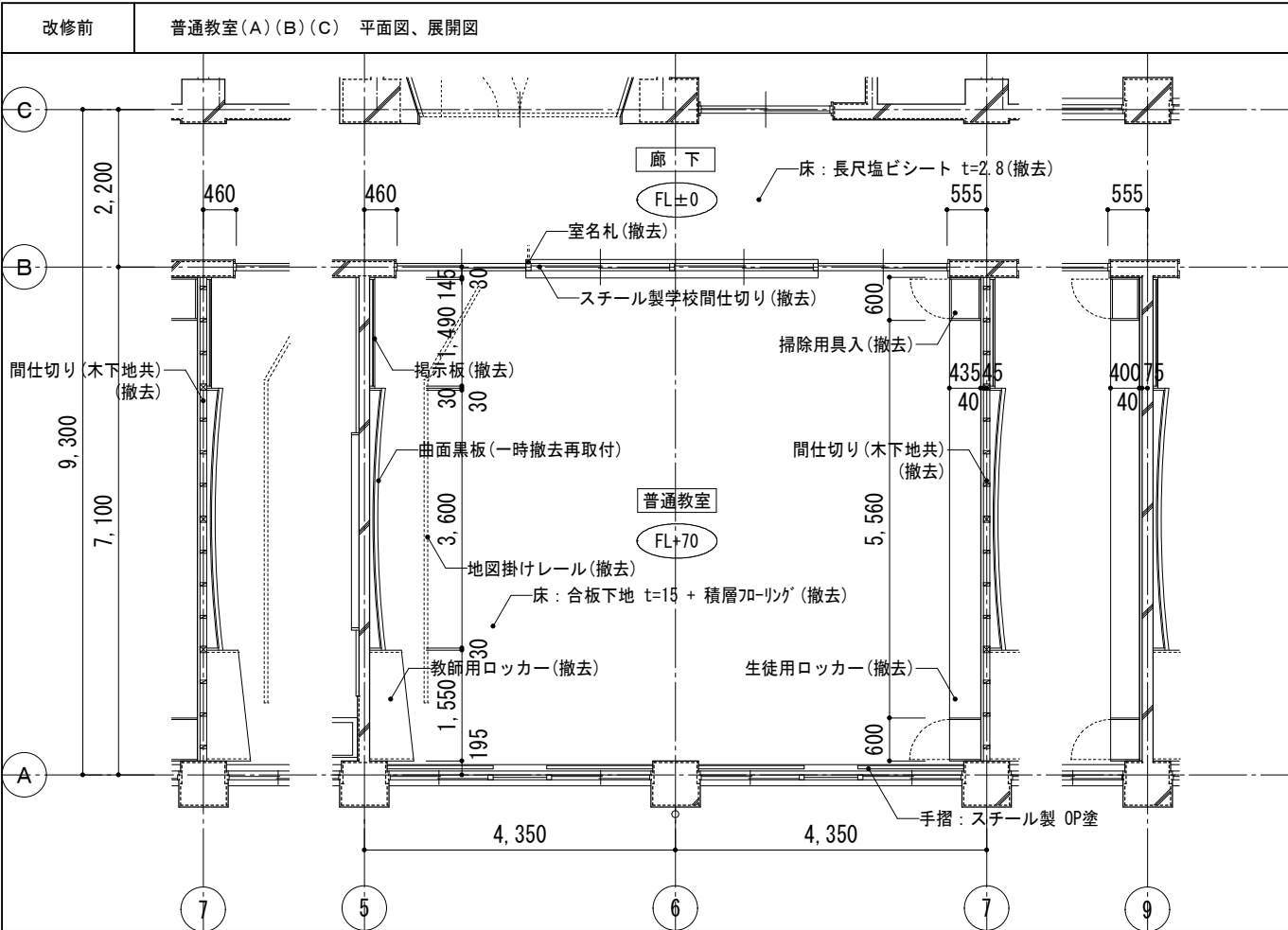




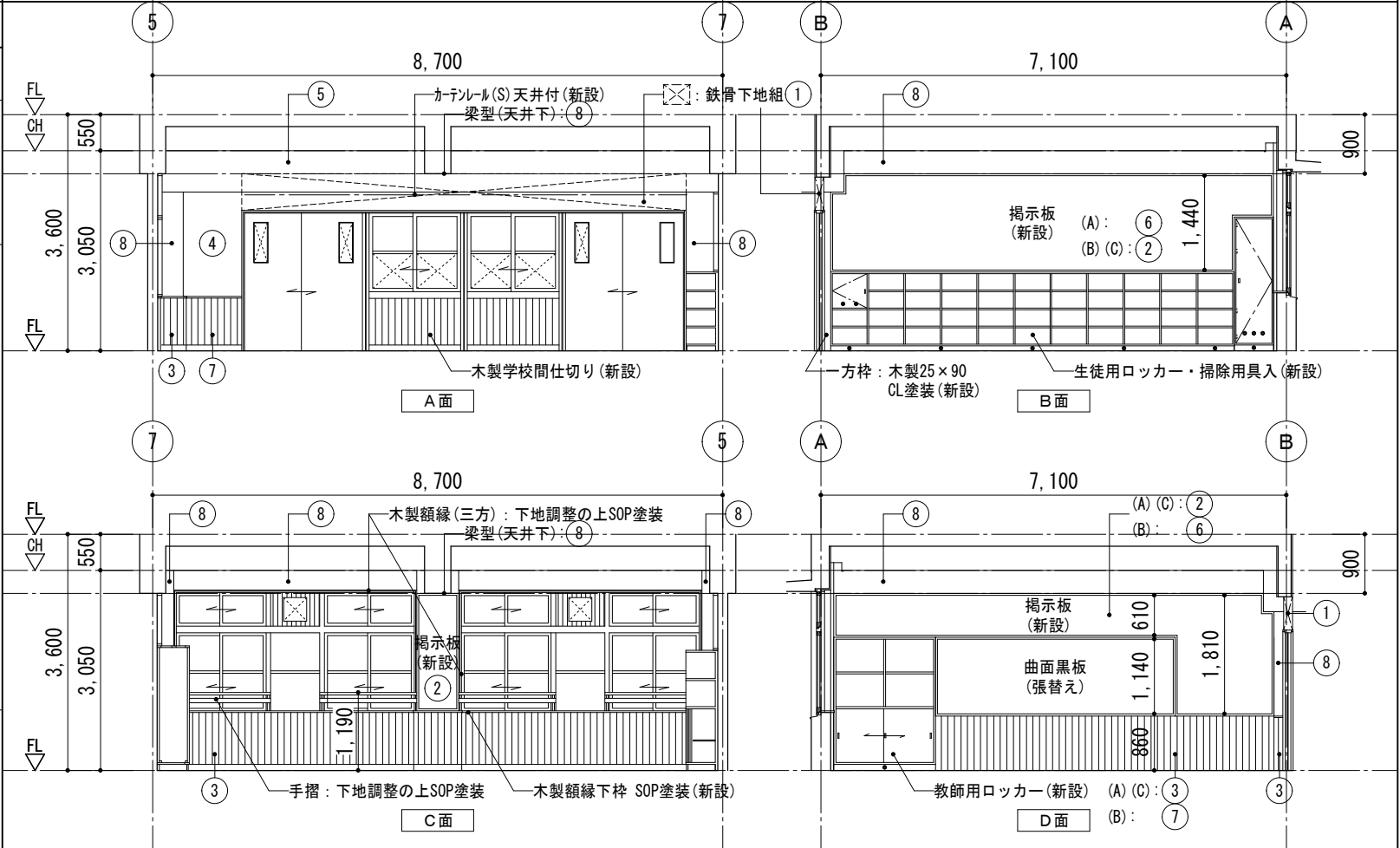
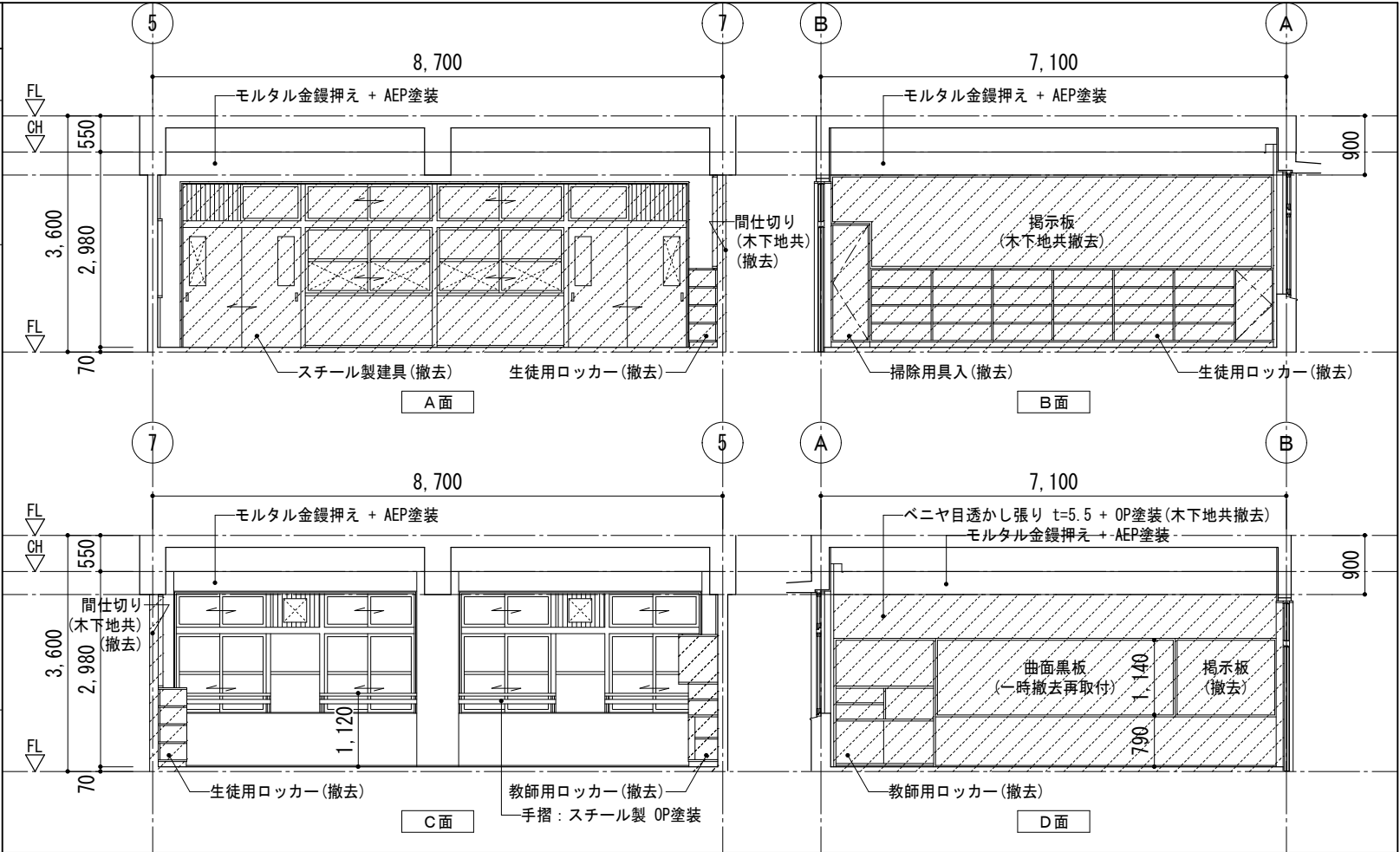








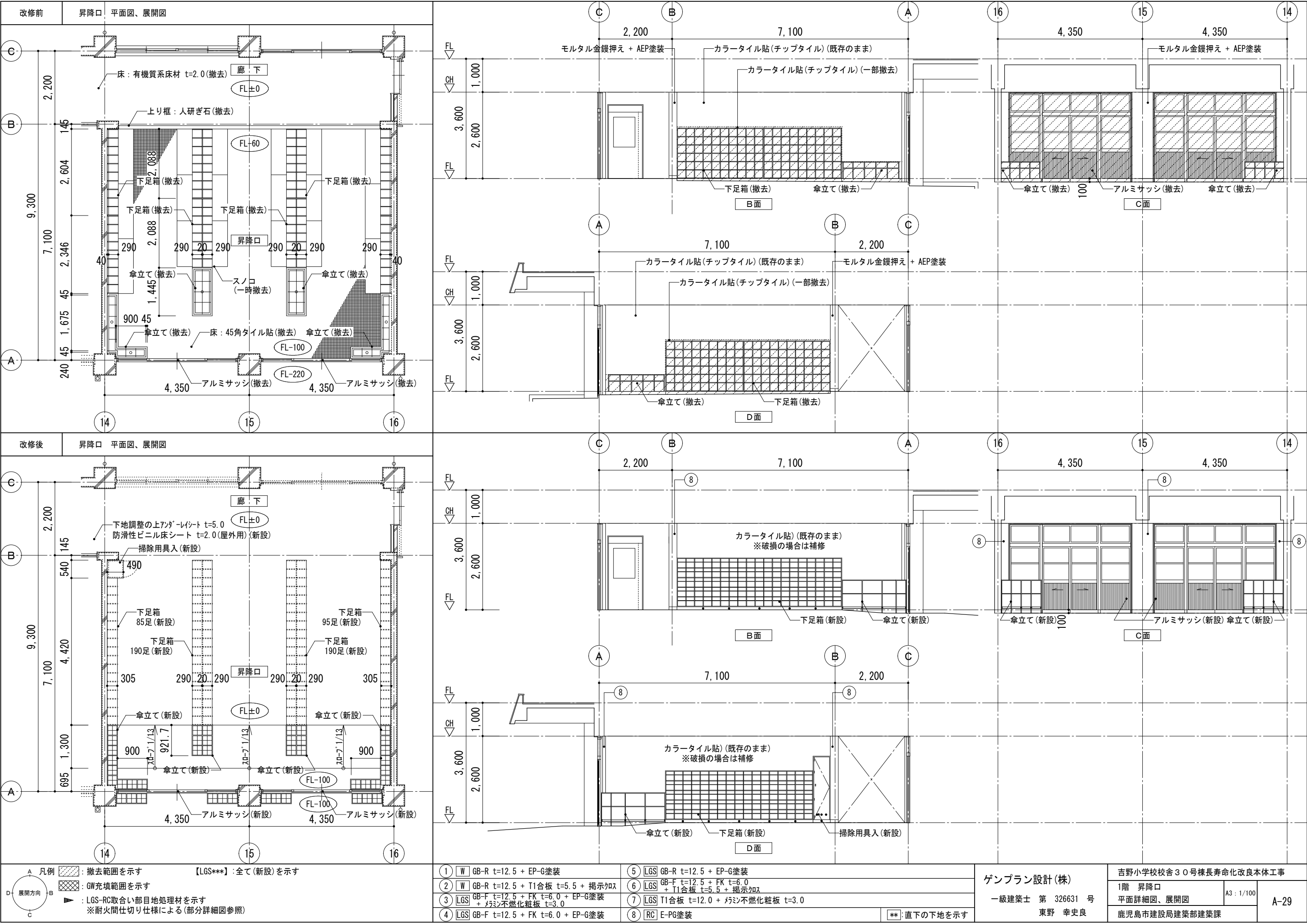
<div>凡例</div> <div>展開方向</div>		撤去範囲を示す
		GW充填範囲を示す
		LGS-RC取合い部目地処理材を示す
		※耐火間仕切り仕様による(部分詳細図参照)
【LGS***】: 全て(新設)を示す		
改修前	D面	B面
普通教室(A)	RC下地	木下地
普通教室(B)	木下地	RC下地
普通教室(C)	RC下地	RC下地



①	S	GB-F t=12.5 + FK t=6.0 + EP-G塗装
②	W	GB-R t=12.5 + T1合板 t=5.5 + 掲示枠
③	W	杉板 t=12.0 + CL塗装
④	LGS	GB-F t=12.5 + FK t=6.0 + EP-G塗装
⑤	LGS	GB-R t=12.5 + EP-G塗装
⑥	LGS	GB-F t=12.5 + FK t=6.0 + T1合板 t=5.5 + 掲示枠
⑦	LGS	GB-F t=12.5 + FK t=6.0 + 杉板 t=12.0 + CL塗装
⑧	RC	E-PG塗装
※: 直下の下地を示す		

ゲンプラン設計(株)	
一級建築士 第 326631 号	
東野 幸史良	

吉野小学校校舎30号棟長寿命化改良本体工事	
普通教室(A)~(C)	A3: 1/100
平面詳細図、展開図	A-28
鹿児島市建設局建築部建築課	



改修前

昇降口 平面図、展開図

改修後

昇降口 平面図、展開図

改修前

昇降口 平面図、展開図

改修後

昇降口 平面図、展開図

改修前

昇降口 平面図、展開図

改修後

昇降口 平面図、展開図

改修前

昇降口 平面図、展開図

改修後

昇降口 平面図、展開図

改修前

昇降口 平面図、展開図

改修後

昇降口 平面図、展開図

改修前

昇降口 平面図、展開図

改修後

昇降口 平面図、展開図

改修前

昇降口 平面図、展開図

改修後

昇降口 平面図、展開図

改修前

昇降口 平面図、展開図

改修後

昇降口 平面図、展開図

改修前

昇降口 平面図、展開図

改修後

昇降口 平面図、展開図

改修前

昇降口 平面図、展開図

改修後

昇降口 平面図、展開図

改修前

昇降口 平面図、展開図

改修後

昇降口 平面図、展開図

改修前

昇降口 平面図、展開図

改修後

昇降口 平面図、展開図

改修前

昇降口 平面図、展開図

改修後

昇降口 平面図、展開図

改修前

昇降口 平面図、展開図

改修後

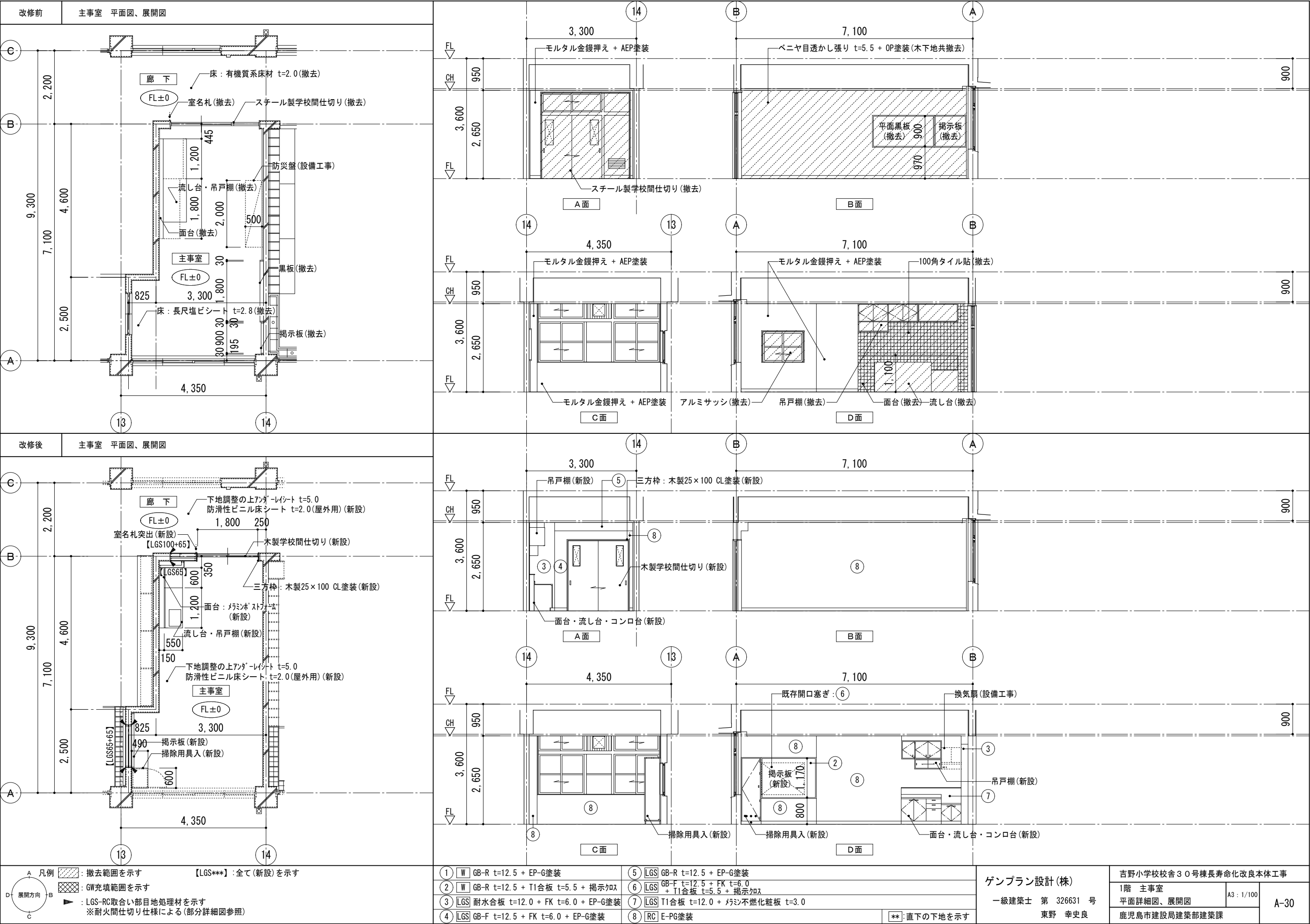
昇降口 平面図、展開図

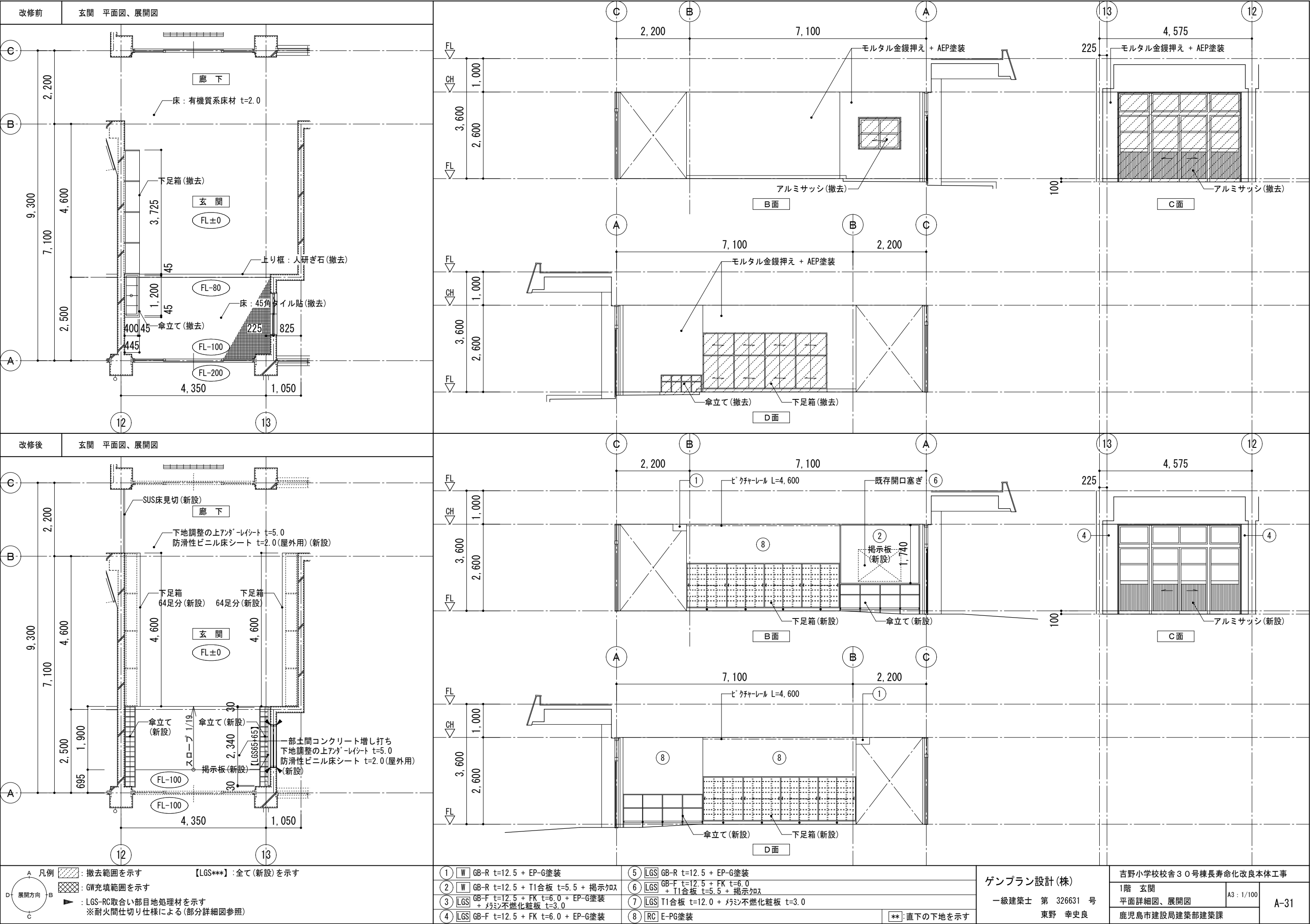
改修前

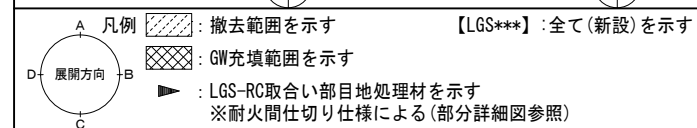
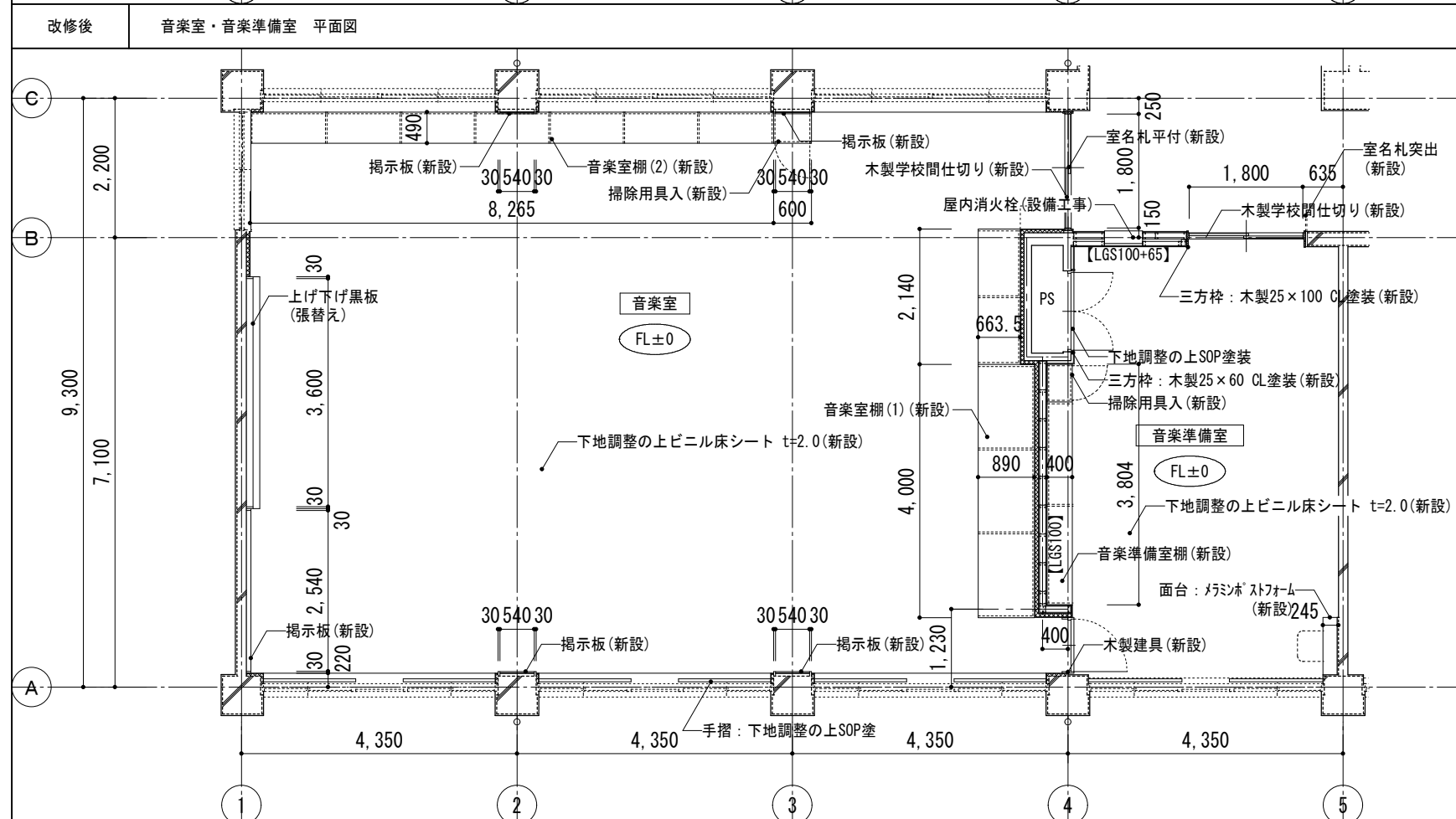
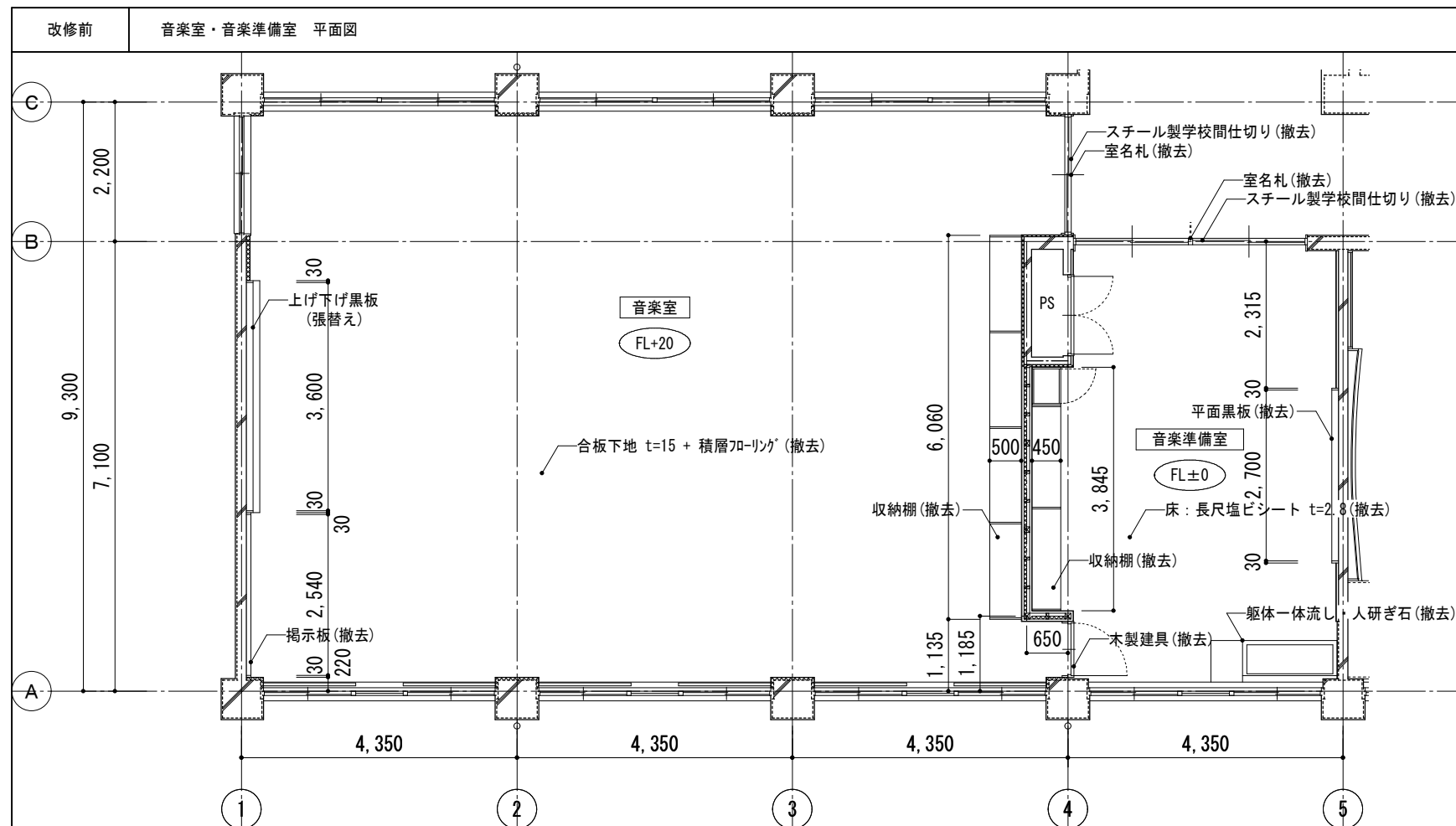
昇降口 平面図、展開図

改修後

昇降口 平面図、展開図







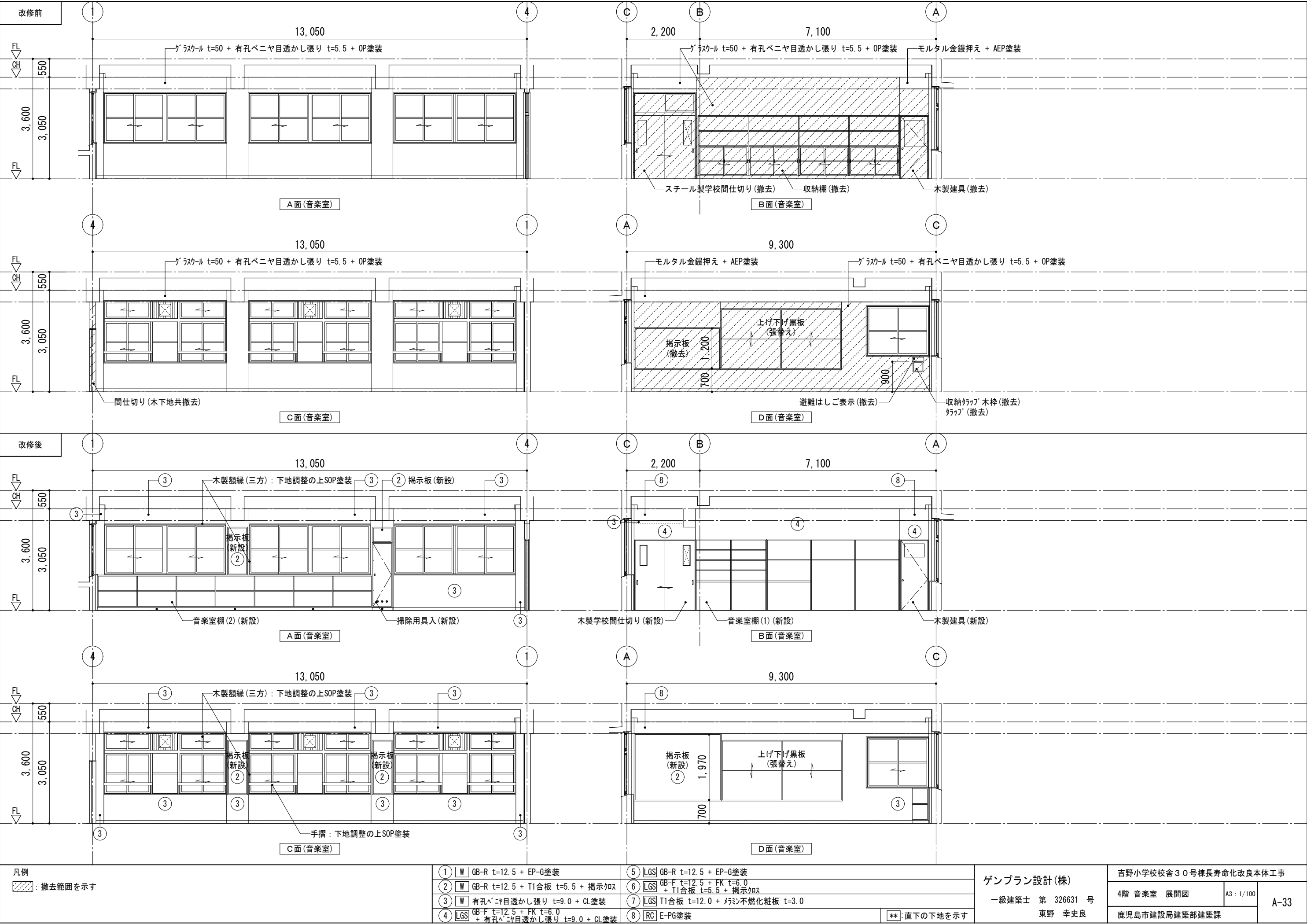
①	W	GB-R t=12.5 + EP-G塗装
②	W	GB-R t=12.5 + T1合板 t=5.5 + 揭示
③	LGS	GB-F t=12.5 + FK t=6.0 + EP-G塗装 + マシン不燃化粧板 t=3.0
④	LGS	GB-F t=12.5 + FK t=6.0 + EP-G塗装

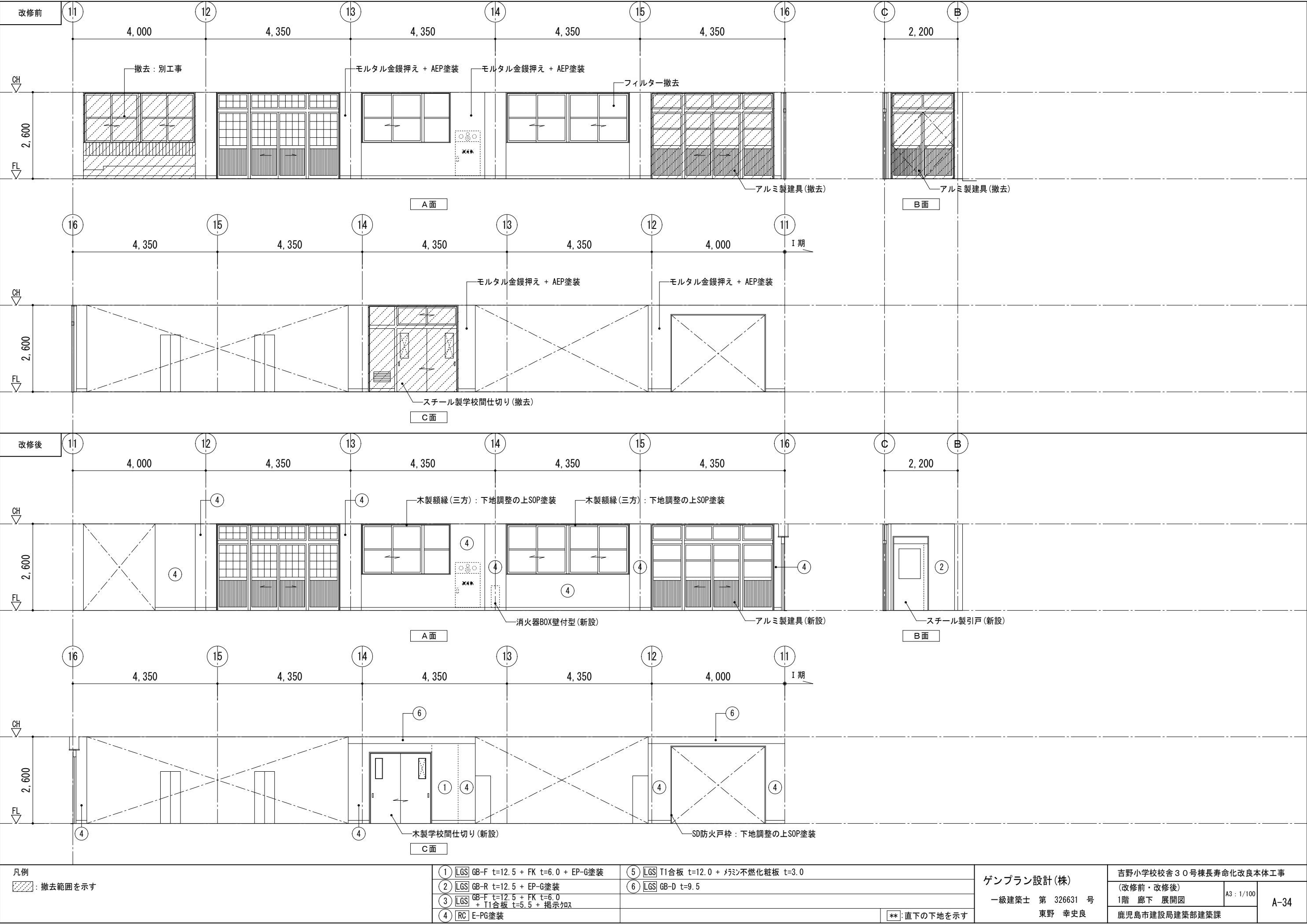
⑤	LGS	GB-R t=12.5 + EP-G塗装
⑥	LGS	GB-F t=12.5 + FK t=6.0 + T1合板 t=5.5 + 揭示40%
⑦	LGS	T1合板 t=12.0 + マリシ不燃化粧板 t=3.0
⑧	RC	E-PG塗装

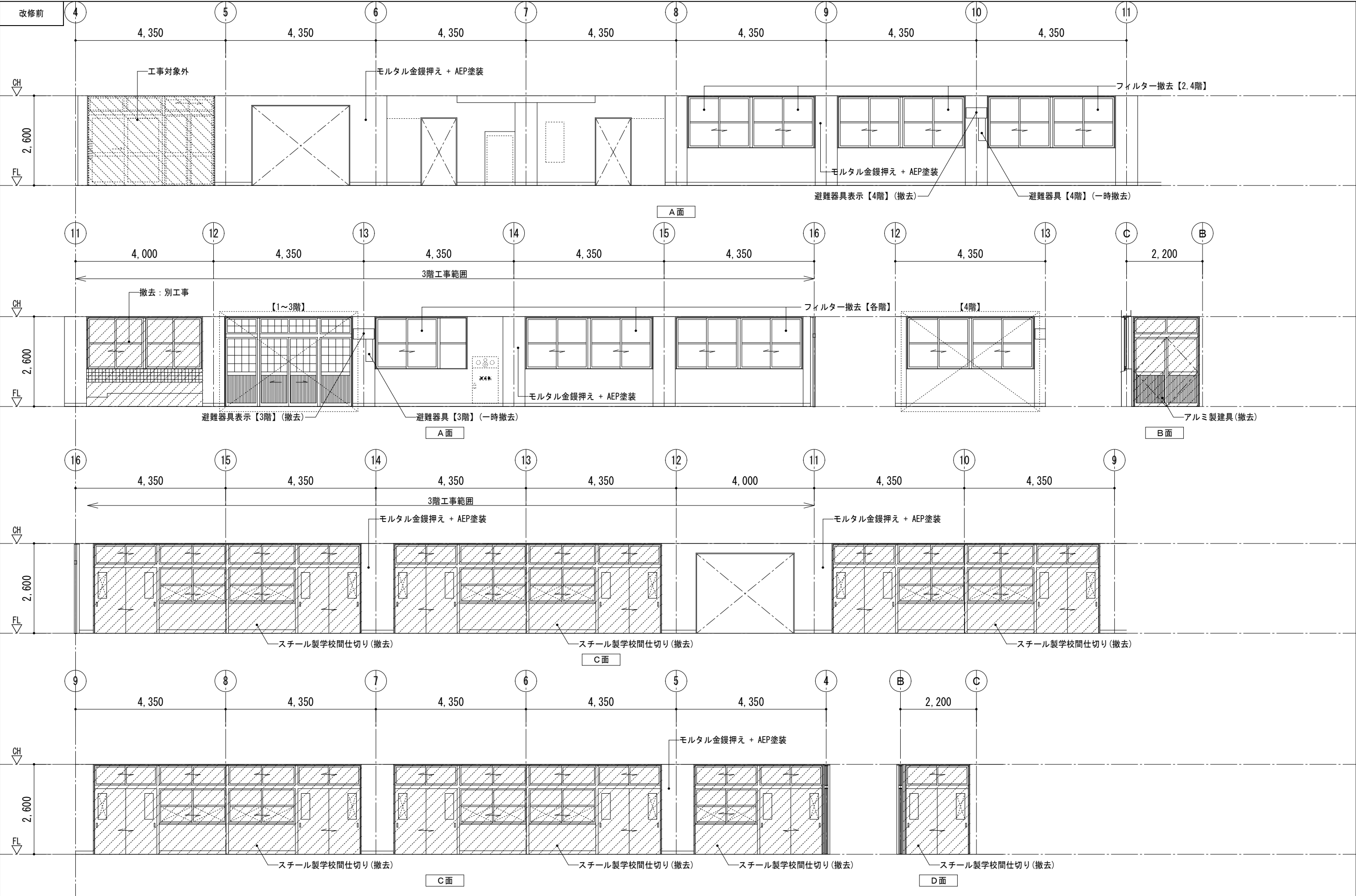
******:直下の下地を示す

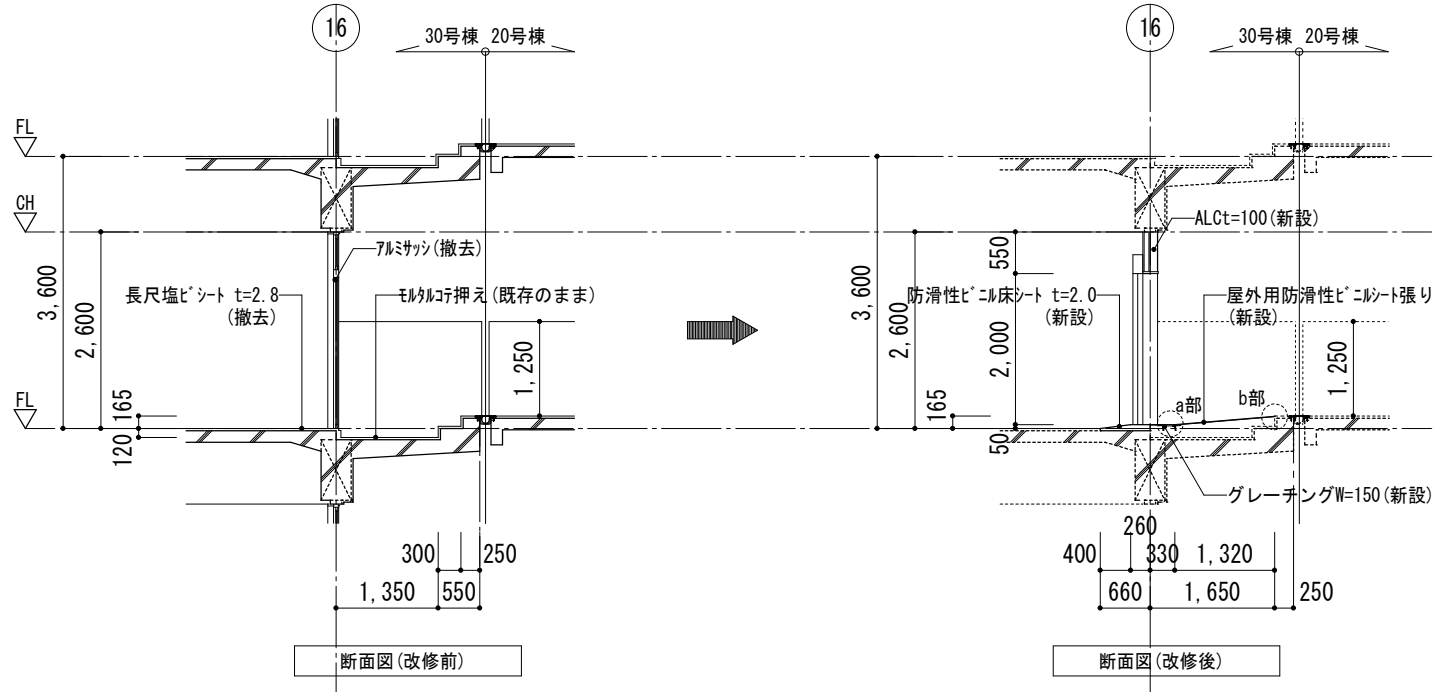
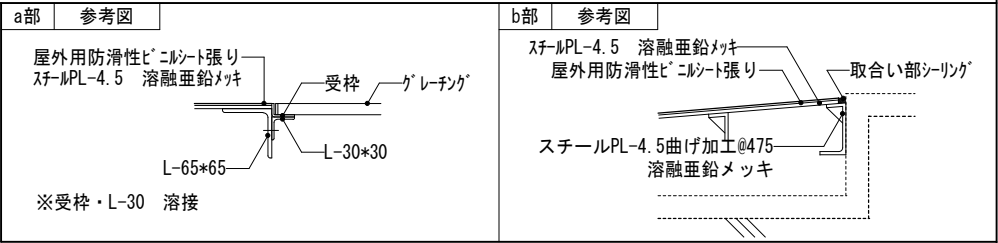
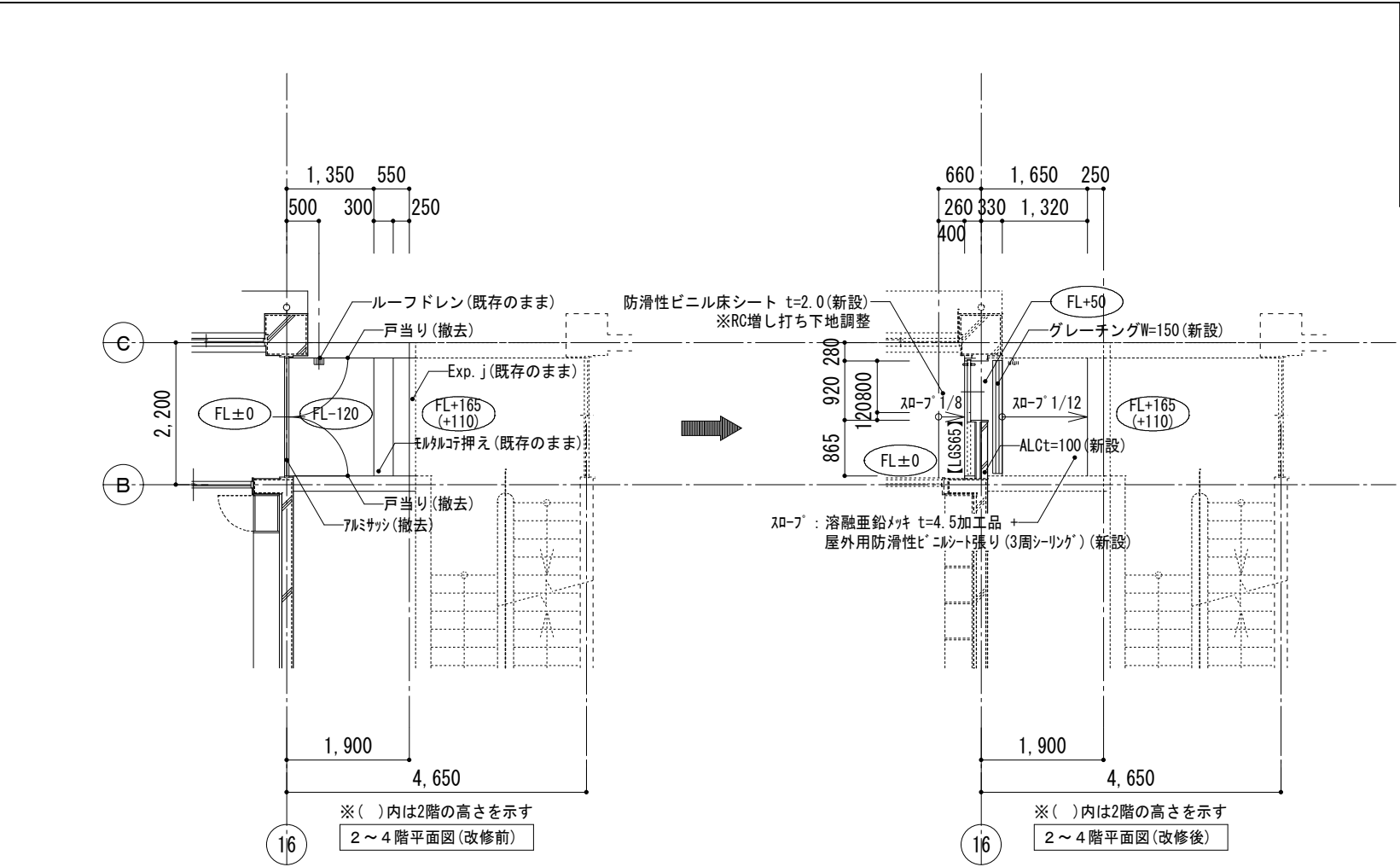
ゲンプラン設計(株)
一級建築士 第 32663
東野 幸

吉野小学校校舎30号棟長寿命化改良本体工事		
4階 音楽室・音楽準備室 平面詳細図・展開図	A3 : 1/100	A-32
鹿児島市建設局建築部建築課		

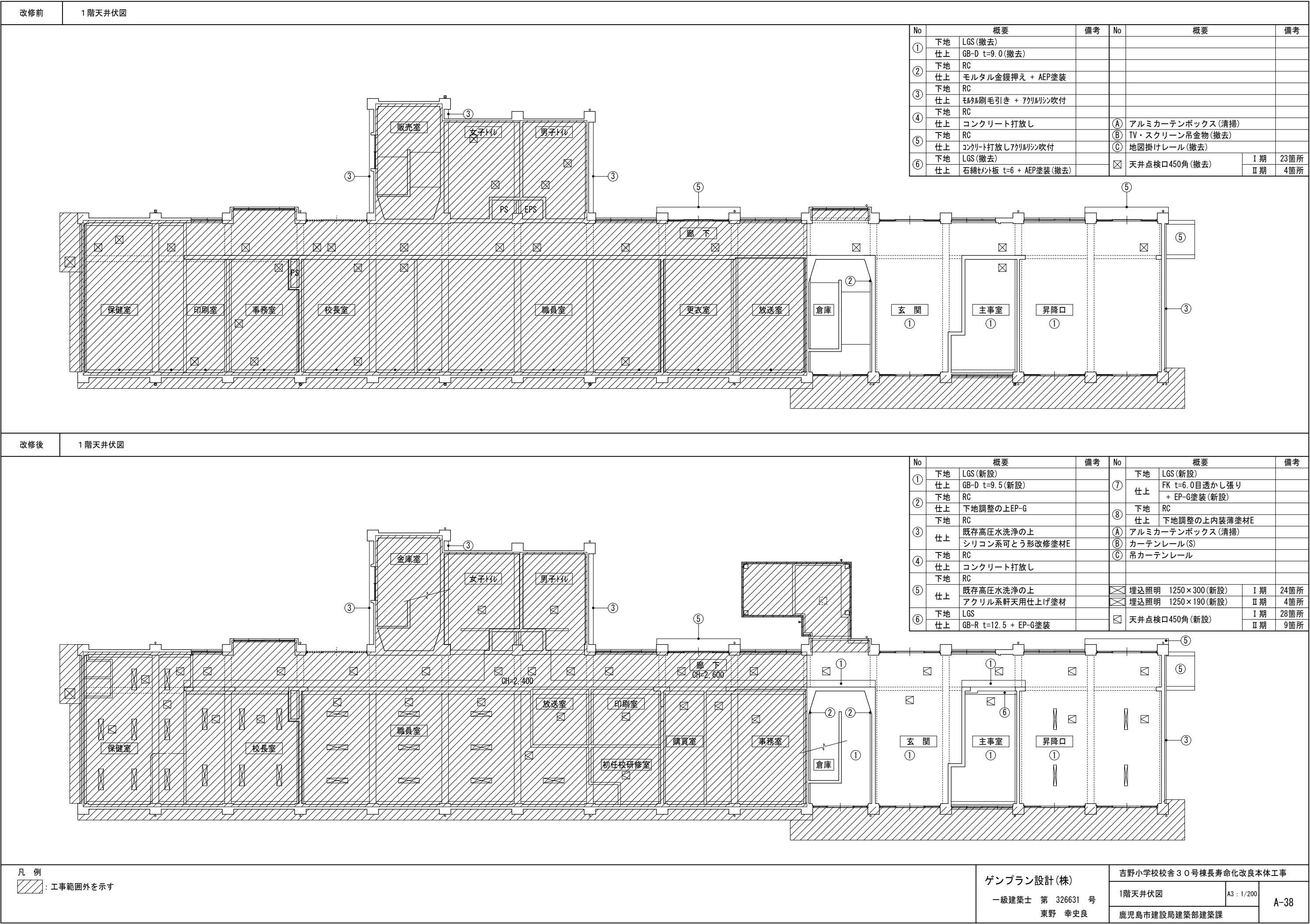


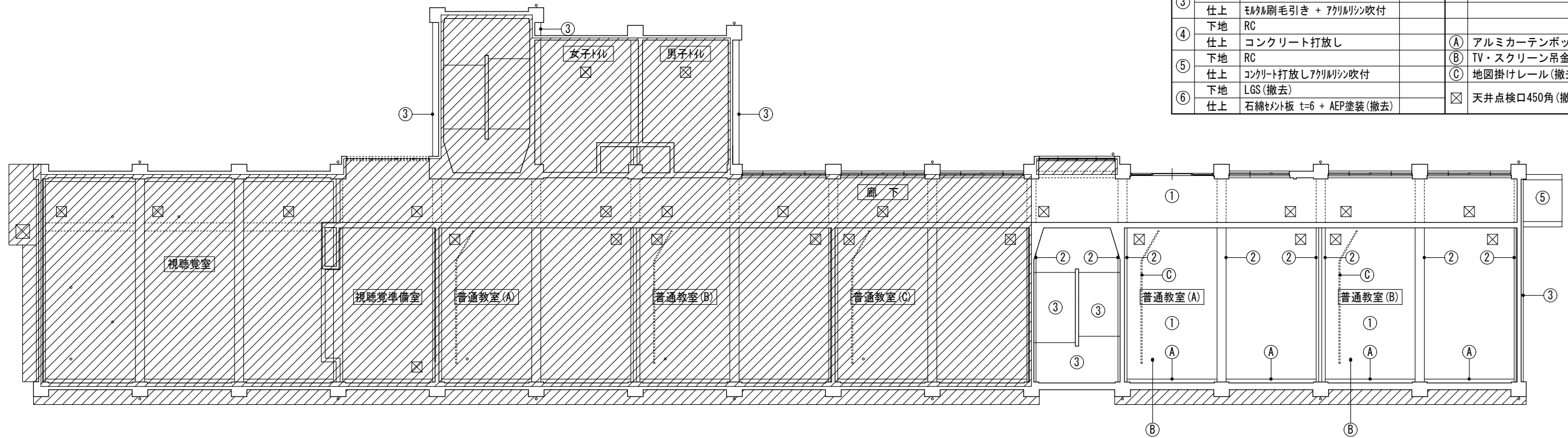




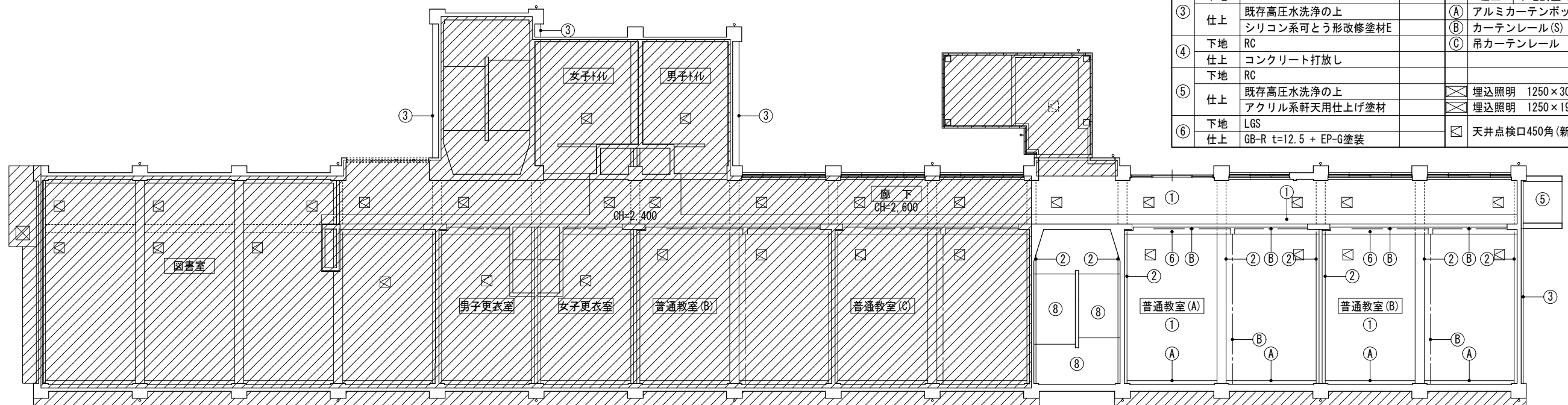


※解体に依る補修必要時は補修の事






No	概要		備考	No	概要		備考
①	下地	LGS(撤去)					
	仕上	GB-D t=9.0(撤去)					
②	下地	RC					
	仕上	モルタル金鍍押え + AEP塗装					
③	下地	RC					
	仕上	モルタル刷毛引き + アクリル引吹付					
④	下地	RC					
	仕上	コンクリート打放し		④	アルミカーテンボックス(清掃)		
⑤	下地	RC		⑤	TV・スクリーン吊金物(撤去)		
	仕上	コンクリート打放し・アクリル引吹付		⑥	地図掛けレール(撤去)		
⑥	下地	LGS(撤去)					
	仕上	石綿タタ板 t=6 + AEP塗装(撤去)		☒	天井点検口450角(撤去)		
						I 期	17箇所
						II 期	8箇所



No	概要		備考	No	概要		備考	
①	下地	LGS(新設)		⑦	下地	LGS(新設)		
	仕上	GB-D t=9.5(新設)			仕上	FK t=6.0目透かし張り + EP-G塗装(新設)		
②	下地	RC		⑧	下地	RC		
	仕上	下地調整の上EP-G			仕上	下地調整の上内装薄塗材E		
③	下地	RC		Ⓐ	アルミカーテンボックス(清掃)			
	仕上	既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E			Ⓑ	カーテンレール(S)		
④	下地	RC		Ⓒ	吊カーテンレール			
	仕上	コンクリート打放し						
⑤	下地	RC						
	仕上	RC						
⑤	仕上	既存高圧水洗浄の上 アクリル系軒天用仕上げ塗材		☒	埋込照明 1250×300(新設)	I 期	—	
					埋込照明 1250×190(新設)	II 期	—	
⑥	下地	LGS		☒	天井点検口450角(新設)		I 期	22箇所
	仕上	GB-R t=12.5 + EP-G塗装				II 期	9箇所	

凡 例

 : 工事範囲外を示す

ゲンプラン設計(株)

一級建築士 第 326631 号
東野 幸史良

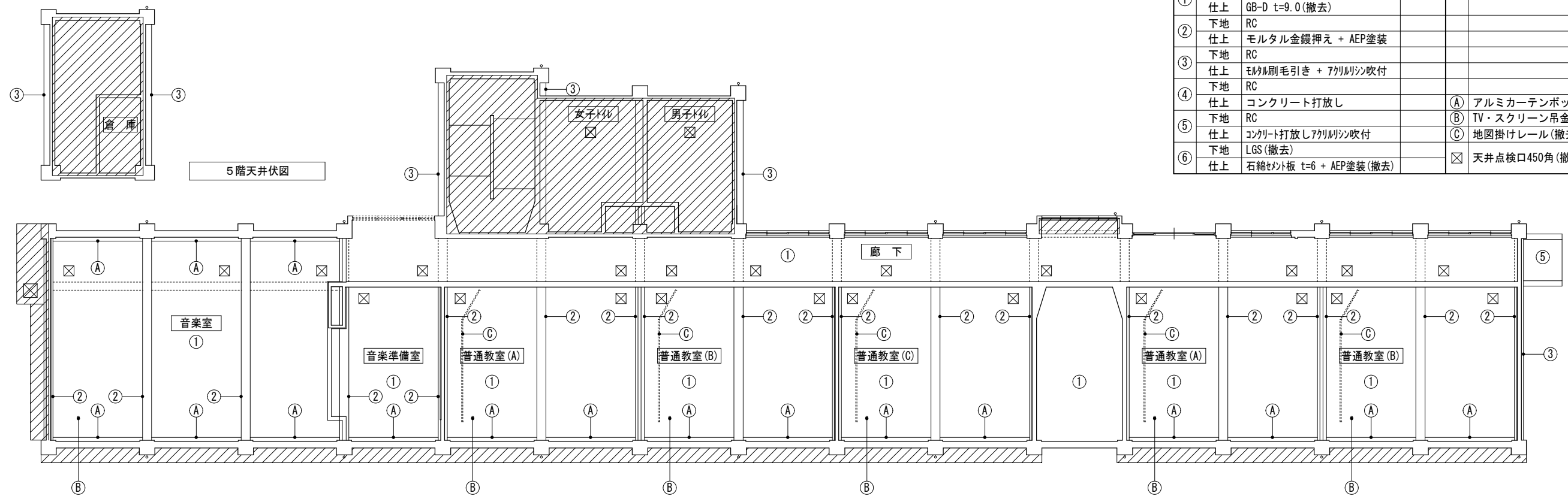
吉野小学校校舎30号棟長寿命化改良本体工事

3階天井伏図

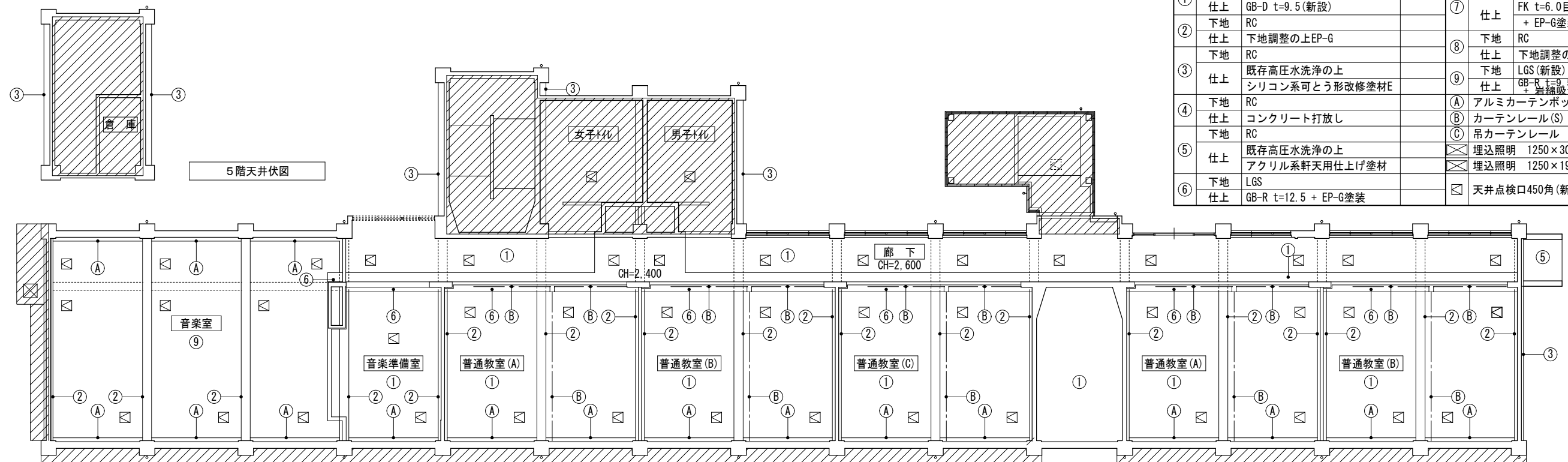
A3 : 1/200

鹿児島市建設局建築部建築課

-40




No	概要		備考	No	概要		備考
①	下地	LGS(撤去)					
	仕上	GB-D t=9.0(撤去)					
②	下地	RC					
	仕上	モルタル金鍍押え + AEP塗装					
③	下地	RC					
	仕上	モルタル刷毛引き + アクリルシン吹付					
④	下地	RC					
	仕上	コンクリート打放し		Ⓐ	アルミカーテンボックス(清掃)		
⑤	下地	RC		Ⓑ	TV・スクリーン吊金物(撤去)		
	仕上	コンクリート打放し+アクリルシン吹付		Ⓒ	地図掛けレール(撤去)		
⑥	下地	LGS(撤去)					
	仕上	石綿タタ板 t=6 + AEP塗装(撤去)	☒		天井点検口450角(撤去)		
						I 期	2箇所
						II 期	23箇所



No	概要		備考	No	概要		備考
①	下地	LGS (新設)		⑦	下地	LGS (新設)	
	仕上	GB-D t=9.5 (新設)					
②	下地	RC		⑧	仕上	FK t=6.0目透かし張り + EP-G塗装 (新設)	
	仕上	下地調整の上EP-G					
③	下地	RC		⑨	下地	RC	
	仕上	既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E					
④	下地	RC		A	仕上	下地調整の上内装薄塗材E	
	仕上						
	下地						
⑤	仕上	コンクリート打放し		B	下地	LGS (新設)	
	下地	RC					
	仕上						
⑥	仕上	既存高圧水洗浄の上 アクリル系軒天用仕上り塗材		C	仕上	GB-R t=9.5 + 岩綿吸音板 t=9.0 (新設)	
	下地						
	仕上						
⑦	下地	LGS		D	アルミカーテンボックス (清掃)	I 期	—
	仕上	GB-R t=12.5 + EP-G塗装			カーテンレール (S)	II 期	—
					吊カーテンレール		
⑧	下地	RC		E	埋込照明 1250×300 (新設)	I 期	2箇所
					埋込照明 1250×190 (新設)	II 期	43箇所
					天井点検口450角 (新設)		

凡 例

 : 工事範囲外を示す

ゲンプラン設計(株)

一級建築士 第 326631 号
東野 幸史良

吉野小学校校舍30号棟長寿命化改良本体工事

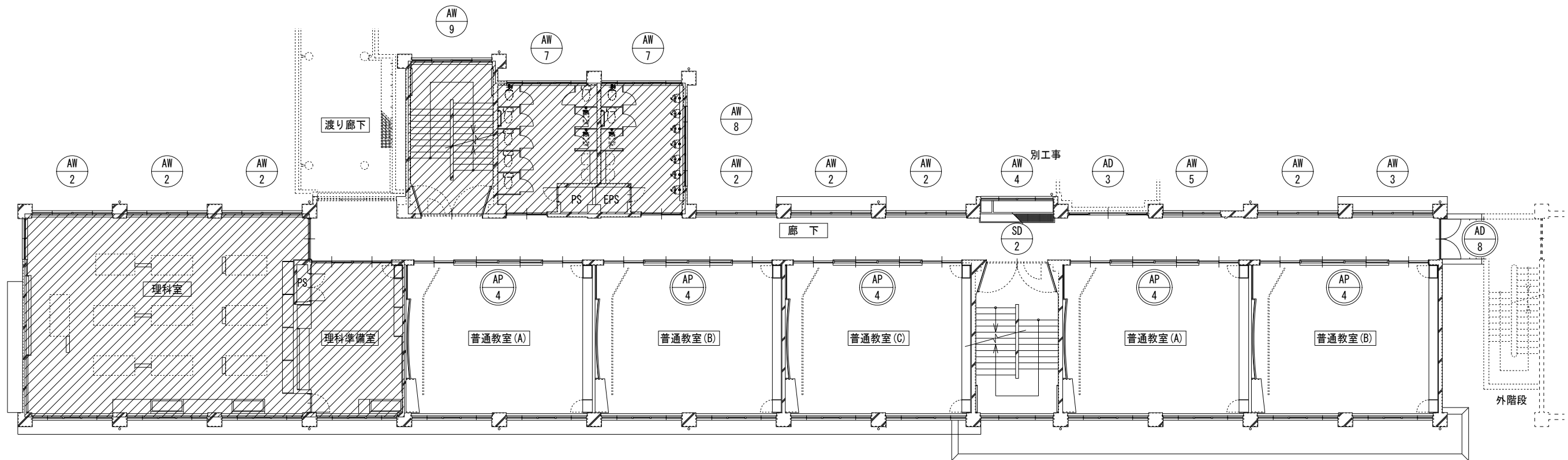
4・5階天井伏図

A3 : 1/200

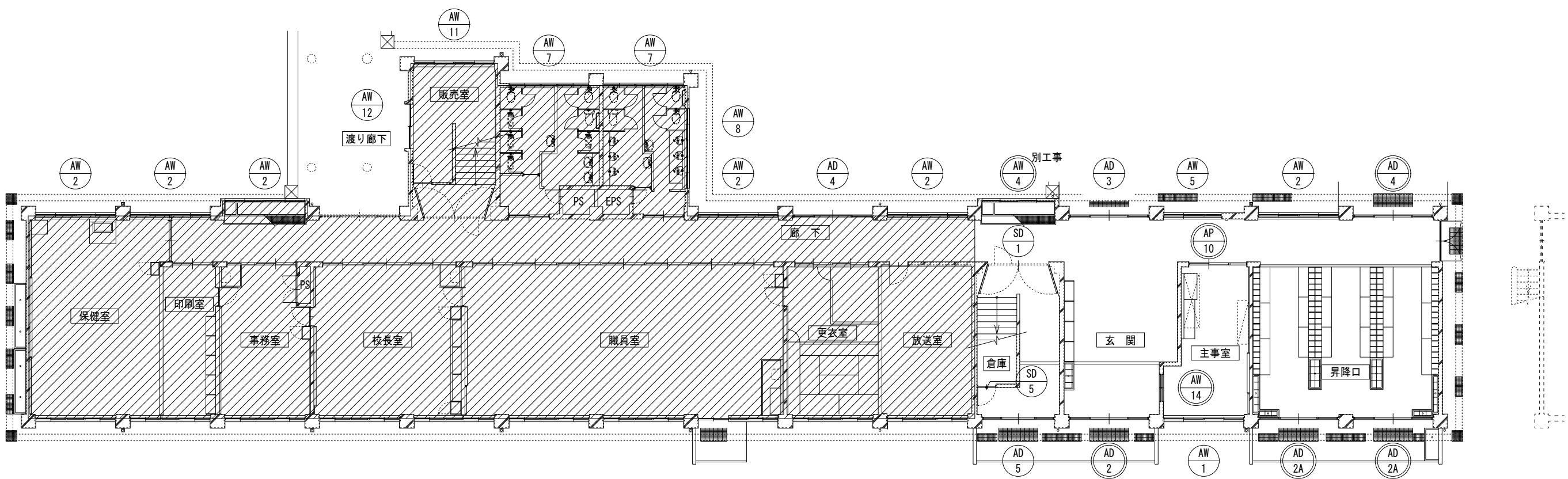
鹿兒島市建設局建築部建築課

A-41

2階建具キープラン図

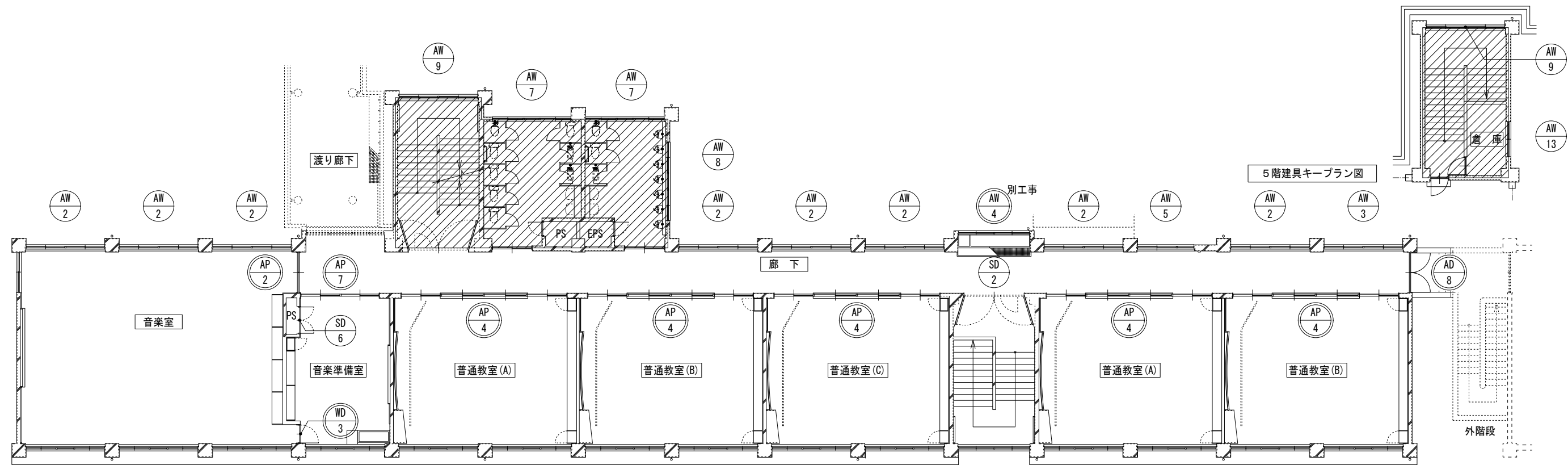


1階建具キープラン図

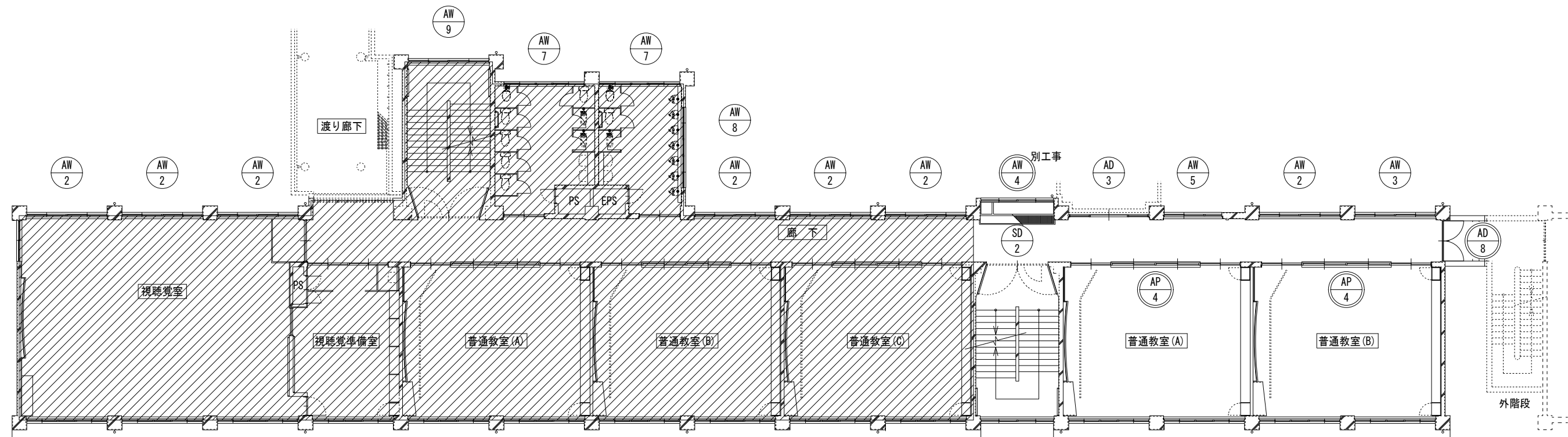


凡 例
[Hatched Box] : 工事範囲外を示す
[Circle with **] : 撤去建具を示す

4階建具キープラン図



3階建具キープラン図



凡 例
[Hatched Box] : 工事範囲外を示す
[Circle with **] : 撤去建具を示す

ゲンプラン設計 (株)
一級建築士 第 326631 号
東野 幸史良

吉野小学校校舎 30号棟長寿命化改良本体工事
(改修前) 建具キープラン (2) A3 : 1/200
鹿児島市建設局建築部建築課

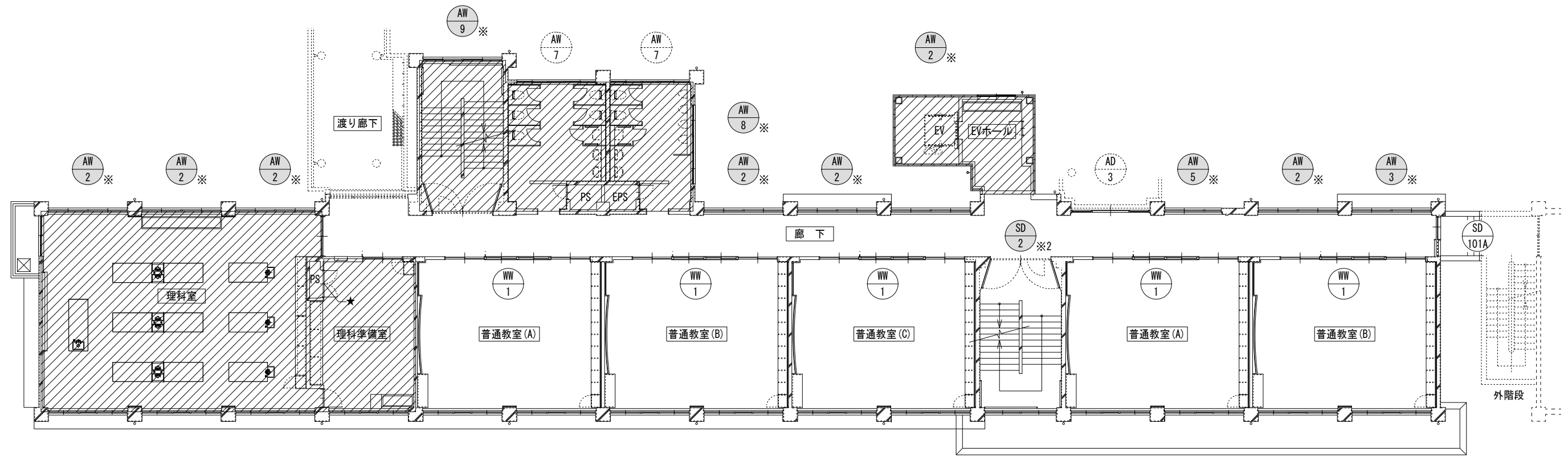
符 号	階段室 A 階段室 B	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	階段室 A 階段室 B	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	販売室	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	P・S・E・P・S	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	倉庫	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	5F	合計	
姿 図							総数 2							総数 6							総数 1							総数 8							総数 2		
基準 F L																																					
形 式	※既存流用：下地調整の上SOP くぐり戸付両開き戸							※既存流用：下地調整の上SOP くぐり戸付両開き戸							※既存流用：下地調整の上SOP 片開き戸							※新設 片開き戸							※既存のまま 片開き戸								
見 込	100							100							90							90							90								
硝 子																																					
仕 上	スチール製 OP塗装							スチール製 OP塗装							スチール製 OP塗装							スチール製 OP塗装							スチール製 OP塗装								
金 物	フロアヒンジ・くぐり戸扉ヒンジ ケースハンドル・オートヒンジ							フロアヒンジ・くぐり戸扉ヒンジ ケースハンドル・オートヒンジ							丁番・ドアチェック（ストップ無）・シリンダー錠							丁番・ドアチェック（ストップ無）							丁番・ドアチェック（ストップ無）・シリンダー錠								
備 考	鹿児島県公立小学校型付属金物一式							鹿児島県公立小学校型付属金物一式							鹿児島県公立小学校型付属金物一式							鹿児島県公立小学校型付属金物一式							鹿児島県公立小学校型付属金物一式								
符 号	階段室 B	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	職員室	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	玄関・昇降口	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	渡り廊下	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	廊下	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計		
姿 図							総数 4							総数 1							総数 1(2)							総数 3							総数 2		
基準 F L																																					
形 式	※既存流用：下地調整の上SOP 両開き戸							※アタッチメント付ペアガラスへ取替 ※クレセント、戸車、召し合せゴム取替 ランマ付引違い窓 + はめ殺し窓 + ランマ付引違い戸							両袖ランマはめ殺し窓付引分け戸							※撤去	※ガラス既存のまま ※戸車、召し合せゴム取替 二連ランマはめ殺し窓付引分け戸						※網入り透明ガラス t=6.8へ取替（既存1箇所） ※戸車、召し合せゴム取替 両袖ランマはめ殺し窓付引分け戸							※撤去 1箇所	
見 込	90							70・100							100							70							100								
硝 子								扉：網入り透明ガラス t=6.8 窓部：透明ガラス t=3.0 アルミパネル t=3.0							上段：網入り透明ガラス t=6.8 下段：アルミパネル t=3.0							上段：網入り透明ガラス t=6.8 下段：アルミパネル t=3.0						上段：網入り透明ガラス t=6.8 下段：アルミパネル t=3.0									
仕 上	スチール製 OP塗装							アルミ製							アルミ製							アルミ製							アルミ製								
金 物	丁番・シリンダー錠・フランス落とし・アームストッパー																					ステンレス靴摺・アルミ額縁・カマ錠															
備 考	鹿児島県公立小学校型付属金物一式							鹿児島県公立小学校型付属金物一式							鹿児島県公立小学校型付属金物一式							鹿児島県公立小学校型付属金物一式							鹿児島県公立小学校型付属金物一式								
符 号	階段室 B	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	トイレ	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	階段室 A	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	5F	合計	廊下・昇降口	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	トイレ	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	
姿 図							総数 1							総数 8								総数 1							総数 4							総数 2	
基準 F L																																					
形 式	※網入り透明ガラスt=6.8へ取替 ※戸車、召し合せゴム取替 両袖はめ殺し窓付引分け戸							引違い戸（ガラリ付）							※既存のまま 片引き戸							※撤去	ランマはめ殺し窓付両開き戸							アルミ框片開き戸							※撤去
見 込	100							100							70							70							70								
硝 子	上段：網入り透明ガラス t=6.8 下段：アルミパネル t=3.0							上段：型ガラス t=4.0、下段：アルミパネル t=3.0							上段：網入り透明ガラス t=6.8 下段：アルミパネル t=3.0							上段：網入り透明ガラス t=6.8 下段：アルミパネル t=3.0							上段：型板ガラス t=4.0 下段：アルミパネル t=3.0								
仕 上	アルミ製							アルミ製							アルミ製							アルミ製							アルミ製								
金 物															シリンダー錠・下枠・ドアチェック（ストップ無）							シリンダー錠・下枠・ドアチェック（ストップ無）							ドアグロージャー・レバーハンドル・ステンレス丁番 戸当たり・ガラリ								
備 考	鹿児島県公立小学校型付属金物一式							鹿児島県公立小学校型付属金物一式							鹿児島県公立小学校型付属金物一式							鹿児島県公立小学校型付属金物一式							鹿児島県公立小学校型付属金物一式								
凡例		※アタッチメント付ペアガラスの組合せ																											ゲンプラン設計(株)		吉野小学校校舎 30号棟長寿命化改良本体工事						
：既存アルミパネルを示す		①南面(運動場側)：(内側)Low-E3.0 + A6.0 + 強化透明4.0																										一級建築士 第 326631 号		(改修前)建具表(1)		A3：1/100		A-44			
：アルミパネル改修を示す ※位置は打合せの上決定する		②そ の 他 面：(内側)Low-E3.0 + A6.0 + 透明3.0																									東野 幸史良		鹿児島市建設局建築部建築課								

符号	AW1 1A	会議室 他	数量 箇所	1F 1(0)	2F 0(0)	3F 0(0)	4F 0(0)	合計 1(0)	AW2	昇降口・廊下 他	数量 箇所	1F 6	2F 7	3F 7	4F 8	合計 28	AW3	廊下	数量 箇所	1F 0	2F 1	3F 1	4F 1	合計 3	AW4	廊下	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	AW5	廊下	数量 箇所	1F 1	2F 1	3F 1	4F 1	合計 4															
姿 図																																																							
	基準F L									基準F L									基準F L									基準F L									基準F L																		
	※アタッチメント付ペアガラスへ取替 ※クレセント、戸車取替									※アタッチメント付ペアガラスへ取替 ※クレセント、戸車取替、保健室ガラスフィルム張り（不透明）									※網入り透明ガラス t=6.8へ取替 ※クレセント、戸車取替									※撤去									※アタッチメント付ペアガラスへ取替 ※クレセント、戸車取替																		
形 式	ランマ付引違い窓 + はめ殺し窓									二連引違い窓									二連引違い窓									二連引違い窓									引違い窓 + 片袖はめ殺し窓																		
見 込	70									70									70									70									70																		
硝 子	透明ガラス t=5.0 (AW-1A：網入り透明ガラス t=6.8)									透明ガラス t=3.0									網入り透明ガラス t=6.8									透明ガラス t=3.0									透明ガラス t=3.0																		
仕 上	アルミ製									アルミ製									アルミ製									アルミ製									アルミ製																		
金 物																																																							
備 考	鹿児島県公立小学校型付属金物一式									鹿児島県公立小学校型付属金物一式									鹿児島県公立小学校型付属金物一式									鹿児島県公立小学校型付属金物一式									鹿児島県公立小学校型付属金物一式																		
符 号	AW6	理科室・視聴覚室 音楽室	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	AW7	トイレ	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	AW8	トイレ	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	AW9	階段室A	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	5F	合計	AW10	階段室B	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計														
姿 図																																																							
	基準F L									基準F L									基準F L									基準F L									基準F L																		
	※アタッチメント付ペアガラスへ取替 ※クレセント、戸車取替									※アタッチメント付ペアガラスへ取替 ※クレセント、戸車取替									※アタッチメント付ペアガラスへ取替 ※クレセント、戸車取替、ガラスフィルム張り（不透明）									※網入り透明ガラス t=6.8へ取替 ※クレセント、戸車取替									※アタッチメント付ペアガラスへ取替 ※クレセント、戸車取替																		
形 式	引違い窓									引違い窓 + はめ殺し窓									引違い窓 + はめ殺し窓									二連引違い窓									二連引違い窓																		
見 込	70									70									70									70									70																		
硝 子	網入り透明ガラス t=6.8									透明ガラス t=3.0									透明ガラス t=3.0									ラフワイヤー t=6.8									ラフワイヤー t=6.8																		
仕 上	アルミ製									アルミ製									アルミ製									アルミ製									アルミ製																		
金 物																																																							
備 考	鹿児島県公立小学校型付属金物一式									鹿児島県公立小学校型付属金物一式									鹿児島県公立小学校型付属金物一式									鹿児島県公立小学校型付属金物一式									鹿児島県公立小学校型付属金物一式																		
符 号	AW11	階段室A	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	AW12	販売室	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	AW13	倉庫	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	5F	合計	AW14	主事室	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	AW15	階段室B	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計														
姿 図																																																							
	基準F L									基準F L									基準F L									基準F L									基準F L																		
	※網入り型板ガラス t=6.8へ取替 ※クレセント、戸車取替									※網入り型板ガラス t=6.8へ取替 ※クレセント、戸車取替									※既存のまま									※撤去									※アタッチメント付ペアガラスへ取替 ※クレセント、戸車取替																		
形 式	二連引違い窓									引違い窓									引違い窓									引違い窓									二連引違い窓																		
見 込	70									70									70									70									70																		
硝 子	ラフワイヤー t=6.8									網入り透明ガラス t=6.8									透明ガラス t=3.0									透明ガラス t=3.0									ラフワイヤー t=6.8																		
仕 上	アルミ製									アルミ製									アルミ製									アルミ製									アルミ製																		
金 物																																																							
備 考	鹿児島県公立小学校型付属金物一式									鹿児島県公立小学校型付属金物一式									鹿児島県公立小学校型付属金物一式									鹿児島県公立小学校型付属金物一式									鹿児島県公立小学校型付属金物一式																		
凡例			※アタッチメント付ペアガラスの組合せ																																	ゲンプラン設計(株) 一級建築士 第 326631 号 東野 幸史良						吉野小学校校舎30号棟長寿命化改良本体工事 (改修前)建具表(2) 鹿児島市建設局建築部建築課						A3：1/100 A-45							
			①南面(運動場側)：(内側)Low-E3.0 + A6.0 + 強化透明4.0																																																				
			②そ の 他 面：(内側)Low-E3.0 + A6.0 + 透明3.0																																																				
			※位置は打合せの上決定する																																																				

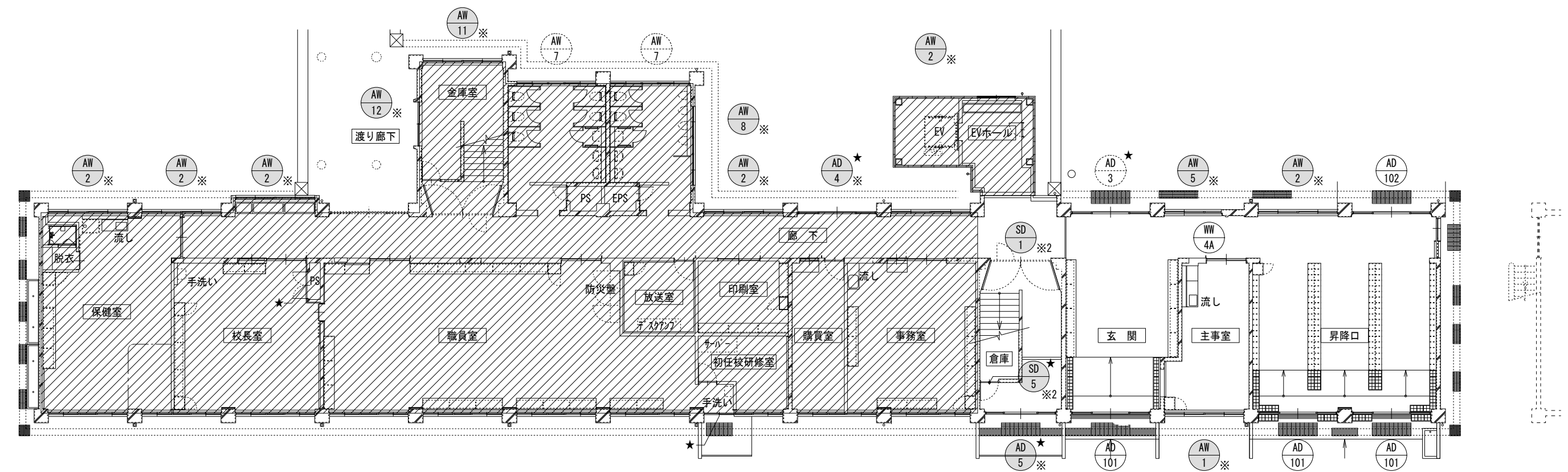
符 号	AP 1	更衣室	数量						合計	AP 2	保健室・理科室 視聴覚室・音楽室	数量						合計	AP 3	理科準備室	数量						合計	AP 4	教室	数量						合計										
			箇所	1F	2F	3F	4F	箇所				1F	2F	3F	4F	箇所	1F				2F	3F	4F	箇所	1F	2F				3F	4F	箇所	1F	2F	3F		4F									
姿 図	基準FL		3,335						1				1,820						4				3,620						1				7,685						15							
			※撤去										※撤去										※撤去										※撤去													
			ランマ付						ランマ付引違い戸				ランマ付引違い窓 + 引違い戸						ランマ付二連引違い窓 + 両袖ランマ付引違い戸				ランマ付二連引違い窓 + 両袖ランマ付引違い戸						80				ランマ付二連引違い窓 + 両袖ランマ付引違い戸						80							
			スリガラス t=2.0						スリガラス t=2.0				スリガラス t=2.0						スリガラス t=2.0				スリガラス t=2.0						スリガラス t=2.0				スリガラス t=2.0						スリガラス t=2.0	スリガラス t=2.0						スリガラス t=2.0
			アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装						アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装				アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装						アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装				アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装						アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装				アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装						アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装							
			鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式				鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式				鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式				鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式							
			鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式				鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式				鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式				鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式							
符 号	AP 5	職員室	数量						合計	AP 6	事務室	数量						合計	AP 7	視聴覚準備室 音楽準備室	数量						合計	AP 8	印刷室	数量						合計										
			箇所	1F	2F	3F	4F	箇所				1F	2F	3F	4F	箇所	1F				2F	3F	4F	箇所	1F	2F				3F	4F	箇所	1F	2F	3F		4F									
姿 図	基準FL		13,800						1				3,115						1				3,670						2																	
			※撤去										※撤去										※撤去							※撤去																
			ランマ付五連引違い窓 + 両袖ランマ付引違い戸						ランマ付引違い窓 + 引違い戸				ランマ付引違い窓 + 引違い戸						ランマ付二連引違い窓 + ランマ付引違い戸				ランマ付二連引違い窓 + ランマ付引違い戸						80	ランマ付二連引違い窓 + ランマ付引違い戸						80										
			スリガラス t=2.0 その他：透明ガラス t=2.0						スリガラス t=2.0				スリガラス t=2.0						スリガラス t=2.0				スリガラス t=2.0						スリガラス t=2.0	スリガラス t=2.0						スリガラス t=2.0	スリガラス t=2.0						スリガラス t=2.0			
			アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装						アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装				アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装						アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装				アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装						アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装	アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装						アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装										
			鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式				鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式				鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式	鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式										
			鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式				鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式				鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式	鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式										
符 号	AP 9	校長室	数量						合計	AP 10	主事室	数量						合計	AP 11	音楽準備室	数量						合計	AP 12	音楽準備室	数量						合計										
			箇所	1F	2F	3F	4F	箇所				1F	2F	3F	4F	箇所	1F				2F	3F	4F	箇所	1F	2F				3F	4F	箇所	1F	2F	3F		4F									
姿 図	基準FL		1,800						1				5,880						1				1,800						1																	
			※撤去										※撤去										※撤去							※撤去																
			ランマ付引違い戸						ランマ付二連引違い窓 + ランマ付引違い戸				ランマ付二連引違い窓 + ランマ付引違い戸						ランマ付引違い戸 + 一部パネル + はめ殺し窓				ランマ付引違い戸 + 一部パネル + はめ殺し窓						80	ランマ付引違い戸 + 一部パネル + はめ殺し窓						80										
			スリガラス t=2.0 その他：透明ガラス t=2.0						スリガラス t=2.0				スリガラス t=2.0						スリガラス t=2.0				スリガラス t=2.0						スリガラス t=2.0	スリガラス t=2.0						スリガラス t=2.0	スリガラス t=2.0						スリガラス t=2.0			
			アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装						アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装				アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装						アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装				アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装						アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装	アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装						アルミ製・スチール製・スチール面 OP塗装										
			鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式				鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式				鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式	鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式										
			鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式				鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式				鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式	鹿児島県公立小学校型付属金物一式						鹿児島県公立小学校型付属金物一式										
凡例			ゲンプラン設計 (株)																								吉野小学校校舎 30号棟長寿命化改良本体工事			A-46																
既存アルミパネルを示す			一級建築士 第 326631 号																								(改修前) 建具表 (3)			A3 : 1/100																
アルミパネル改修を示す			東野 幸史良																							鹿児島市建設局建築部建築課																				
※位置は打合せの上決定する																																														

符 号	WD 1	更衣室						WD 2	印刷室・事務室 校長室・理科準備室						WD 3	視聴覚準備室 放送室・音楽準備室						WB 1	トイレ						WB 2	トイレ																														
		数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計		数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計		数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計		数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計		数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計																									
姿 図		総数 1							総数 4							総数 3							総数 3							総数 3																														
		※撤去							※撤去							※撤去							※撤去							※撤去																														
形 式	片開き戸（ガラリ付）												片開き戸												片開き戸												片開き戸												片開き戸											
見 込	40												40												40												40												40											
硝 子	型ガラス t=4.0												型ガラス t=4.0												型ガラス t=4.0																																			
仕 上	木製 OP塗装												木製 OP塗装												木製（ベニヤ + グラスウール充填）OP塗装												木製 OP塗装												木製 OP塗装											
金 物	シリンダー錠・丁番・ドアチェック（ストップ付） 踏板（ステンレス）												シリンダー錠・丁番・ドアチェック（ストップ付） 踏板（ステンレス）												シリンダー錠・丁番・ドアチェック（ストップ付） 踏板（ステンレス）												ラバドリーヒンジ・戸当たり												ラバドリーヒンジ・戸当たり											
備 考	鹿児島県公立小学校型付属金物一式												鹿児島県公立小学校型付属金物一式												鹿児島県公立小学校型付属金物一式												鹿児島県公立小学校型付属金物一式												鹿児島県公立小学校型付属金物一式											
符 号	WB 3	トイレ						WB 4	トイレ						WB 5	トイレ						WB 6	トイレ						TB 1	TB 2	TB 3	トイレ																												
姿 図		総数 3							総数 1							総数 1							総数 1							総数 9																														
		※撤去							※撤去							※撤去							※撤去							※撤去																														
形 式	片開き戸												片開き戸												片開き戸												片開き戸												目隠しフラッシュ戸											
見 込	40												40												40												40												30											
硝 子																																																												
仕 上	木製 OP塗装												木製 メラニン合板												木製 メラニン合板												木製 メラニン合板												木製 OP塗装											
金 物	ラバドリーヒンジ・戸当たり												ステンレス丁番・戸当たり・表示錠												ステンレス丁番・戸当たり・表示錠												ステンレス丁番・戸当たり・表示錠												金物 ステンレス											
備 考	鹿児島県公立小学校型付属金物一式												鹿児島県公立小学校型付属金物一式												鹿児島県公立小学校型付属金物一式												鹿児島県公立小学校型付属金物一式												鹿児島県公立小学校型付属金物一式											
符 号	TB 4	トイレ						WW 1	視聴覚室						AWW 1	トイレ																																												
姿 図		総数 1							総数 1							総数 2																																												
		※撤去							※撤去							※撤去																																												
形 式	トイレブース												はめ殺し窓												アルミ三方枠																																			
見 込	30																								100																																			
硝 子													透明ガラス t=5.0																																															
仕 上	芯材：パネチクルボード + 中骨式												木製 OP塗装												アルミ製 t=2.0																																			
金 物	アルミ笠木・ステンレス巾木・アルミアールエッジ 戸当たり・取手・自重式丁番																								取付金物共																																			
備 考	鹿児島県公立小学校型付属金物一式																																																											
凡例																										ゲンプラン設計(株)				吉野小学校校舎30号棟長寿命化改良本体工事																														
□□□□□: 既存アルミパネルを示す																										一級建築士 第 326631 号				(改修前)建具表(4)				A3: 1/100		A-47																								
▨▨▨▨▨: アルミパネル改修を示す ※位置は打合せの上決定する																										東野 幸史良				鹿児島市建設局建築部建築課																														

2階建具キープラン図

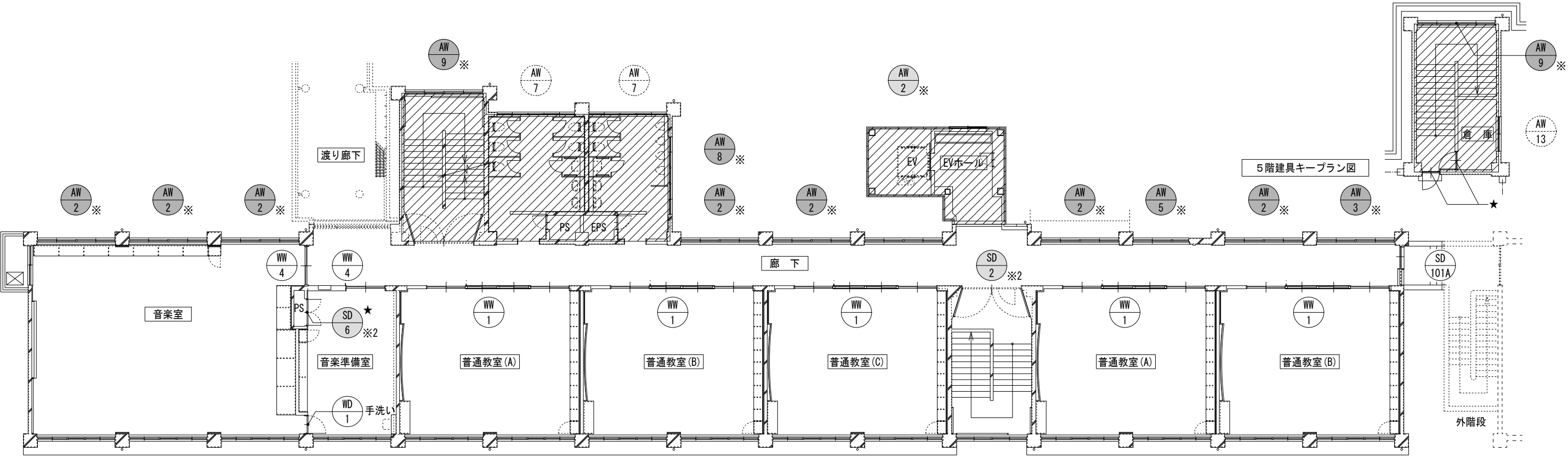


1階建具キープラン図

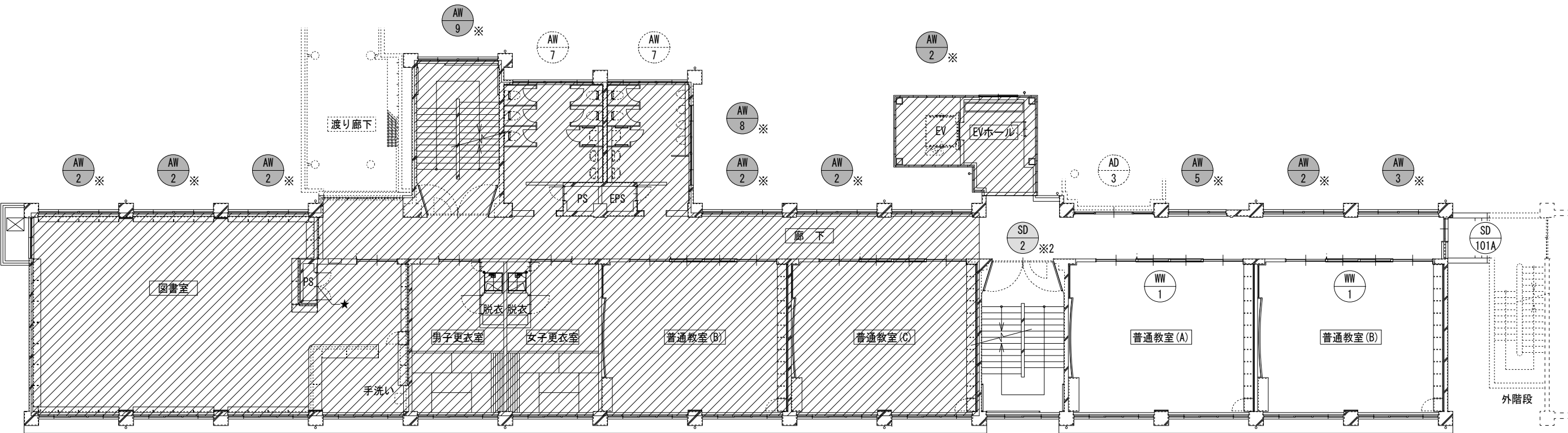


凡 例
// : 工事範囲外を示す
** : 新設を示す
** : ガラス取替、サッシ・戸車・召し合せガラス取替を示す
** : 下地調整の上SOP塗装を示す
** : 既存のまま(清掃程度)を示す
★ : シリンダー交換箇所を示す

4階建具キープラン図



3階建具キープラン図



凡 例

：工事範囲外を示す

：新設を示す

：ガラス取替、トイレ・戸車・召し合せドア取替を示す

：下地調整の上SOP塗装を示す

：既存のまま(清掃程度)を示す

★：シリンダー交換箇所を示す

ゲンプラン設計(株)

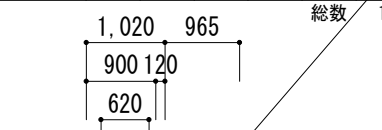
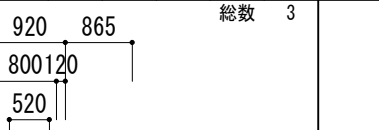

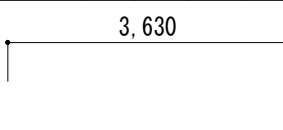
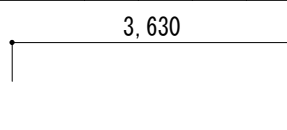
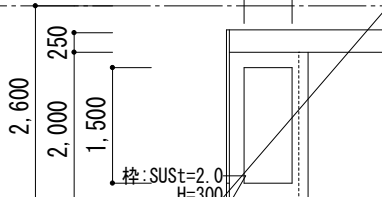
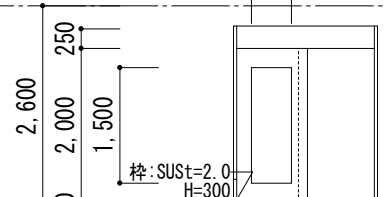
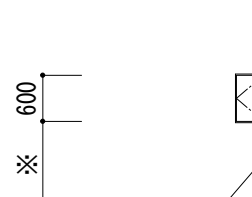
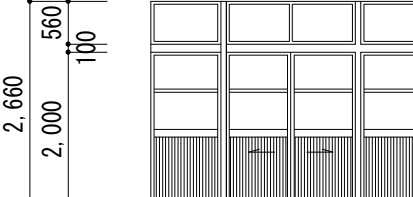
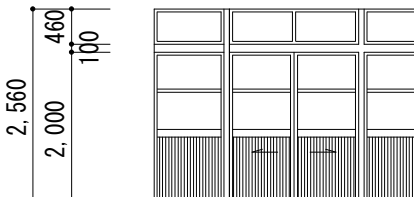
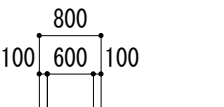

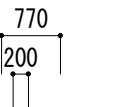
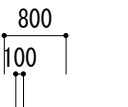
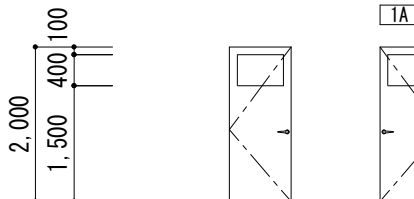
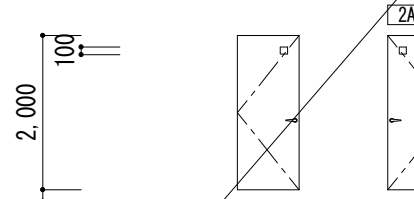
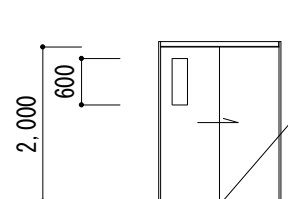
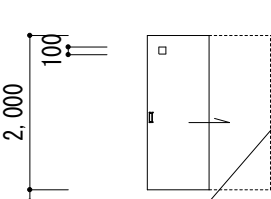
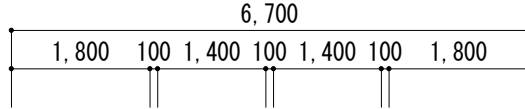
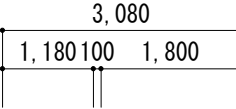
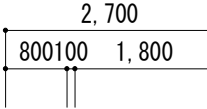
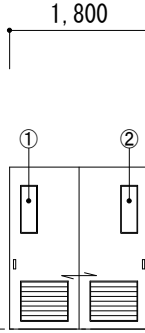
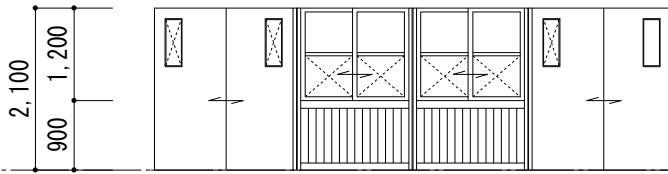
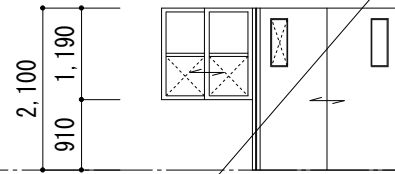
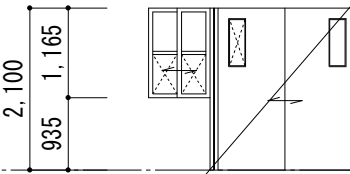
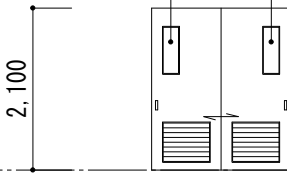
一級建築士 第 326631 号
東野 幸史良

吉野小学校校舎30号棟長寿命化改良本体工事

(改修後)建具キープラン(2) A3: 1/200

鹿児島市建設局建築部建築課

A-49

符 号	SD101廊下						SD101A廊下						SD102男子更衣室 女子更衣室						AD101玄関・昇降口						AD102廊下						数量1F2F3F4F合計																	
	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計																		
姿 図							総数	1							総数	3							総数	2							総数	3							総数	1								
							総数	1							総数	3							総数	2							総数	3							総数	1								
基準 F L	※						※	※						※	※						※	※						※	※						※	※						※	※					
形 式	片引き戸						【防火設備 (例示仕様)】	片引き戸						【防火設備 (例示仕様)】	片開き戸						両袖ランマはめ殺し窓付引分け戸						両袖ランマはめ殺し窓付引分け戸																					
見 込	枠見込：210 ※ t=2.3							枠見込：210 ※ t=2.3							70						100						100																					
硝 子	網入り透明 t=6.8							網入り透明 t=6.8							—						Low-E t=3.0+A6.0+強化透明 t=4.0 腰部：アルミ樹脂複合パネル t=18.0						Low-E t=3.0+A6.0+透明 t=3.0 腰部：アルミ樹脂複合パネル t=18.0																					
仕 上	スチール製 SOP塗装							スチール製 SOP塗装							スチール製 SOP塗装						アルミ製						アルミ製																					
金 物	引戸錠、上レール、吊車、引手、引戸クローザ、ストッパー スリルス下枠 (パリアフリー仕様)							引戸錠、上レール、吊車、引手、引戸クローザ、ストッパー スリルス下枠 (パリアフリー仕様)							丁番、SUS平面ハンドル (鍵付)						引戸錠、戸車、引棒、アルミ額縁、結露排水弁 スリルス下枠 (パリアフリー仕様)						引戸錠、戸車、引棒、アルミ額縁、結露排水弁 スリルス下枠 (パリアフリー仕様)																					
備 考	付属金物一式							付属金物一式							付属金物一式						付属金物一式						付属金物一式																					
符 号	WD1理科・音楽準備室 WD1A初任校研修室						WD2女子更衣室内脱衣 WD2A男子更衣室内脱衣						WD3校長室						WD4保健室																													
	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計																		
姿 図							総数	3							総数	2							総数	1							総数	1																
							総数	3							総数	2							総数	1							総数	1																
基準 F L	150						150	150						150	150						150						150																					
形 式	片開き戸							片開き戸							片引き戸 (アウトセット)						引込み戸																											
見 込	扉：36							扉：36							扉：36						扉：36																											
硝 子	透明ガラス t=3.0							スリガラス t=3.0							透明ガラス t=3.0						スリガラス t=3.0																											
仕 上	木製シナ合板 t=4.0、枠：CL塗装							木製シナ合板 t=4.0、枠：CL塗装							木製シナ合板 t=4.0、枠：CL塗装						木製シナ合板 t=4.0、枠：CL塗装																											
金 物	インハンドル、SUS丁番、戸当り、ドアチェック シンダナー本締め錠 (シンダナー)							インハンドル、SUS丁番、戸当り、ドアチェック 表示錠							上レール、吊車、引手、両側クローザ 引戸錠						戸車、引手 表示錠																											
備 考	付属金物一式							付属金物一式							付属金物一式																																	
符 号	WW1教室						WW2校長室						WW3事務室						WW4主事室・音楽室 WW4A音楽準備室 他																													
	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計																		
姿 図							総数	14							総数	1							総数	1							総数	12																
							総数	14							総数	1							総数	1							総数	12																
基準 F L	900						900	910						910	935						935						935																					
形 式	二連引違い窓 + 両袖引違い戸 (木製学校間仕切)							引違い窓 + 引違い戸 (木製学校間仕切)							引違い窓 + 引違い戸 (木製学校間仕切)						引違い戸 (木製学校間仕切)																											
見 込	枠見込：157、窓：36、引戸：36							枠見込：157、窓：36、引戸：36							枠見込：157、窓：36、引戸：36						枠見込：157、引戸：36																											
硝 子	透明ガラス t=3.0、スリガラス t=3.0							透明ガラス t=3.0、スリガラス t=3.0							透明ガラス t=3.0、スリガラス t=3.0						透明ガラス t=3.0、スリガラス t=3.0																											
仕 上	杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装、腰壁：シナ合板 t=5.5 CL塗装 (教室側 杉板 t=12 CL塗装)							杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装							杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装						杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装																											
金 物	下枠：ステンレス t=1.5、ステンレス戸車 (非脱輪仕様) 指詰防止付き、引違い戸錠、クレセント、アルミV型レール							下枠：ステンレス t=1.5、ステンレス戸車 (非脱輪仕様) 指詰防止付き、引違い戸錠、クレセント、アルミV型レール							下枠：ステンレス t=1.5、ステンレス戸車 (非脱輪仕様) 指詰防止付き、引違い戸錠、クレセント、アルミV型レール						下枠：ステンレス t=1.5、ステンレス戸車 (非脱輪仕様) 指詰防止付き、引違い戸錠、アルミV型レール																											
備 考	付属金物一式							付属金物一式							付属金物一式						付属金物一式																											

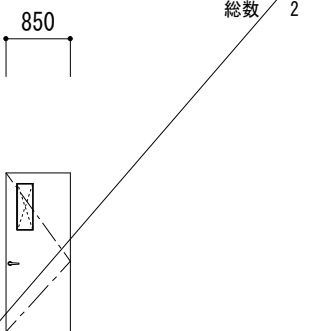
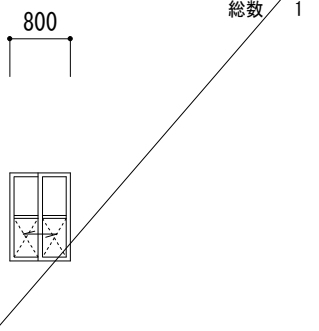
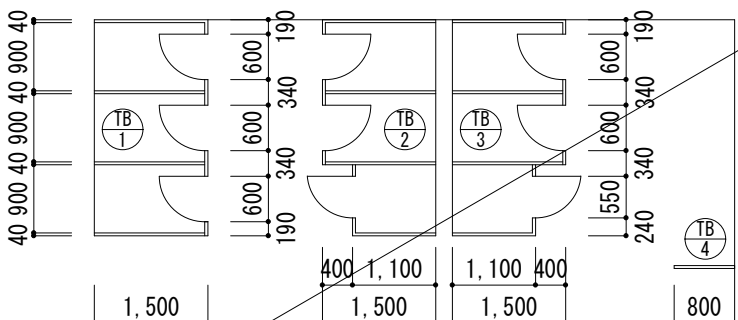
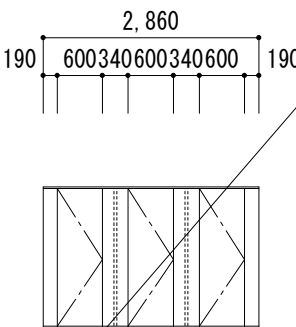
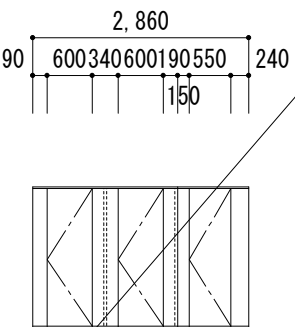
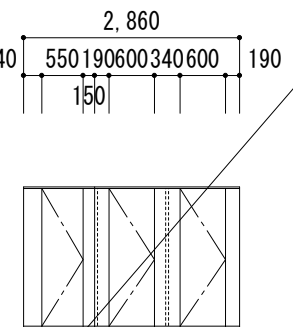
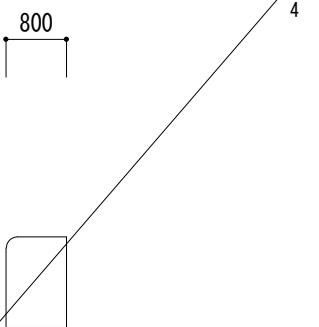
建具金物等は、施工図等により承認の上決定すること。

ゲンブラン設計 (株)

一級建築士 第 326631 号
東野 幸史良

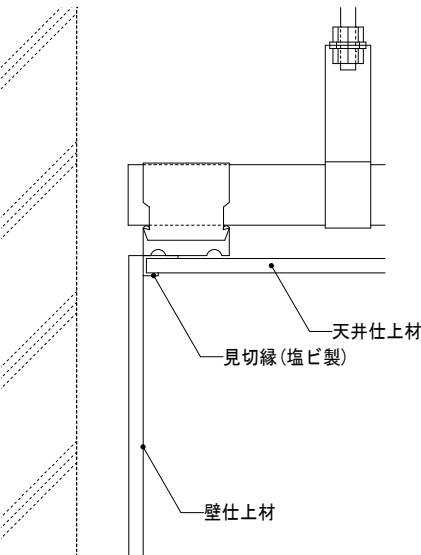
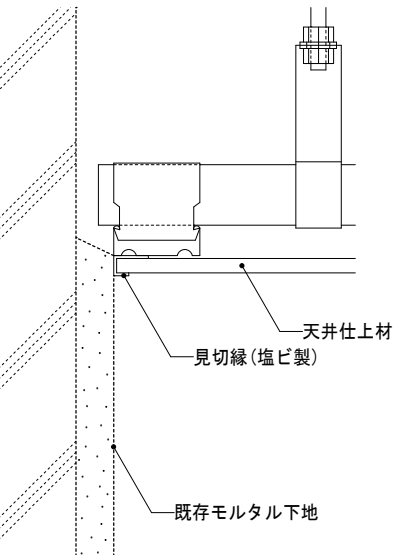
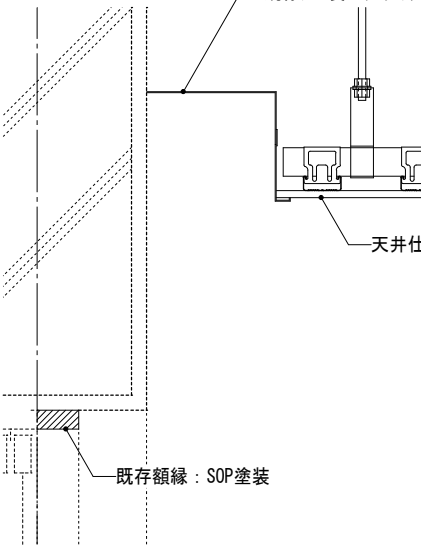
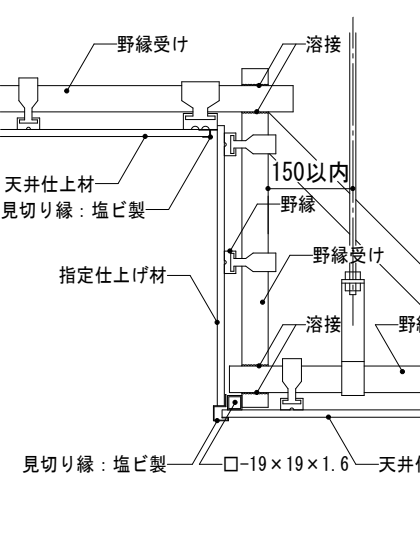
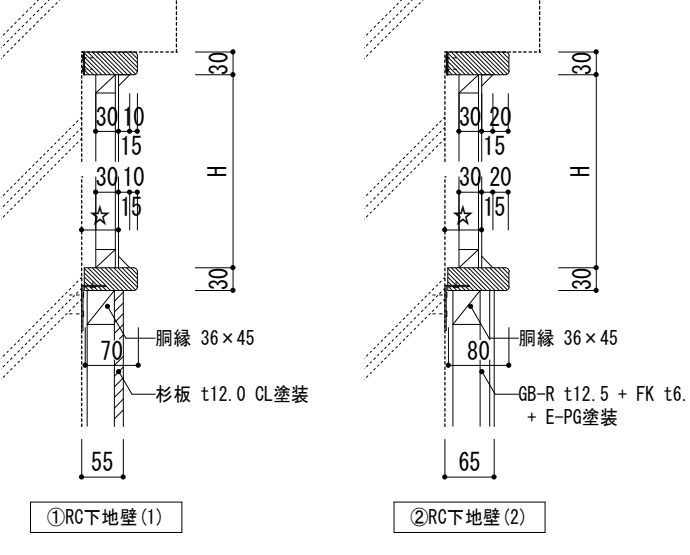
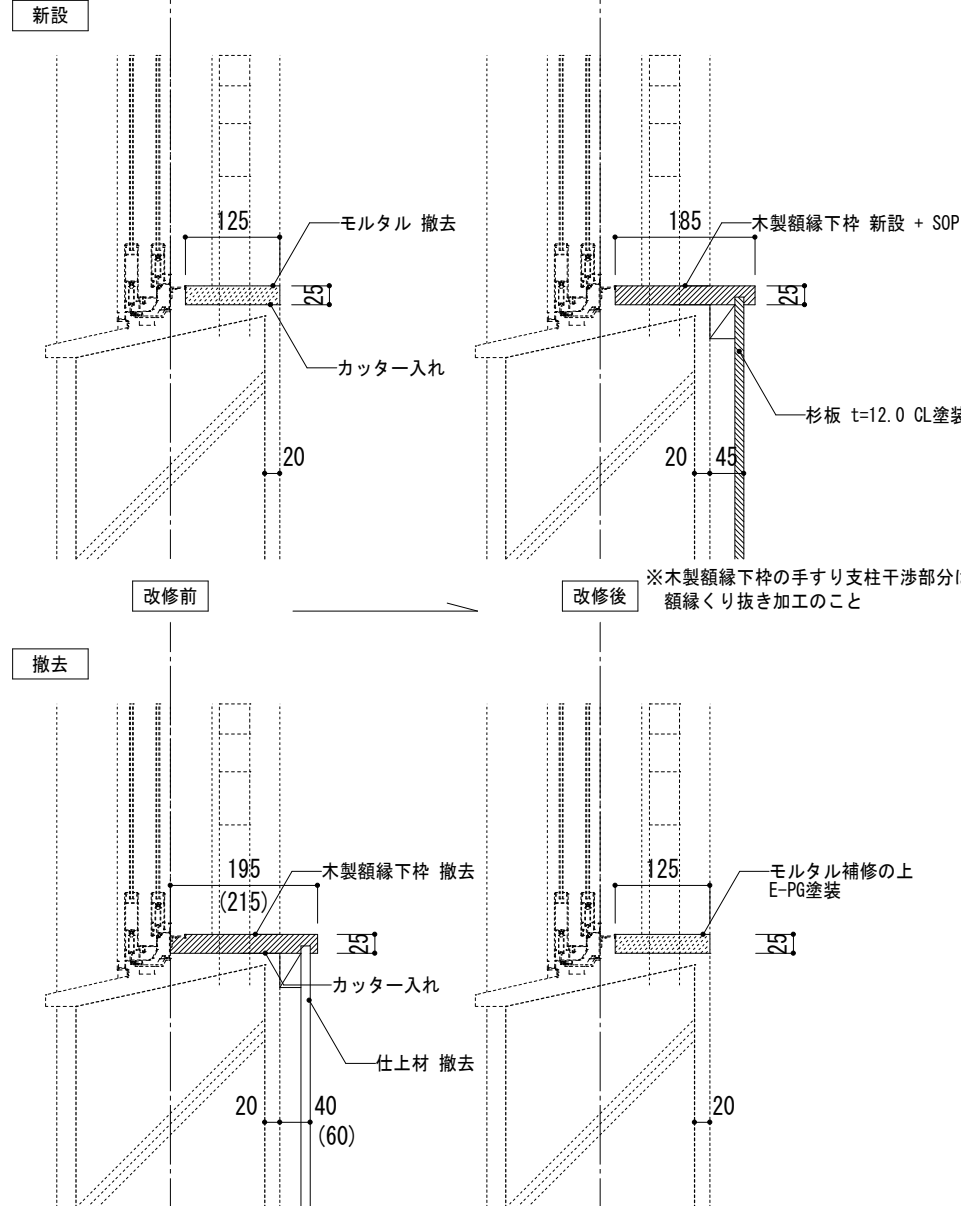
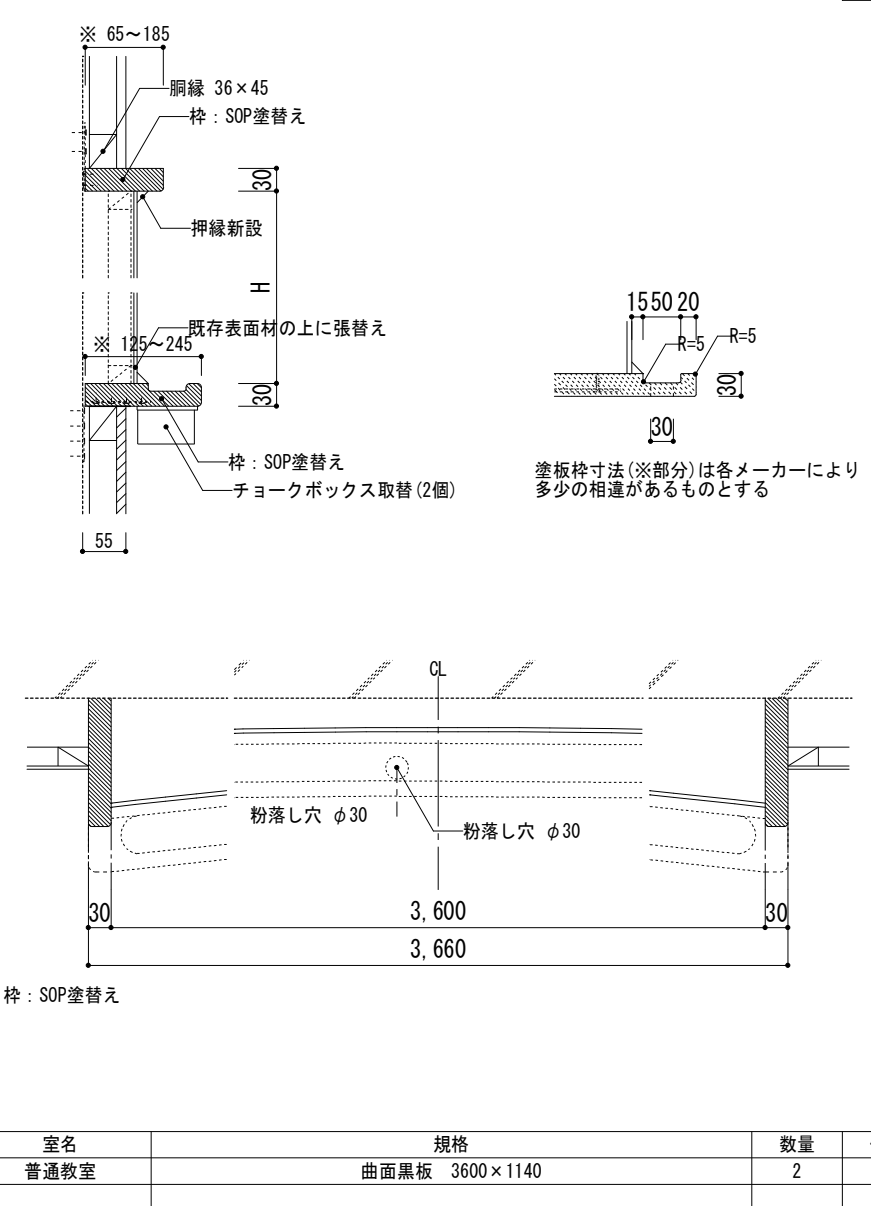
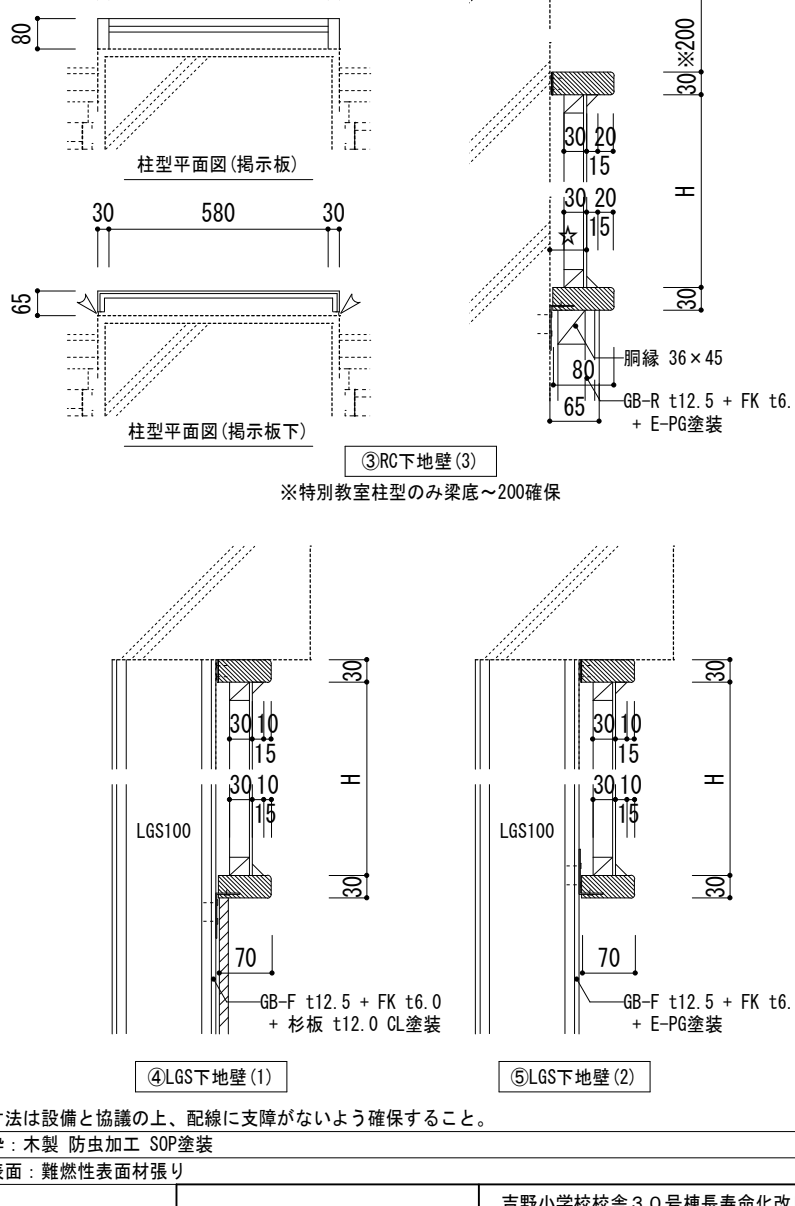
吉野小学校校舎 3 0 号棟長寿命化改良本体工事

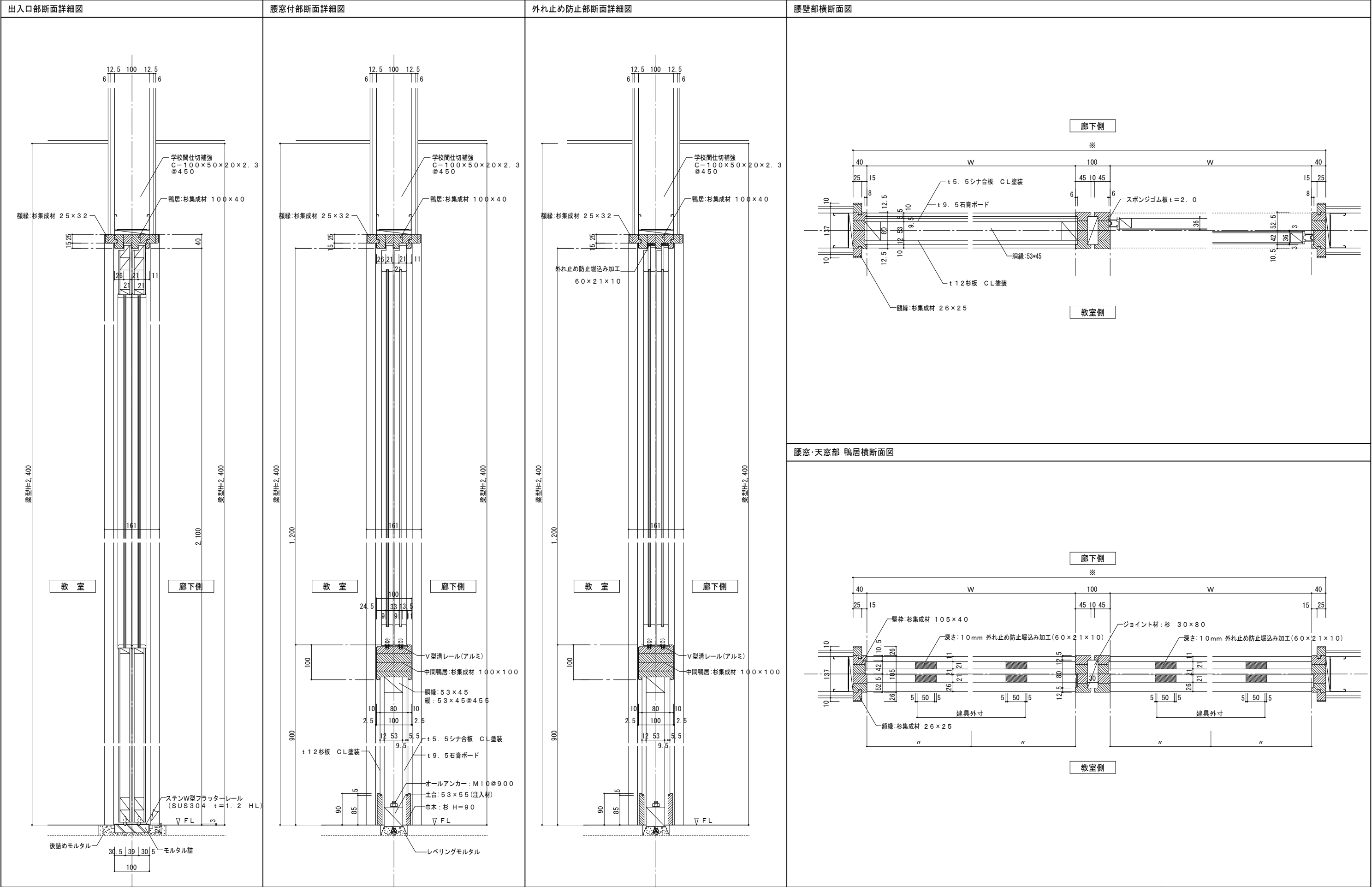
(改修後) 建具表 (1)
A3 : 1/100
A-50
鹿児島市建設局建築部建築課

符 号	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計					
放送室・購買室	850					2	購買室	800				1																	
姿 図																													
基準 F L																													
形 式	片開き戸(木製学校間仕切)						引違い窓(木製学校間仕切)																						
見 込	枠見込:157、開き戸:36						枠見込:157、窓:36																						
硝 子	スリガラス t=3.0						透明ガラス t=3.0、スリガラス t=3.0																						
仕 上	杉集成材CL塗装、扉表面材: シナ合板 t=4.0 CL塗装						杉集成材CL塗装、扉表面材: シナ合板 t=4.0 CL塗装																						
金 物	レバーハンドル、SUS丁番、戸当り、ドアフェック シンタ-本締め錠(シンタ-)						ステンレス戸車(非脱輪仕様) 指結防止付き、引違い戸錠、クレセント、アルミV型レール																						
備 考	付属金物一式						付属金物一式																						
符 号																													
姿 図	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計					
女子トイレ	2,860					4	女子トイレ	2,860					4	女子トイレ	2,860					4	男子トイレ	2,860					4		
基準 F L																													
平面図																													
形 式							トイレブース						トイレブース						トイレブース										
見 込							扉:40						扉:40						扉:40										
硝 子							—						—						—										
仕 上							メラミン化粧合板(パーティクルボード t=9.0 + パ-パ-ゴア)						メラミン化粧合板(パーティクルボード t=9.0 + パ-パ-ゴア)						メラミン化粧合板(パーティクルボード t=9.0 + パ-パ-ゴア)										
金 物							戸当ゴム、アルミアルエッジ、アルミ笠木(キャップ 付)、ステンス巾木、ラバトリセンジ 表示錠(非常時外開きレキュータイプ)、ストライク、ラッチ、ドアノブ						戸当ゴム、アルミアルエッジ、アルミ笠木(キャップ 付)、ステンス巾木、ラバトリセンジ 表示錠(非常時外開きレキュータイプ)、ストライク、ラッチ、ドアノブ						戸当ゴム、アルミアルエッジ、アルミ笠木(キャップ 付)、ステンス巾木、ラバトリセンジ 表示錠(非常時外開きレキュータイプ)、ストライク、ラッチ、ドアノブ										
備 考	※寸法は現場にて調整						付属金物一式						付属金物一式						付属金物一式										
符 号																													
姿 図	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計	数量 箇所	1F	2F	3F	4F	合計					
男子トイレ	800					4																							
基準 F L																													
形 式	トイレブース																												
見 込	扉:40																												
硝 子	—																												
仕 上	メラミン化粧合板(パーティクルボード t=9.0 + パ-パ-ゴア)																												
金 物	ステンス巾木																												
備 考	付属金物一式																												
建具金物等は、施工図等により承認の上決定すること。																		ゲンプラン設計(株)						吉野小学校校舎30号棟長寿命化改良本体工事					
																		一級建築士 第 326631 号						(改修後)建具表(2)		A3: 1/100		A-51	
																		東野 幸史良						鹿児島市建設局建築部建築課					

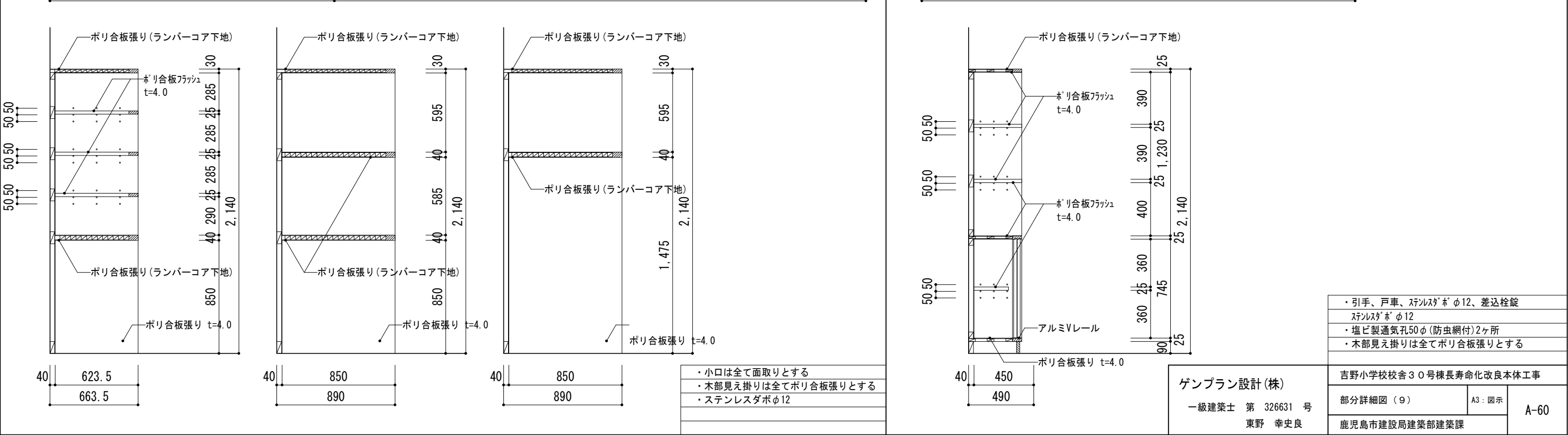
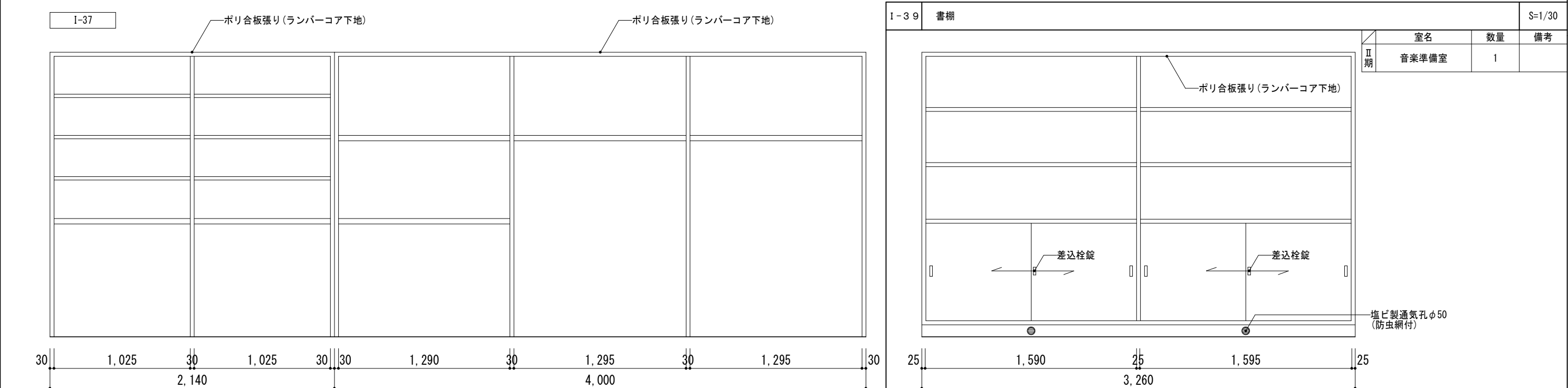
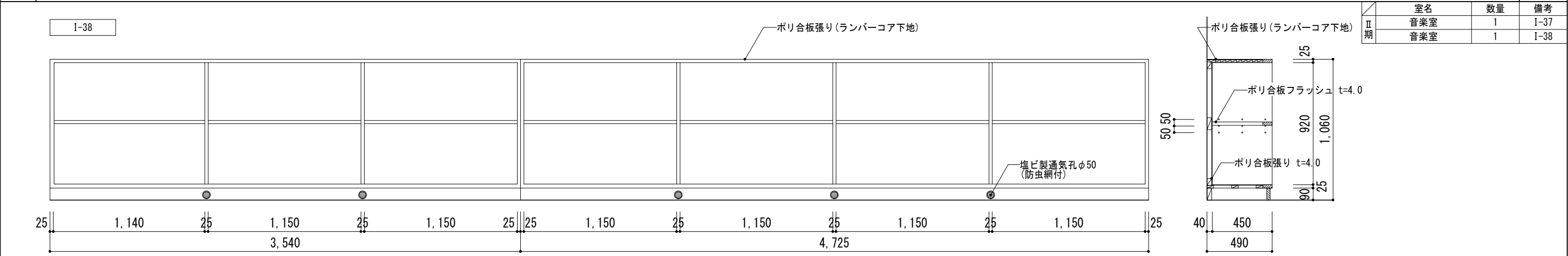
A-1	床シート張り	S=1/10	A-2	床シート張り (昇降口・玄関人研ぎ上り框)	S=1/10	A-3	床シート張り (脱衣室)	S=1/10	A-4	ステンレスノンスリップ	S=1/4	B-1	ビニル巾木 (既存モルタル下地)	S=1/10	B-2	ビニル巾木 (LGS下地間仕切壁)	S=1/10	
<div><div>ステンレスW型 フラットレール</div><div>モルタル充填</div><div>モルタル補修</div><div>下地調整：ホリマーセメントモルタル</div><div>ビニル床シート t2.0張り</div><div>※アンダーレイシート t5.0 (1階のみ)</div><div>既存モルタル下地</div><div>30</div><div>8</div><div>2</div><div>40</div><div>30</div></div> <div>※防滑性との使い分けは仕上表参照</div>			<div><div>モルタル下地 (撤去)+45角タイル (撤去)</div><div>上り框：人造石 (撤去)</div><div>ビニル床シート張り (撤去)</div><div>30</div><div>60</div><div>80</div><div>改修後</div><div>土間コンクリート直押え</div><div>D10-@250 (タテヨコ共)</div><div>防滑性ビニル床シート t2.0張り</div><div>※アンダーレイシート t5.0 (1階のみ)</div><div>下地調整：ホリマーセメントモルタル</div><div>90</div><div>110</div><div>40</div></div>			<div><div>ビニル床シート t2.0</div><div>耐水合板 t12</div><div>耐水構造用合板 t15</div><div>床組：乾式二重床</div><div>150</div><div>121</div><div>15</div><div>12</div><div>▽脱衣室 F.L</div></div>			<div><div>ステンレスノンスリップ (ゴムタイヤ入り、ビス併用)</div><div>40</div><div>防滑性ビニル床シート t2.0張り</div><div>下地調整：ホリマーセメントモルタル</div><div>既存撤去部モルタル補修</div><div>防滑性ビニル床シート t2.0張り</div><div>R-25</div><div>入隅コーナー材</div></div>			<div><div>既存モルタル下地</div><div>90</div><div>ビニル巾木</div><div>防滑性ビニル床シート t2.0張り</div><div>※アンダーレイシート t5.0 (1階のみ)</div><div>下地調整：ホリマーセメントモルタル</div><div>既存モルタル下地</div></div>			<div><div>グラスウール t100 (24kg/m3) 充填</div><div>※使用室は仕上表参照</div><div>90</div><div>ビニル巾木</div><div>防滑性ビニル床シート t2.0張り</div><div>※アンダーレイシート t5.0 (1階のみ)</div><div>下地調整：ホリマーセメントモルタル</div><div>既存モルタル下地</div></div>			
B-3	木製巾木 (既存モルタル下地・木胴縁下地+杉板張り壁)	S=1/10	B-4	木製巾木 (LGS下地+杉板張り壁) (防火上主要間仕切壁)	S=1/10	B-5	木製巾木 (RC下地+有孔シナ合板張り壁)	S=1/10	B-6	ビニル床シート巻上げ (トイレRC壁 (直張工法))	S=1/10	B-7	男子トイレ汚垂石詳細図	S=1/10	B-8	手洗い器廻り納まり図	S=1/10	
<div><div>45</div><div>既存モルタル下地</div><div>杉板 t12張り CL</div><div>木胴縁下地</div><div>24×45 @450</div><div>巾木：H=90 CL</div><div>10</div><div>90</div><div>ビニル床シート t2.0張り</div><div>アンダーレイシート t5.0 (1階のみ)</div><div>下地調整：ホリマーセメントモルタル</div><div>既存モルタル下地</div></div>			<div><div>教室</div><div>教室</div><div>グラスウール t100 (24kg/m3) 充填</div><div>杉板 t12張り CL</div><div>ケイカル板 t6.0</div><div>強化石膏ボード t12.5</div><div>8</div><div>8</div><div>巾木：H=90 CL</div><div>ビニル床シート t2.0張り</div><div>※アンダーレイシート t5.0 (1階のみ)</div><div>下地調整：ホリマーセメントモルタル</div><div>90</div><div>既存モルタル下地</div><div>モルタル補修</div></div>			<div><div>60</div><div>(45)</div><div>有孔シナ合板 t9目透し張り CL</div><div>グラスウール寒冷沙押エ t50</div><div>10</div><div>90</div><div>木胴縁下地</div><div>24×45 @450</div><div>巾木：H=90 CL</div><div>ビニル床シート t2.0張り</div><div>下地調整：ホリマーセメントモルタル</div><div>既存モルタル下地</div><div>※ () は柱型寸法を示す</div></div>			<div><div>35</div><div>ケイカル板 t6.0 目透かし張り EP-G</div><div>耐水石膏ボード t9.5</div><div>塩ビ専用見切縁</div><div>巾木：床シート巻上げH=100</div><div>100</div><div>ビニル床シート (トイレ用) t2.0張り</div><div>耐水合板 t12</div><div>耐水構造用合板 t5.0</div><div>床組：乾式二重床</div><div>130</div></div>			<div><div>35</div><div>200</div><div>ケイカル板 t6.0 目透かし張り EP-G</div><div>耐水石膏ボード t9.5 (GL工法)</div><div>ラインング カウンター</div><div>10</div><div>高強度マニシ化粧板 t3.0</div><div>耐水合板 t12 (LGS下地65型)</div><div>抗菌大判タイル貼 t13</div><div>耐水合板 t4.0</div><div>耐水構造用合板 t15</div><div>床組 (乾式二重床)</div><div>29</div><div>※B-6</div><div>FL</div></div>			<div><div>35</div><div>200</div><div>ケイカル板 t6.0 目透かし張り EP-G</div><div>耐水石膏ボード t9.5 (GL工法)</div><div>ラインング カウンター</div><div>10</div><div>高強度マニシ化粧板 t3.0</div><div>耐水合板 t12 (LGS下地65型)</div><div>塩ビ専用見切縁</div><div>巾木：床シート巻上げH=100</div><div>29</div><div>※B-6</div><div>FL</div></div>			
C-1	モルタル金こて押え 既存下地調整 EPG塗装	S=1/5	C-3	RC壁 木胴縁下地 杉板 t12張り	S=1/5	C-5	外壁側教室内 既存モルタル下地 杉板 t12張り 腰見切り	S=1/5	C-6 廊下-教室間 RC下地壁とLGS下地壁の取合い 壁見切り									S=1/5
<div><div>20</div><div>既存下地調整の上 EP-G</div><div>既存モルタル下地</div></div>			<div><div>既存モルタル下地</div><div>45</div><div>(55)</div><div>杉板 t12張り CL</div><div>木胴縁下地</div><div>24×45 @450</div><div>※校長室については () 内寸法とする</div></div>			<div><div>既存モルタル下地</div><div>60</div><div>(70)</div><div>既存下地調整の上 EP-G</div><div>木見切縁 SOP塗装</div><div>25</div><div>△窓額縁下端合わせ</div><div>45</div><div>(55)</div><div>木胴縁下地</div><div>24×45 @450</div><div>杉板 t12張り CL</div></div> <div>※校長室については () 内寸法とする</div>			<div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下側</div><div>廊下</div></div>									

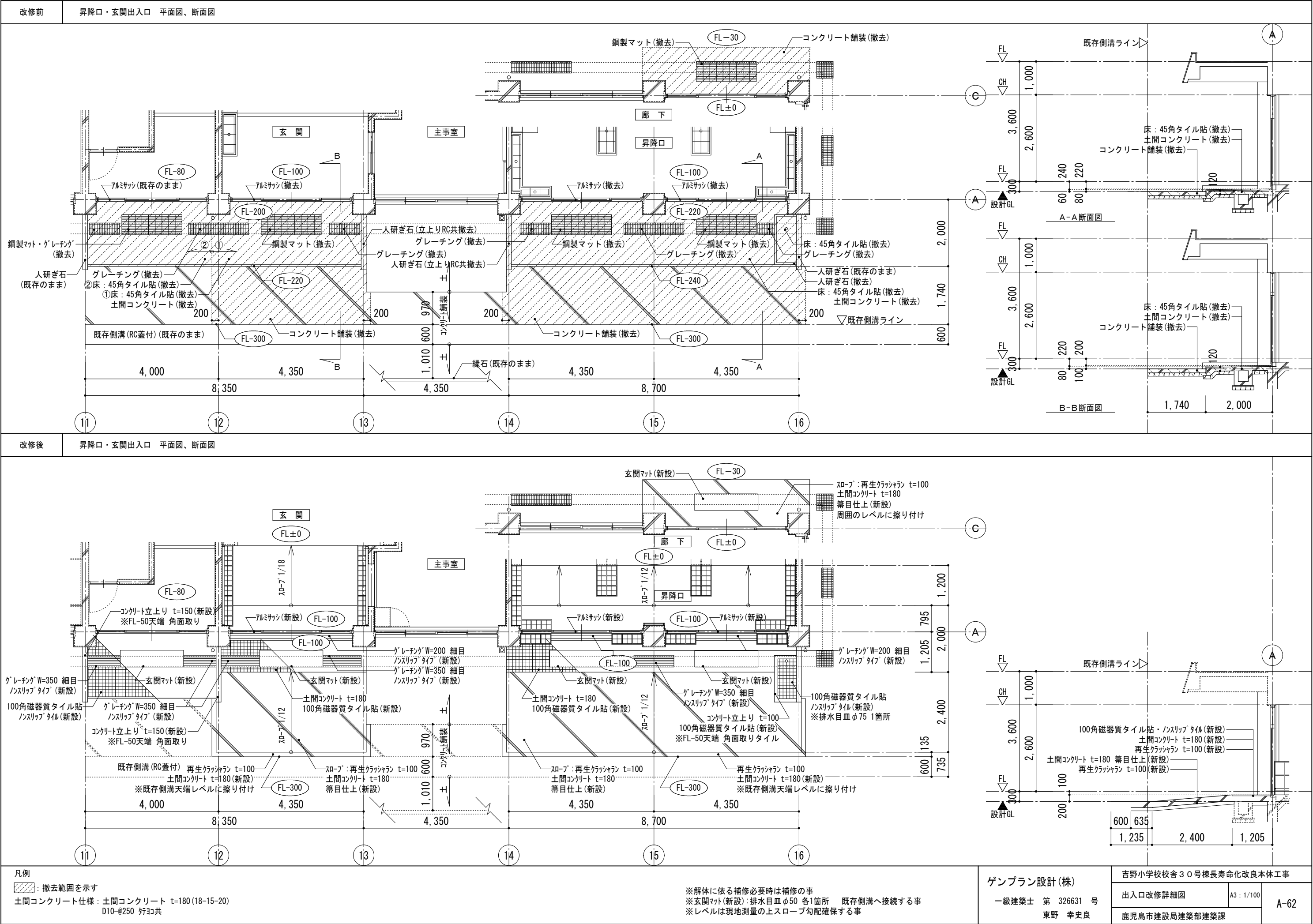
C-7	既存モルタル下地 杉板 t12張り 入隅部分	S=1/5	C-8	既存モルタル下地 杉板 t12張り 出隅部分	S=1/5	C-9	廊下-教室間 LGS下地間仕切壁上部納まり（防火上主要間仕切壁）	S=1/5	C-10	廊下-教室間 LGS下地間仕切壁上部納まり（防火上主要間仕切壁）	S=1/5
C-11		間仕切り・サッシ取合い金物				S=1/10					
C-12		廊下-校長室間 LGS下地間仕切壁腰壁納まり				S=1/10		C-13		廊下-職員室室間 LGS下地間仕切壁【100+65】壁納まり	S=1/10

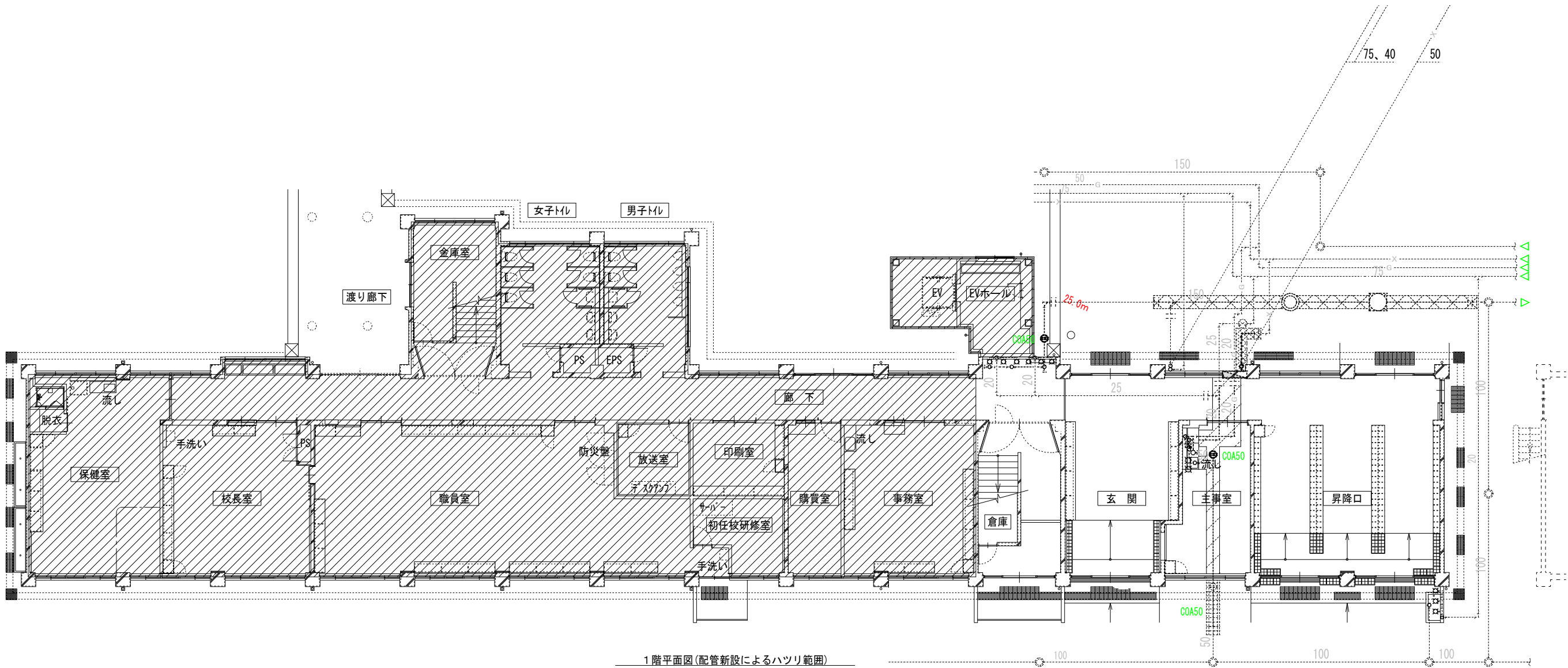
D-1	天井見切縁 (壁ボード仕上の場合)	S=1/5	D-2	天井見切縁 (壁・梁がモルタル仕上の場合)	S=1/5	D-3	既存カーテンボックス利用	S=1/10	D-4	天井下がり部分	S=1/10	G-4	掲示板(新設)	S=1/10	参考図
															
E-1	木製額縁新設・撤去				S=1/10	G-2	曲面黒板(既存一時撤去復旧 表面材張替え)				S=1/10	参考図			
															
※()内寸法は視聴覚室、音楽室を示す															



共通		小口仕様	S=1/3	I-1	児童用ロッカー		S=1/30																																																																																																																						
<div><div><div><div>小口縁取：木製 CL塗装</div><div>ポリ合板張り</div></div><div><div>小口縁取：木製 CL塗装</div><div>ポリ合板張り</div></div></div><div>※フラッシュ・ランバーコア下地共通 ※集成材はナラ程度とする</div></div>		<div><div><div><div>片開きフラッシュ戸 ポリ合板フラッシュ t=4.0</div><div>ポリ合板張り(ランバーコア下地)</div><div>コート掛け (Z-10ダイカスト製 参考図)</div><div>塩ビ製通気孔φ50(防虫網付)</div></div><div><div>ポリ合板張り(ランバーコア下地)</div><div>ポリ合板フラッシュ t=4.0</div><div>ポリ合板張り t=4.0</div></div><div><div>ポリ合板張り(ランバーコア下地)</div><div>コート掛け (Z-10ダイカスト製 同等品) 両サイド各3本、正面4本</div><div>ポリ合板フラッシュ t=4.0</div><div>ポリ合板張り t=4.0</div></div></div><div><table><tr><td>室名</td><td>数量</td><td>備考</td></tr><tr><td>I期 普通教室</td><td>2</td><td></td></tr><tr><td>II期 普通教室</td><td>12</td><td></td></tr></table><div><div>・小口は全て面取りとする</div><div>・塩ビ製通気孔 50φ (防虫網付) 7ヶ所</div><div>・木部見え掛りは全てポリ合板張りとする (内部共)</div><div>・フラッシュ戸：見込24、取手(裏まで貫通させること)、丁番(2個)</div><div>アームストッパー(扉側：貫通ボルト止め)、コート掛け(10本)</div></div></div></div>					室名	数量	備考	I期 普通教室	2		II期 普通教室	12		S=1/30																																																																																																													
室名	数量	備考																																																																																																																											
I期 普通教室	2																																																																																																																												
II期 普通教室	12																																																																																																																												
I-2	掃除用具入れ			S=1/30	I-3 I-5	ステンレス流し台	S=1/30	I-4 O	教師用ロッカー		S=1/30																																																																																																																		
<div><div><div>折曲げ加工</div><div>A部分詳細図</div><div><div>戸当り</div><div>マグネットキャッチ</div><div>建具縁 4周共</div><div>マグネットキャッチ</div><div>戸当り</div><div>塩ビ製通気孔φ50(防虫網付)</div><div>通気性を確保するため 格子状とすること ポリ合板 t=4.0</div><div>片開きフラッシュドア ポリ合板フラッシュ</div><div>ステンレスパイプ25.4φ</div><div>ステンレス製折釘 4個</div><div>ステンレス製折釘 両サイド各1本</div><div>30×40</div><div>60×30</div><div>A部分</div><div>底板：ステンレス板 t=0.4 T1合板 t=4.0</div><div>25</div><div>550</div><div>25</div><div>W</div><div>40</div><div>D</div><div>D+40</div><div>25</div></div></div></div>		<table><tr><td>室名</td><td>D</td><td>W</td><td>H</td><td>数量</td><td>備考</td></tr><tr><td>保健室</td><td>550</td><td>600</td><td>2040</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>校長室</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>※I-11参照</td></tr><tr><td>職員室</td><td>450</td><td>600</td><td>2140</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>放送室</td><td>450</td><td>600</td><td>2040</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>印刷室</td><td>410</td><td>600</td><td>2040</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>事務室</td><td>450</td><td>600</td><td>2040</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>理科室</td><td>450</td><td>600</td><td>2040</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>理科準備室</td><td>450</td><td>600</td><td>2140</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>図書室</td><td>450</td><td>600</td><td>2140</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>男子・女子更衣室</td><td>450</td><td>600</td><td>2040</td><td>2</td><td></td></tr><tr><td>普通教室</td><td>450</td><td>600</td><td>2040</td><td>2</td><td></td></tr></table> <table><tr><td>昇降口</td><td>450</td><td>540</td><td>2040</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>主事室</td><td>450</td><td>600</td><td>2040</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>音楽室</td><td>450</td><td>600</td><td>2040</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>音楽準備室</td><td>360</td><td>600</td><td>2140</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>普通教室</td><td>450</td><td>600</td><td>2040</td><td>12</td><td></td></tr></table>		室名	D	W	H	数量	備考	保健室	550	600	2040	1		校長室	-	-	-	-	※I-11参照	職員室	450	600	2140	1		放送室	450	600	2040	1		印刷室	410	600	2040	1		事務室	450	600	2040	1		理科室	450	600	2040	1		理科準備室	450	600	2140	1		図書室	450	600	2140	1		男子・女子更衣室	450	600	2040	2		普通教室	450	600	2040	2		昇降口	450	540	2040	1		主事室	450	600	2040	1		音楽室	450	600	2040	1		音楽準備室	360	600	2140	1		普通教室	450	600	2040	12		<div><div><div><div>φ25ステンレスパイプ</div><div>φ38ステンレス脚</div><div>流しトラップ50A</div><div>I-3</div><div>50</div><div>700</div><div>50</div><div>3,710</div><div>200</div><div>120</div><div>650</div><div>770</div></div><div><div><div>φ25ステンレスパイプ</div><div>φ38ステンレス脚</div><div>流しトラップ50A</div><div>I-4</div><div>50</div><div>700</div><div>50</div><div>3,610</div><div>200</div><div>120</div><div>650</div><div>770</div></div><div><div><div>φ25ステンレスパイプ</div><div>φ38ステンレス脚</div><div>流しトラップ50A</div><div>I-5</div><div>50</div><div>1,400</div><div>50</div><div>1,500</div><div>200</div><div>120</div><div>650</div><div>770</div></div><div><div>LGS(W=65)下地、耐水合板 t=12.0 メラミン不燃化粧板目透かし張り (目透かし部シーリング)</div><div>ラインゲ</div><div>面台 t=19×110</div><div>H</div></div></div></div></div></div>		<table><tr><td>室名</td><td>H</td><td>数量</td><td>備考</td></tr><tr><td>I期 廊下</td><td>1085</td><td>1</td><td>I-3(面台)</td></tr><tr><td>理科室</td><td>1085</td><td>1</td><td>I-4(面台)</td></tr><tr><td>理科準備室</td><td>885</td><td>1</td><td>I-5(面台)</td></tr></table> <div><div><div>ポリ合板張り(ランバーコア下地)</div><div>ポリ合板張り t=4.0</div><div>ポリ合板張り(ランバーコア下地)</div><div>ポリ合板張り t=4.0</div><div>ポリ合板張り t=4.0</div><div>ポリ合板張り t=19 ポリ合板張り</div><div>ステンレスダボφ12</div><div>アルミVレール</div><div>ポリ合板張り(ランバーコア下地)</div><div>塩ビ製通気孔φ50(防虫網付)</div><div>40</div><div>450</div><div>490</div><div>30</div><div>1,490</div><div>30</div><div>1,550</div><div>30</div></div><div><div>引違いフラッシュ戸 ポリ合板張り t=4.0</div><div>差込栓錠</div></div></div> <div><div>・塩ビ製通気孔 50φ (防虫網付) 1ヶ所、戸車、アルミVレール、彫込引手、差込栓錠</div><div>・木部見え掛りは全てポリ合板張りとする (内部共)</div></div>	室名	H	数量	備考	I期 廊下	1085	1	I-3(面台)	理科室	1085	1	I-4(面台)	理科準備室	885	1	I-5(面台)	<div><div>ゲンブラン設計(株)</div><div>一級建築士 第 326631 号 東野 幸史良</div></div> <div><div>吉野小学校校舎30号棟長寿命化改良本体工事</div><div>部分詳細図 (7)</div><div>A3：図示</div><div>A-58</div></div>
室名	D	W	H	数量	備考																																																																																																																								
保健室	550	600	2040	1																																																																																																																									
校長室	-	-	-	-	※I-11参照																																																																																																																								
職員室	450	600	2140	1																																																																																																																									
放送室	450	600	2040	1																																																																																																																									
印刷室	410	600	2040	1																																																																																																																									
事務室	450	600	2040	1																																																																																																																									
理科室	450	600	2040	1																																																																																																																									
理科準備室	450	600	2140	1																																																																																																																									
図書室	450	600	2140	1																																																																																																																									
男子・女子更衣室	450	600	2040	2																																																																																																																									
普通教室	450	600	2040	2																																																																																																																									
昇降口	450	540	2040	1																																																																																																																									
主事室	450	600	2040	1																																																																																																																									
音楽室	450	600	2040	1																																																																																																																									
音楽準備室	360	600	2140	1																																																																																																																									
普通教室	450	600	2040	12																																																																																																																									
室名	H	数量	備考																																																																																																																										
I期 廊下	1085	1	I-3(面台)																																																																																																																										
理科室	1085	1	I-4(面台)																																																																																																																										
理科準備室	885	1	I-5(面台)																																																																																																																										
・フラッシュ戸：見込24 t=4.0 ポリ合板フラッシュ、取手(裏まで貫通させること)、丁番(3個)、 マグネットキャッチ(2ヶ所、金属ケース入)					・シンクトップ(SUS304 t=1.2mm) 目皿(流しトラップ付) ※シンクは発泡材裏打を行うこと。※シンク底は勾配をつけること。			吉野小学校校舎30号棟長寿命化改良本体工事																																																																																																																					
・アームストッパー(扉側：貫通ボルト止め)、ステンレスパイプ：25.4φ SUS304 2ヶ所、ステンレス製折釘：6個					・トラップは建築工事とする (ステンレス製流しトラップ50A、水封50mm以上)			部分詳細図 (7)																																																																																																																					
・底板：ステンレス板 t=0.4(取り外し可)、塩ビ製換気孔50φ(防虫網付)4ヶ所(600・540)					脚部は床面に固定すること。			A3：図示																																																																																																																					
・木部見え掛りは全てポリ合板張りとする(内部共)					流し台納まりは、設備と打ち合わせのこと。			A-58																																																																																																																					







凡 例
: 工事範囲外を示す

凡 例
: 建築工事での土間ハツリ・撤去範囲を示す
: 設備工事での土間ハツリ・撤去範囲を示す (本工程対象外)

ゲンプラン設計(株)
一級建築士 第 326631 号
東野 幸史良

吉野小学校校舎30号棟長寿命化改良本体工事
解体図
A3 : 1/200
A-63
鹿児島市建設局建築部建築課